

# 筋違 M 遺跡

# 筋違 Q 遺跡

国庫補助市内遺跡発掘調査報告書

2018

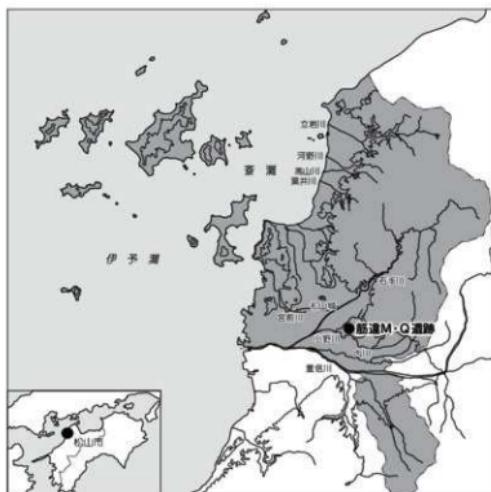
松山市教育委員会  
公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団  
埋蔵文化財センター



すじかい  
**筋違 M 遺跡**

すじかい  
**筋違 Q 遺跡**

国庫補助市内遺跡発掘調査報告書



2018

松山市教育委員会

公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財團

埋蔵文化財センター



## 序　　言

本書は、平成 10 年度と平成 20 年度に松山市福音寺町で個人住宅建設に伴い国庫補助を受け実施した筋違 M 遺跡、筋違 Q 遺跡の発掘調査報告書です。

本遺跡が所在する福音寺地区は、市内でも弥生時代から古墳時代の遺跡が密集している地区の一つです。特に福音小学校構内遺跡は、竪穴建物と掘立柱建物が 250 棟あまり検出され、出土遺物には石製子持勾玉、朱が付着した石杵など貴重な出土品があり重要な遺跡に数えられます。

今回の調査では、筋違 M 遺跡からは古墳時代の掘立柱建物、中世の溝を検出し、筋違 Q 遺跡からも、掘立柱建物、地鎮遺構など中世の集落関連遺構が確認され、当時の集落構造や変遷を明らかにするための基礎資料となりました。特に筋違 Q 遺跡から検出した地鎮遺構は、市内でも類例の少ないものです。これは、当時の集落構造を解明するための欠かせない資料となりました。

このような成果を上げることができたのは、関係各位の埋蔵文化財に対する深いご理解とご協力の賜物であり、心より感謝を申し上げます。

最後になりましたが、本書が文化財保護意識の向上と埋蔵文化財調査研究の一助となり、松山市民の皆様をはじめ多くの方々に末永く、ご活用いただければ幸いに存じます。

平成 30 年 3 月

松山市教育長　藤田　仁

## 例　　言

1. 本書は、平成 10 年度に松山市教育委員会（以下、「市教委」という。）が、平成 20 年度に財團法人松山市生涯学習振興財團埋蔵文化財センター（現在の公益財團法人松山市文化・スポーツ振興財團埋蔵文化財センター。以下、「財團」という。）が実施した松山市福音寺町における個人住宅建設に伴う国庫補助事業の発掘調査の成果をまとめたものである。
2. 各調査の概要は次のとおりである。
  - ・筋違M遺跡（松山市福音寺町 452 番 1・2）  
面積：349m<sup>2</sup> 平成 10 年度市内遺跡発掘調査事業（本格調査）
  - ・筋違Q遺跡（松山市福音寺町 486 番 1 の一部）  
面積：約 150m<sup>2</sup> 平成 20 年度市内遺跡発掘調査事業（本格調査）
3. 国庫補助による整理作業と報告書作成作業は、公益財團法人松山市文化・スポーツ振興財團埋蔵文化財センター（以下、「公益財團」という。）が市教委から委託を受けて平成 28 年度に実施した。本書の編集作業は、同様に公益財團が市教委から委託を受け平成 29 年度に実施した。
4. 発掘調査は、市教委の西尾幸則、政本和人（松山市臨時職員）が筋違M遺跡を、財團の吉岡和哉が筋違Q遺跡を担当した。
5. 遺構の略号は、掘立柱建物：掘立、土坑：SK、溝：SD、柱穴：SP、横列：SA、性格不明遺構：SX とし、番号を付記した。
6. 本書で使用した標高数値は海拔標高を示し、方位は国土座標を基準とした真北である。  
基準点測量では、筋違Q遺跡はセントラルエンジニアリング株式会社に業務委託した。
7. 遺構の測量は、政本、吉岡の指示のもと調査員と作業員が実施した。
8. 本書掲載の遺構図、遺物図は、スケール下に縮尺を表記した。
9. 本書報告の遺構埋土、土層の色調は、農林水産省農林水産技術会議事務所監修の『新版標準土色帖(1996)』に準拠した。
10. 遺物の実測及び掲載図の製図は、高尾和長の指示のもと田崎真理、池内芳美、木西嘉子、丹生谷道代、矢野久子、矢舗妙子、寺尾いづみが行った。
11. 屋外調査における写真撮影は調査担当者、本書掲載の遺物撮影は作田一耕が行い、図版作成は高尾が行った。
12. 本書に関する資料は、松山市立埋蔵文化財センターが保管・収蔵している。
13. 本書の執筆と編集は、高尾が行った。
14. 報告書抄録は、巻末に掲載している。
15. 本書における報告書の内容は、調査概要報告書、『年報 11』(1990 年刊行)と『年報 21』(2009 年刊行)を基に作成した。その内容に相違点がある場合、本書を持って訂正したものとする。

# 本文目次

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 第1章 はじめに.....                   | 1  |
| 第1節 調査に至る経緯                     |    |
| 1. 筋違M遺跡      2. 筋違Q遺跡          |    |
| 第2節 整理及び編集・刊行組織                 |    |
| 1. 整理組織      2. 編集・刊行組織         |    |
| 第3節 立地と環境                       |    |
| 1. 地理的環境      2. 歴史的環境          |    |
| 第2章 筋違 M 遺跡 .....               | 5  |
| 第1節 調査の経過と組織                    |    |
| 1. 調査の経過      2. 調査組織           |    |
| 第2節 調査の成果                       |    |
| 1. 層位      2. 遺構と遺物      3. まとめ |    |
| 第3章 筋違 Q 遺跡 .....               | 47 |
| 第1節 調査の経過と組織                    |    |
| 1. 調査の経過      2. 調査組織           |    |
| 第2節 調査の成果                       |    |
| 1. 層位      2. 遺構と遺物      3. まとめ |    |

## 挿図目次

### 第2章 筋道M遺跡

|                        |    |
|------------------------|----|
| 第1図 調査地位置図             | 5  |
| 第2図 調査地と周辺遺跡分布図        | 6  |
| 第3図 区割図・遺構配置図・調査壁土層図   | 7  |
| 第4図 挖立1測量図             | 9  |
| 第5図 挖立1出土遺物実測図         | 10 |
| 第6図 SK1測量図             | 10 |
| 第7図 SK2測量図・出土遺物実測図     | 11 |
| 第8図 SK3測量図・出土遺物実測図     | 12 |
| 第9図 SK4測量図・出土遺物実測図     | 12 |
| 第10図 SD1測量図・出土遺物実測図(1) | 13 |
| 第11図 SD1出土遺物実測図(2)     | 14 |
| 第12図 SD2測量図            | 15 |
| 第13図 SD3測量図            | 16 |
| 第14図 SD4測量図・出土遺物実測図    | 18 |
| 第15図 SD5測量図            | 19 |
| 第16図 SD6測量図            | 20 |
| 第17図 SD6出土遺物実測図(1)     | 21 |
| 第18図 SD6出土遺物実測図(2)     | 22 |
| 第19図 SD7測量図・出土遺物実測図    | 23 |
| 第20図 SD8測量図・出土遺物実測図    | 24 |
| 第21図 SD9測量図            | 25 |
| 第22図 SD10測量図           | 25 |
| 第23図 SX1測量図            | 26 |
| 第24図 SX2測量図・出土遺物実測図    | 27 |
| 第25図 SX3測量図            | 28 |
| 第26図 SX3出土遺物実測図        | 29 |
| 第27図 SX4測量図・出土遺物実測図    | 30 |
| 第28図 SX5測量図            | 31 |
| 第29図 SP出土遺物実測図         | 33 |
| 第30図 第VII層出土遺物実測図      | 34 |
| 第31図 グリッド出土遺物実測図       | 34 |
| 第32図 出土地点不明遺物実測図(1)    | 35 |
| 第33図 出土地点不明遺物実測図(2)    | 36 |

### 第3章 筋違Q遺跡

|                        |    |
|------------------------|----|
| 第34図 調査地位置図            | 47 |
| 第35図 区割図・造構配置図・調査壁土層図  | 49 |
| 第36図 挖立1測量図            | 51 |
| 第37図 挖立1出土遺物実測図        | 52 |
| 第38図 挖立2測量図・出土遺物実測図    | 53 |
| 第39図 挖立3測量図・出土遺物実測図    | 54 |
| 第40図 SA1測量図            | 55 |
| 第41図 SK1測量図            | 56 |
| 第42図 SD1測量図・出土遺物実測図(1) | 57 |
| 第43図 SD1出土遺物実測図(2)     | 58 |
| 第44図 SD1出土遺物実測図(3)     | 59 |
| 第45図 SD1出土遺物実測図(4)     | 60 |
| 第46図 地鎮造構1測量図          | 61 |
| 第47図 地鎮造構1出土遺物実測図      | 62 |
| 第48図 SP出土遺物実測図(1)      | 63 |
| 第49図 SP出土遺物実測図(2)      | 64 |
| 第50図 出土地点不明遺物実測図       | 64 |

## 表目次

### 第1章 はじめに

|          |   |
|----------|---|
| 表1 調査地一覧 | 1 |
|----------|---|

### 第2章 筋違M遺跡

|                     |    |                       |    |
|---------------------|----|-----------------------|----|
| 表2 挖立柱建物一覧          | 38 | 表13 SD7出土遺物観察表(土製品)   | 42 |
| 表3 土坑一覧             |    | 表14 SD8出土遺物観察表(土製品)   |    |
| 表4 清一覧              |    | 表15 SX2出土遺物観察表(土製品)   |    |
| 表5 性格不明遺構一覧         | 39 | 表16 SX3出土遺物観察表(土製品)   |    |
| 表6 挖立1出土遺物観察表(土製品)  |    | 表17 SX4出土遺物観察表(土製品)   | 43 |
| 表7 SK2出土遺物観察表(土製品)  |    | 表18 SP出土遺物観察表(土製品)    |    |
| 表8 SK3出土遺物観察表(石製品)  |    | 表19 第VII層出土遺物観察表(土製品) | 44 |
| 表9 SK4出土遺物観察表(土製品)  | 40 | 表20 グリッド出土遺物観察表(土製品)  |    |
| 表10 SD1出土遺物観察表(土製品) |    | 表21 出土地点不明遺物観察表(土製品)  | 45 |
| 表11 SD4出土遺物観察表(土製品) |    | 表22 出土地点不明遺物観察表(石製品)  | 46 |
| 表12 SD6出土遺物観察表(土製品) |    |                       |    |

### 第3章 筋違Q遺跡

|                      |    |                       |
|----------------------|----|-----------------------|
| 表23 挖立柱建物一覧          | 66 | 表30 挖立2出土遺物観察表（土製品）   |
| 表24 横列一覧             |    | 表31 挖立3出土遺物観察表（土製品）   |
| 表25 土坑一覧             |    | 表32 SD1 出土遺物観察表（土製品）  |
| 表26 溝一覧              |    | 表33 SD1 出土遺物観察表（石製品）  |
| 表27 地鎮遺構一覧           |    | 表34 地鎮遺構1出土遺物観察表（土製品） |
| 表28 挖立1出土遺物観察表（土製品）  | 67 | 表35 SP出土遺物観察表（土製品）    |
| 表29 挖立1出土遺物観察表（金属製品） | 68 | 表36 出土地点不明遺物観察表（土製品）  |

## 写真図版目次

### 第2章 筋違M遺跡

|     |   |
|-----|---|
| 図版1 | 1. 東区遺構検出状況①（北西より）<br>2. 東区遺構検出状況②（北東より）<br>3. 東区遺構検出状況③（東より） |
| 図版2 | 1. 遺構完掘状況（東より）  |
| 図版3 | 1. 西区遺構完掘状況（東より）<br>2. 東区遺構完掘状況（西より）                          |
| 図版4 | 1. 挖立1完掘状況①（東より）<br>2. 挖立1完掘状況②（南より）                          |
| 図版5 | 1. SX3検出状況（南より）<br>2. SX3遺物出土状況①（南より）<br>3. SX3遺物出土状況②（西より）   |
| 図版6 | 1. 出土遺物（挖立1:3、SD1:12、<br>SD6:33・36・38～40、第VII層:82・86）         |

### 第3章 筋違Q遺跡

|      |  |
|------|--|
| 図版7  | 1. 調査地近景（北東より）<br>2. 1区重機による掘削状況（北より）<br>3. 1区遺構検出状況（南より）          |
| 図版8  | 1. 1区地鎮遺構1遺物出土状況（北東より）<br>2. 1区遺構完掘状況（北西より）<br>3. 1区掘立1完掘状況（南より）   |
| 図版9  | 1. 1区埋め戻し状況（北より）<br>2. 2区遺構検出状況（北より）<br>3. 2区遺構完掘状況（北より）           |
| 図版10 | 1. 2区地鎮遺構1遺物出土状況（北西より）<br>2. 2区SD1完掘状況（南より）<br>3. 2区柱穴内壁体出土状況（北より） |
| 図版11 | 1. 地鎮遺構1出土遺物①  |
| 図版12 | 1. 出土遺物（地鎮遺構1②:100・101、<br>SD1:85～90）                              |

# 第1章 はじめに

## 第1節 調査に至る経緯

### 1. 筋違M遺跡

1998（平成10）年2月6日、松山市福音寺町452番1、452番2における個人住宅建設にあたって埋蔵文化財確認願が市教委へ提出された。当該地は、周知の埋蔵文化財包蔵地「No.116 川付遺物包含地」内に位置し、主に弥生時代から古墳時代の集落跡として知られている。

これを受けた市教委は、当該地における遺跡の有無とその範囲及び性格を判断するため、財團に委託し、平成10年2月10日に試掘調査を実施した。結果、弥生時代から中世までの遺物包含層及び遺構を確認し、当該地において遺跡が存在することが判明したため、これを申請者に通知するとともに保存について協議した上で、届出書と併せて愛媛県教育委員会（以下、「県教委」という。）に進達した。その後、平成10年3月2日に県教委から発掘調査の指示が下りたため、申請者と協議の上、国庫補助により記録保存を目的とした発掘調査を平成10年12月1日から市教委が実施することとした。

### 2. 筋違Q遺跡

2007（平成19）年7月10日、福音寺町486番1における個人住宅建設にあたって、埋蔵文化財確認願が市教委へ提出された。当該地は、周知の埋蔵文化財包蔵地「No.116 川付遺物包含地」内に位置し、主に弥生時代から古墳時代の集落跡として知られている。

これを受けた市教委は、当該地における遺跡の有無とその範囲及び性格を判断するため、財團に委託し、平成19年7月18日に試掘調査を実施した。結果、古墳時代の遺物包含層及び遺構を確認し、当該地において遺跡が存在することが判明したため、これを申請者に通知するとともに保存について協議した上で、届出書と併せて県教委に進達した。その後、平成19年7月30日に県教委より埋蔵文化財を保護できない範囲について発掘調査の指示が下りたため、市教委は、遺跡の取り扱いについて申請者及びその関係者と協議した上で、国庫補助により県教委の指示範囲を対象とした発掘調査を、平成20年8月1日から市教委が財團に委託して実施することとした。

表1 調査地一覧

| 遺跡名   | 所在地                    | 調査面積               | 屋外調査期間                    | 整理作業期間   |
|-------|------------------------|--------------------|---------------------------|--|
| 筋違M遺跡 | 松山市福音寺町<br>452番1、452番2 | 349m <sup>2</sup>  | 平成10年12月1日～<br>平成11年3月31日 | 〔出土物等整理〕<br>平成28（2016）年9月1日～<br>平成29（2017）年3月31日 |
| 筋違Q遺跡 | 松山市福音寺町<br>486番1の一部    | 約150m <sup>2</sup> | 平成20年8月1日～<br>平成20年9月30日  | 〔報告書編集〕<br>平成29（2017）年4月1日～<br>平成29（2017）年10月30日 |

## 第2節 整理及び編集・刊行組織

### 1. 整理組織 [平成28年度]

松山市教育委員会

|       |       |       |             |
|-------|-------|-------|-------------|
|       | 教 育 長 | 山本 昭弘 | (前任、～10月1日) |
|       |       | 藤田 仁  | (10月2日～)    |
| 事 務 局 | 局 長   | 前田 昌一 |             |
|       | 次 長   | 家串 正治 |             |
|       | 次 長   | 杉本 威  |             |
| 文化財課  | 課 長   | 若江 俊二 |             |
|       | 主 幹   | 越智 茂樹 |             |
|       | 主 査   | 西村 直人 |             |

公益財團法人松山市文化・スポーツ振興財團

|           |          |               |
|-----------|----------|---------------|
|           | 理 事 長    | 中山 紘治郎        |
| 事 務 局     | 局 長      | 中西 真也         |
|           | 次長兼総務部長  | 橋 昭司          |
|           | 文化振興部部長  | 梶原 信之         |
| 埋蔵文化財センター | 考古館館長兼所長 | 村上 卓也         |
|           | 主 査      | 梅木 謙一 (調査・研究) |
|           | 主 任      | 高尾 和長 (整理担当)  |

### 2. 編集・刊行組織 [平成29年4月1日現在]

#### 【刊行組織】

松山市教育委員会

|       |       |       |
|-------|-------|-------|
|       | 教 育 長 | 藤田 仁  |
| 事 勿 局 | 局 長   | 津田 慎吾 |
|       | 次 長   | 家串 正治 |
|       | 次 長   | 杉本 威  |
| 文化財課  | 課 長   | 若江 俊二 |
|       | 主 幹   | 越智 茂樹 |
|       | 主 事   | 沖田 希央 |

#### 【編集組織】

公益財團法人松山市文化・スポーツ振興財團

|           |         |              |
|-----------|---------|--------------|
|           | 理 事 長   | 中山 紘治郎       |
| 事 勿 局     | 局 長     | 中西 真也        |
|           | 次長兼総務部長 | 橋 昭司         |
|           | 文化振興部部長 | 渡部 広明        |
| 埋蔵文化財センター | 所 長     | 村上 卓也        |
|           | 主 任     | 高尾 和長 (編集担当) |

## 第3節 立地と環境

### 1. 地理的環境

松山平野は高縄山系の南西面に位置し、東から南東部を四国山脈北東麓に限られ、西方の海岸線に向かって扇状に開けた沖積平野である。平野には二大河川があり、高縄山系に源を発し、北東から南西方向に流れる石手川と、四国山脈東三方が森に水源を持ち、西流する重信川がある。この二大河川は、それぞれいくつかの支流を集めながら西流し、伊予灘に注いでいる。平野は、これらの河川の沖積作用によって形成されている。福音寺地区の主要な遺跡としては北西部から中央部には、筋違遺跡と福音小学校構内遺跡、南東部には北久米淨蓮寺遺跡がある。

### 2. 歴史的環境（第2図）

ここでは、福音寺地区で調査された遺跡の展開を周辺遺跡を含めて、旧石器時代～中世までの遺構や遺物について紹介を行う。

#### （1）旧石器時代～縄文時代

遺構は東本遺跡4次調査の第VI層（A T火山灰層）上面において柱穴1基を検出している。東野森ノ木遺跡4次調査からは晩期の土坑を検出している。椎味立添遺跡3次調査からは、晩期前半の長方形と隅丸方形の土坑3基を検出している。

遺物は東本遺跡4次調査で槍先形石器やスクレイパーなどの石器が出土しているほか、これらに近接して焼土塊や焼土面も検出している。椎味四反地遺跡6次調査、東本遺跡4次調査でナイフ形石器が出土している。筋違F・H遺跡、東山鳩が森古墳でサヌカイト製ナイフ形石器、天山天王が森遺跡で安山岩製ナイフ形石器、釜ノ口遺跡でチャート製ナイフ形石器、尖頭器が出土している。椎味四反地遺跡6次調査・16次調査・17次調査では、晩期の土器が出土している。

#### （2）弥生時代

福音寺地区では主に前期と後期の遺構を検出している。前期では筋違F遺跡の土坑2基から土器片が出土している。筋違L遺跡の土坑から遺物が出土している。福音小学校構内遺跡からは、中～後期の竪穴建物や中期後半の土坑を検出している。筋違L遺跡から中期の土坑と溝を検出し遺構内から遺物が出土している。当該地の中期の遺構・遺物は出土例が少なく貴重な資料である。後期の遺物は筋違F遺跡の竪穴建物内から多量に出土している。筋違L・N遺跡から竪穴建物と土坑を検出している。また福音小学校構内遺跡においても後期の土器を多量に含む土器溜まり、区画溝、壺棺5基などを検出している。

#### （3）古墳時代

福音寺地区における集落は、これまでの調査例から北久米淨蓮寺遺跡で5世紀前半～7世紀の竪穴建物、掘立柱建物、福音小学校構内遺跡の100棟以上の竪穴建物や掘立柱建物、筋違遺跡の5世紀後半～6世紀前半の竪穴建物がある。

古墳は天山・東山・星ノ岡の分離独立丘陵上に小規模な古墳が点在している。天山神社北古墳からは半円形方帯神獸鏡や鉄劍が出土している。東山鳶が森古墳では未盜掘の石室内から鉄劍、多数の裝飾品、赤色顔料が付着した人骨が出土し、東山古墳5次調査からは東にした長茎鏡の上に完形の市場型須恵器の壺が出土している。

#### (4) 古代

福音寺地区の南東に位置する来住台地上には、全国的に注目されている来住・久米官衙遺跡群があり、7世紀における政治の中心であった重要な施設が集中して検出されている。同時に白鳳期の寺院である来住庵寺についても全容解明に向け整理中である。

#### (5) 中・近世

筋違L遺跡から幅6mを超える溝が長方形状に巡り溝の内外に掘立柱建物、土坑、墓、井戸が検出されている。来住庵寺21次調査で総柱の掘立柱建物、来住庵寺15次調査では土壙墓群が検出されている。

#### 【文献】

- 西尾幸則ほか 1981『東山鳶が森古墳群』松山市文化財調査報告書15集
- 高尾和長ほか 1991『東山古墳4次調査・東山古墳5次調査』松山市文化財調査報告書41集
- 橋本雄一ほか 1994『北久米淨蓮寺遺跡3次調査』松山市文化財調査報告書42集
- 梅木謙一ほか 1995『福音寺小学校構内遺跡－弥生時代編－』松山市文化財調査報告書50集
- 梅木謙一ほか 1996『福音寺地区の遺跡』「筋違C・D・E・F・G・H・I遺跡・川附遺跡』松山市文化財調査報告書52集
- 高尾和長ほか 1996『東本遺跡4次調査・枝松遺跡4次調査』松山市文化財調査報告書54集
- 河野史知ほか 1998『福音寺地区の遺跡II』「筋違・K遺跡』松山市文化財調査報告書67集
- 山之内志郎ほか 2001『福音寺地区的遺跡III』「筋違L・N遺跡』松山市文化財調査報告書84集
- 武正良浩 2003『福音寺小学校構内遺跡II－古墳時代以降編－』松山市文化財調査報告書91集
- 高尾和長ほか 2003『久米高畠遺跡25次調査』松山市文化財調査報告書93集
- 小玉亞紀子 2003『樽味四反地遺跡6次調査』「弥生時代～古墳時代初頭』松山市文化財調査報告書94集
- 高尾和長ほか 2004『東山古墳3次調査・東山古墳6次調査』松山市文化財調査報告書97集
- 小玉亞紀子ほか 2005『樽味四反地遺跡6次調査』「古墳時代中期～中世』松山市文化財調査報告書106集
- 加島次郎 2007『東野森ノ木遺跡』松山市文化財調査報告書117集
- 高尾和長 2007『樽味立派遺跡3次調査』松山市文化財調査報告書117集
- 宮内慎一 2009『樽味四反地遺跡16次調査』松山市文化財調査報告書133集
- 橋本雄一 2009『史跡久米官衙遺跡群調査報告書』「久米高畠遺跡47次・51次調査』松山市文化財調査報告書135集
- 橋本雄一 2010『樽味四反地遺跡17・18次調査』松山市文化財調査報告書139集
- 橋本雄一 2011『史跡久米官衙遺跡群調査報告書5』松山市文化財調査報告書149集
- 橋本雄一 2015『久米高畠遺跡47次・51次調査』松山市文化財調査報告書179集
- 宮内慎一 2016『久米高畠遺跡58次・60次・61次調査』松山市文化財調査報告書182集

## 第2章 筋違M遺跡

### 第1節 調査の経過と組織

#### 1. 調査の経過

調査区は水田の区画より東西2区画に分けて調査区を設定し、西区より調査を開始した。東区は近世の配水施設により地形変更が著しく、そのため近世の配水施設遺構の完掘後、下位の遺構面の検出を行った。排土は地権者の協力を受け隣地に置くこととした。屋外調査期間は平成10年12月1日～平成11年3月31日の間実施した。

#### 2. 調査組織

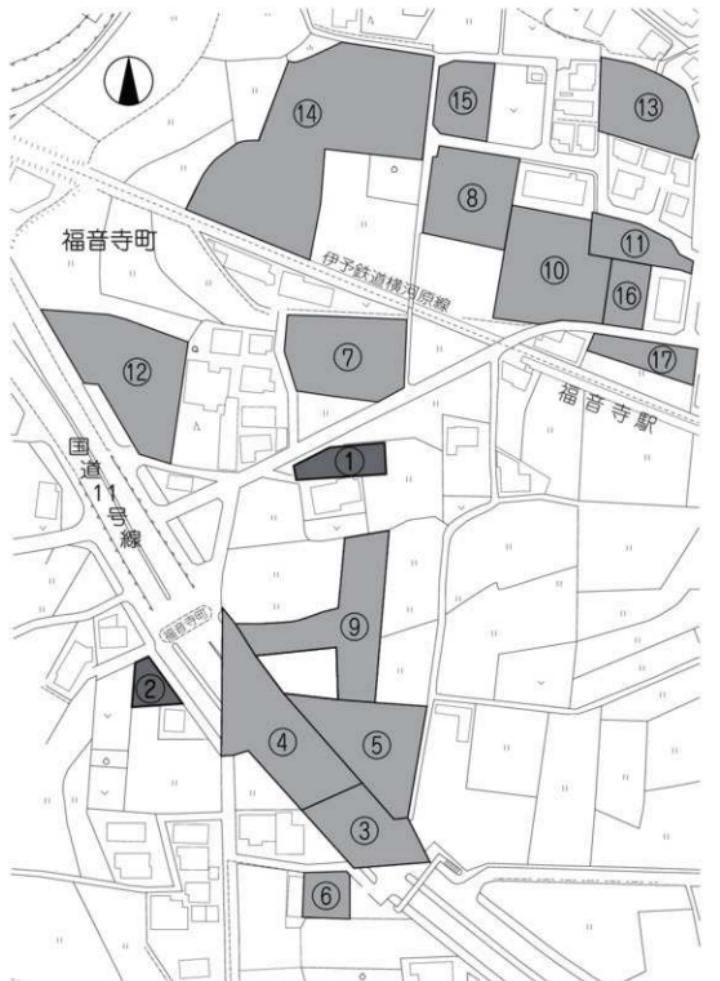
平成10年度調査組織（平成10年4月1日時点）

|          |     |             |
|----------|-----|-------------|
| 松山市教育委員会 | 教育長 | 池田 尚郷       |
| 事務局      | 局長  | 大野 嘉幸       |
|          | 次長  | 岩本 一夫       |
|          | 次長  | 丹下 正勝       |
| 文化財課     | 課長  | 松平 泰定       |
|          | 係長  | 西尾 幸則       |
|          | 担当  | 政本 和人（臨時職員） |



第1図 調査地位置図

筋違 M 遺跡



①筋違 M 遺跡

- ③筋違 A 遺跡
- ⑧筋違 F 遺跡
- ⑬筋違 K 遺跡

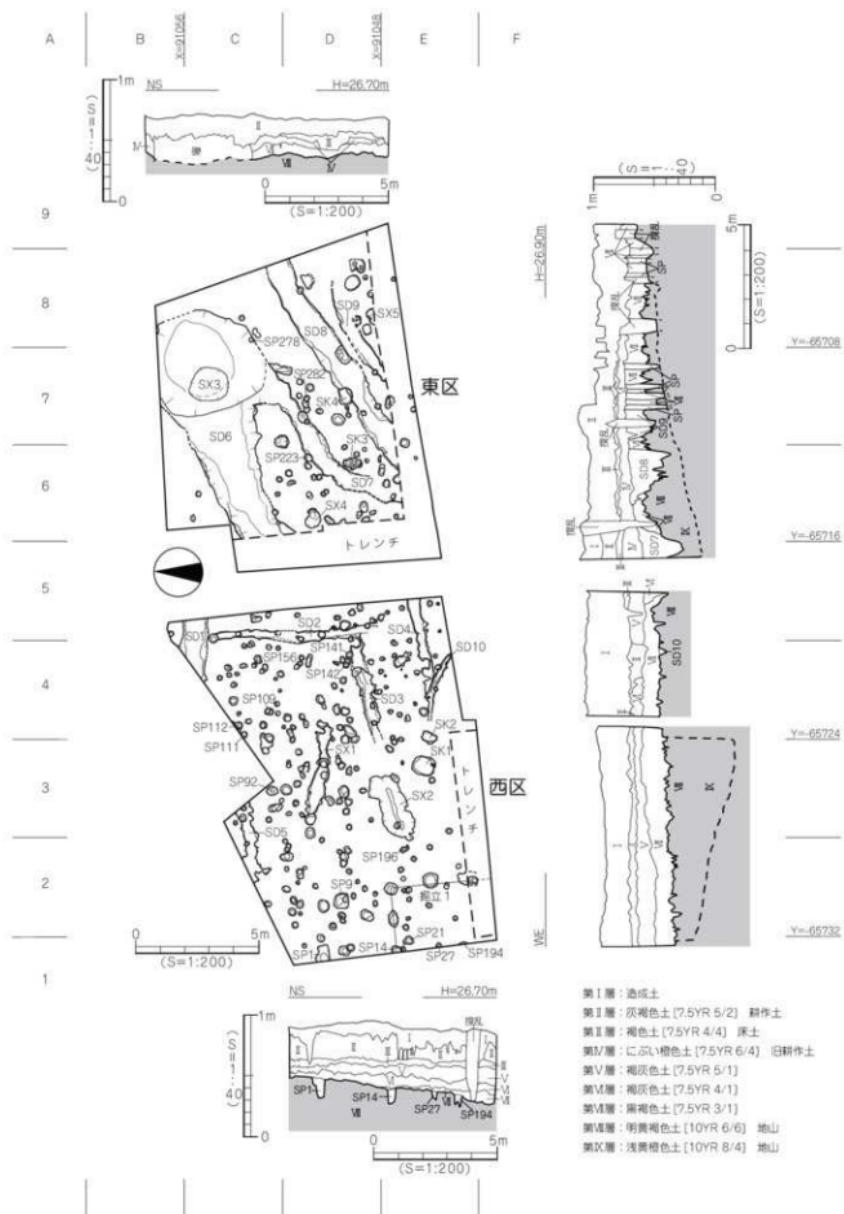
②筋違 Q 遺跡

- ④筋違 B 遺跡
- ⑨筋違 G 遺跡
- ⑭筋違 L 遺跡
- ⑤筋違 C 遺跡
- ⑩筋違 H 遺跡
- ⑮筋違 N 遺跡
- ⑥筋違 D 遺跡
- ⑪筋違 I 遺跡
- ⑯筋違 O 遺跡

- ⑦筋違 E 遺跡
- ⑫筋違 J 遺跡
- ⑰筋違 P 遺跡

第2図 調査地と周辺遺跡分布図

調査の成果



### 第3図 区割図・造構配置図・調査壁土層図

## 第2節 調査の成果

### 1. 層位

- 第Ⅰ層 造成土 調査区全域で4cm～40cmの厚さで堆積する。
- 第Ⅱ層 灰褐色土 (7.5YR 5/2) 調査区のほぼ全域に3cm～30cmの厚さで堆積する（耕作土）。
- 第Ⅲ層 暗褐色土 (7.5YR 4/4) 調査区全域で1cm～8cmの厚さで堆積する（床土）。
- 第Ⅳ層 にぶい橙色土 (7.5YR 6/4) 東区全体のやや西よりに4cm～16cmの厚さで堆積する（旧耕作土）。
- 第Ⅴ層 暗褐色土 (7.5YR 5/1) 西区と東区に1cm～20cmの厚さで堆積する。
- 第Ⅵ層 暗褐色土 (7.5YR 4/1) 西区の南東部と東区の北部に4cm～12cmの厚さで堆積する。
- 第Ⅶ層 黒褐色土 (7.5YR 3/1) 西区の南西部と東区の南部に10cm～16cmの厚さで堆積する。
- 第Ⅷ層 明黄褐色土 (10YR 6/6) 地山。
- 第Ⅸ層 浅黄橙色土 (10YR 8/4) 地山。

第Ⅵ層・第Ⅶ層は遺物包含層である。第Ⅷ層・第Ⅸ層の遺構検出面の地山はAT火山灰の可能性が考えられる。

なお、調査あたり、調査区内を4mグリッドに分けた。グリッド番号は北から南へA・B・C・・・F、西から東へ1・2・3・・・・8・9と番号を付した。

### 2. 遺構と遺物

本調査において古墳時代から中世までの遺構と遺物を検出した。検出した遺構は、掘立柱建物、土坑、溝、柱穴、性格不明遺構である。遺物は須恵器、土師器、陶磁器、石庖丁、石斧、石臼が出土した。遺構の内訳は東区から土坑2基、溝4条、柱穴77基、性格不明遺構3基、西区から掘立柱建物1棟、土坑2基、溝6条、柱穴210基、性格不明遺構2基を検出した。

以下、時代ごとに遺構の説明を行う。

#### (1) 古墳時代

##### 1) 掘立柱建物

###### 掘立1 (第4・5図、図版2～4・6)

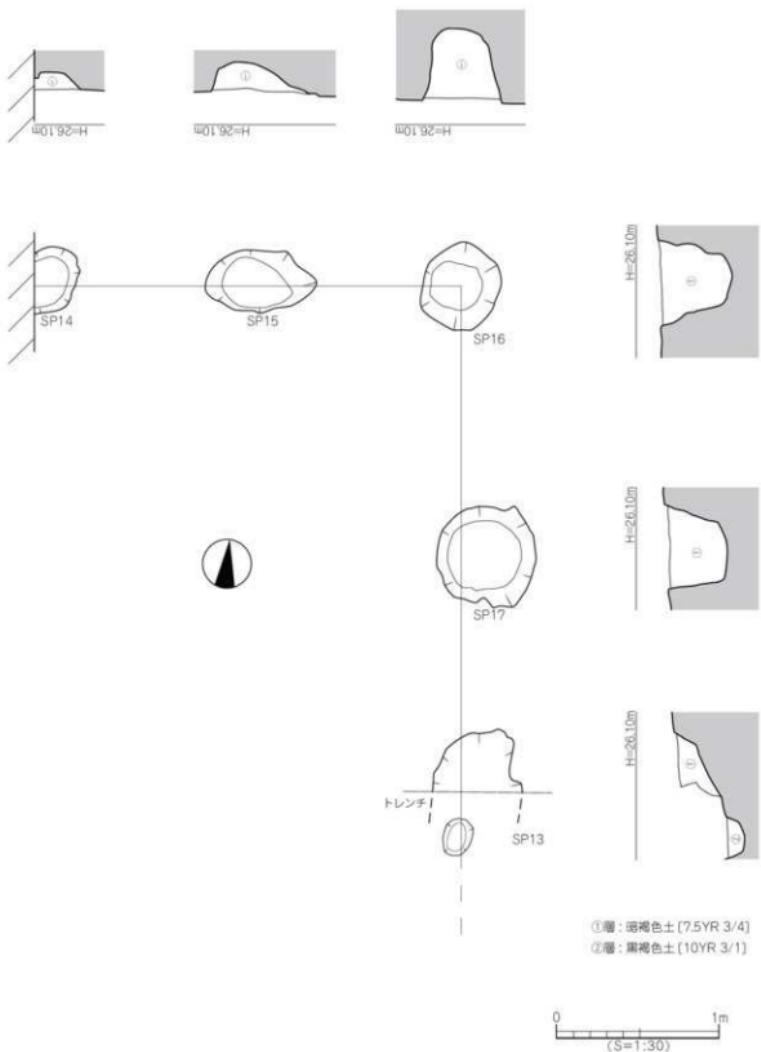
西区の西部E1・2～F2区に位置し、西側と南側は調査区外につづく。南側の柱穴の一部がトレチに切られる。検出は2間×2間分の柱穴5基である。規模は桁行3.17m、梁行2.60mを測る。柱穴の平面形態は円形と梢円形を呈し、規模は径40cm～69cm、深さ10cm～47cmを測る。埋土は①暗褐色土 (7.5YR 3/4)、②黒褐色土 (10YR 3/1) である。出土遺物には須恵器がある。

###### 出土遺物 (1～4)

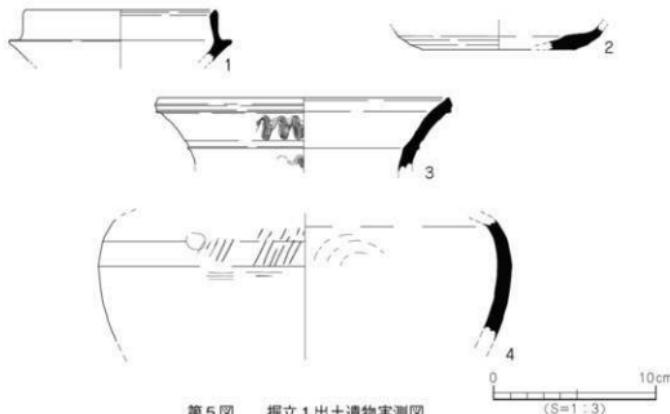
1～4は須恵器。1は壺身。受け部は短く水平に伸び端部は丸い。立ち上がりは直立気味で端部は内傾する面を持ち窪む。2は壺。平底の底部。3・4は壺。3の口縁部は外上方に開き、口縁端部は下方に拡張され、口縁部中位には段を持ち、波状文を施す。4は肩の張る胴部。

時期：出土遺物の須恵器の形態から掘立1の廃棄・埋没時期は古墳時代後期とする。

調査の成果



第4図 掘立1測量図



第5図 挖立1出土遺物実測図

## (2) 中世

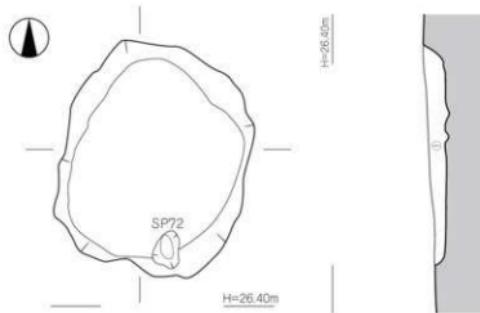
中世の遺構は、土坑4基、溝10条、性格不明遺構5基がある。

## 1) 土坑

SK1(第6図、図版2・3)

SK1は西区中央南のE3区に位置する。平面形態は楕円形で、規模は長さ1.02m、幅0.77m、深さ7cmを測る。断面形態は皿状である。埋土は暗褐色土(7.5YR 3/4)+第Ⅷ層 明黄褐色土(10YR 6/6)ブロックである。出土遺物は土師器がある。

時期：出土遺物と埋土からSK1の廃棄・埋没時期は中世とする。



①層：暗褐色土(7.5YR 3/4)

+ 第Ⅷ層 明黄褐色土(10YR 6/6) ブロック



第6図 SK1測量図

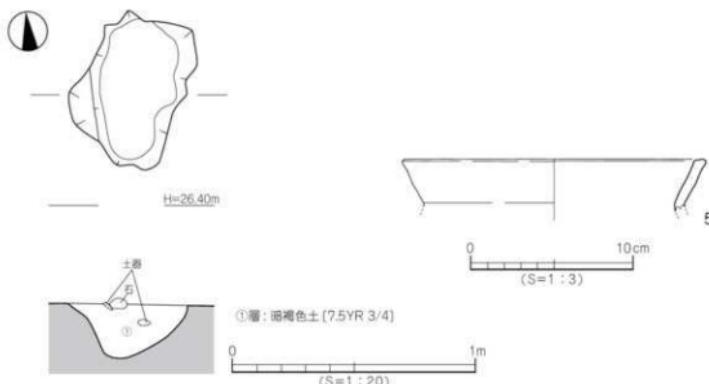
## SK2 (第7図、図版2・3)

SK2は西区中央南のE3・4区に位置する。平面形態は楕円形で、規模は長さ0.66m、幅0.40m、深さ22cmを測る。断面形態は「U」字状である。埋土は暗褐色土(7.5YR 3/4)である。出土遺物は土師器がある。

## 出土遺物(5)

5は土師器の甕。口縁部は外傾し口縁端部は水平な面を持つ。

時期：埋土からSK1の廃棄・埋没時期は中世とする。



第7図 SK2測量図・出土遺物実測図

## SK3 (第8図、図版1～3)

SK3は東区D6区に位置する。平面形態は楕円形で、規模は長さ0.80m、幅0.51m、深さ26cmを測る。断面形態は「U」字状である。埋土は①暗褐色土(7.5YR 3/4)+第Ⅷ層 明黄褐色土(10YR 6/6)、②暗褐色土(7.5YR 3/4)である。出土遺物は土師器の小片と石廈丁がある。

## 出土遺物(6)

6は石廈丁。穿孔が2か所にある。石材は緑色片岩である。

時期：埋土からSK3の廃棄・埋没時期は中世とする。

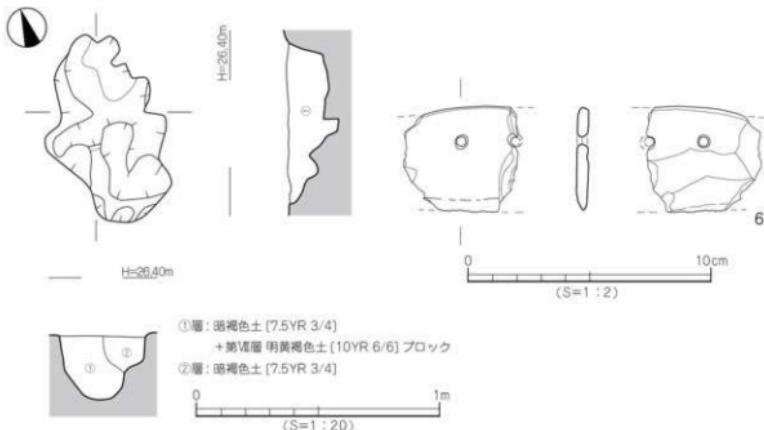
## SK4 (第9図、図版1～3)

SK4は東区D7区に位置する。平面形態は楕円形である。規模は長さ0.71m、幅0.52m、深さ14cmである。断面形態は皿状である。埋土は褐灰色土(7.5YR 4/1)+第Ⅷ層 明黄褐色土(10YR 6/6)ブロックである。出土遺物は土師器と須恵器がある。

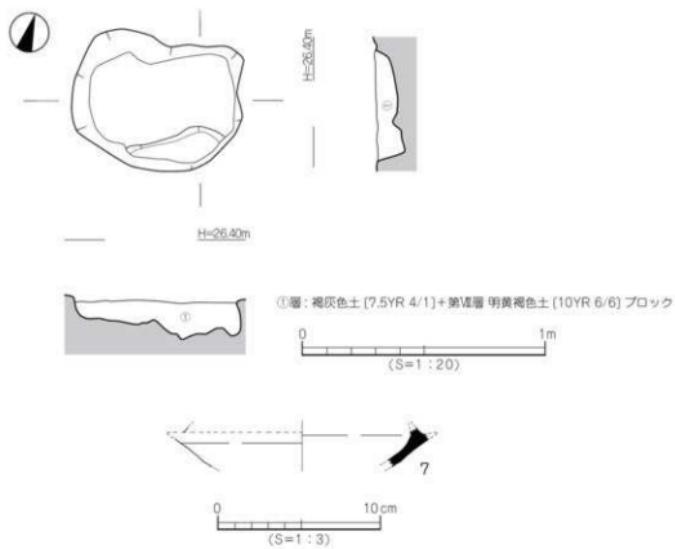
## 出土遺物(7)

7は須恵器の坏身。内傾するたちあがりを持つ。

時期：埋土からSK4の廃棄・埋没時期は中世とする。



第8図 SK 3測量図・出土遺物実測図



第9図 SK 4測量図・出土遺物実測図

## 2) 溝

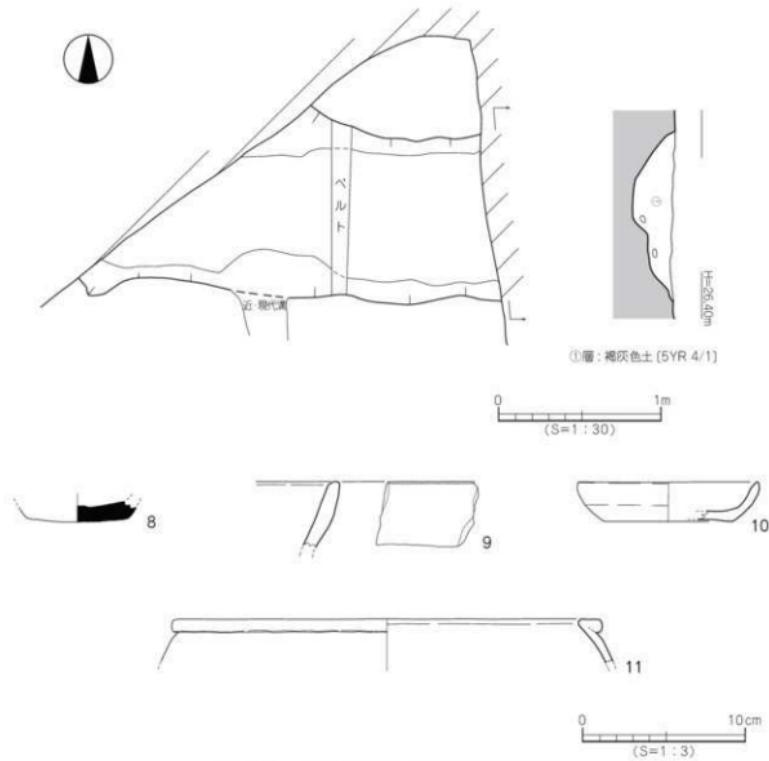
## SD1 (第 10・11 図、図版 2・3・6)

SD1 は西区 B4 ~ C5 区に位置する東西方向の溝である。一部、近・現代溝に切られ西側と東側は調査区外につづく。規模は検出長 2.58m、幅 1.0 ~ 1.17m、深さ 24cm を測る。断面形態はレンズ状である。埋土は褐灰色土 (5YR 4/1) である。出土遺物は須恵器と土師器がある。

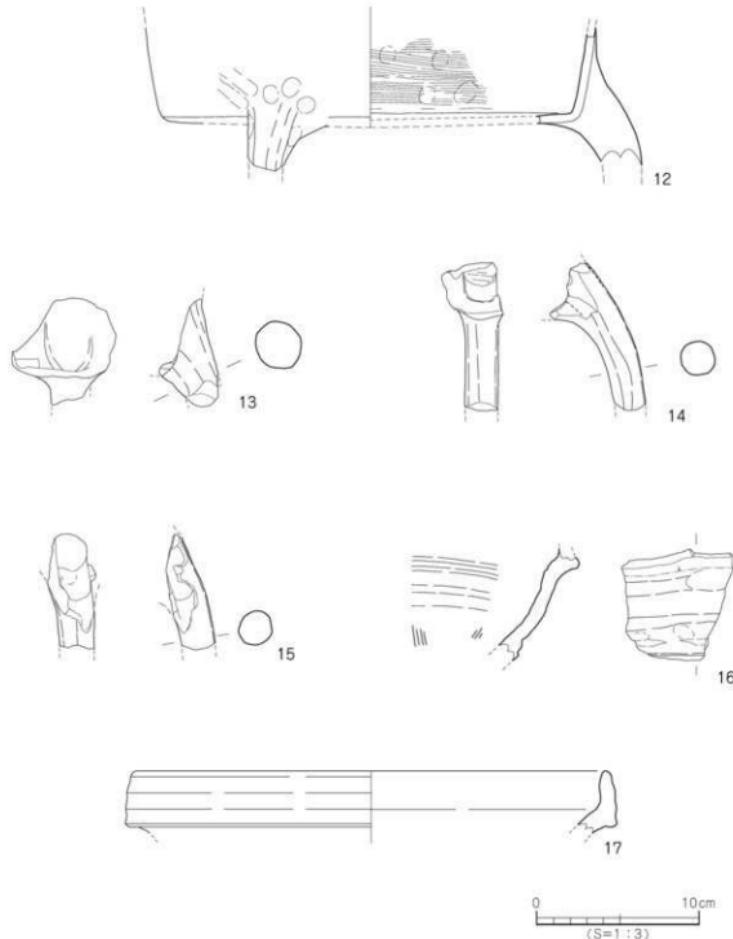
## 出土遺物 (8 ~ 17)

8 は須恵器の壺。丸みを持つ小さな底部。9 ~ 15 は土師器。9 は壺。外傾する口縁端部は内傾する面を持つ。10 は皿。口縁端部は尖り気味に丸い。11 ~ 15 は三足釜。11 は口縁部。端部に断面三角形状の突帯を貼り付ける。12 は底部から脚部。底部は平底である。13 ~ 15 は脚部。断面は円形状である。16・17 は備前焼の陶器の擂鉢。16 は内面に櫛目が残る。17 は口縁端部が内湾する。

時期：出土遺物の特徴と埋土から SD1 の廃棄・埋没時期は中世と考えられる。



第 10 図 SD1 測量図・出土遺物実測図 (1)

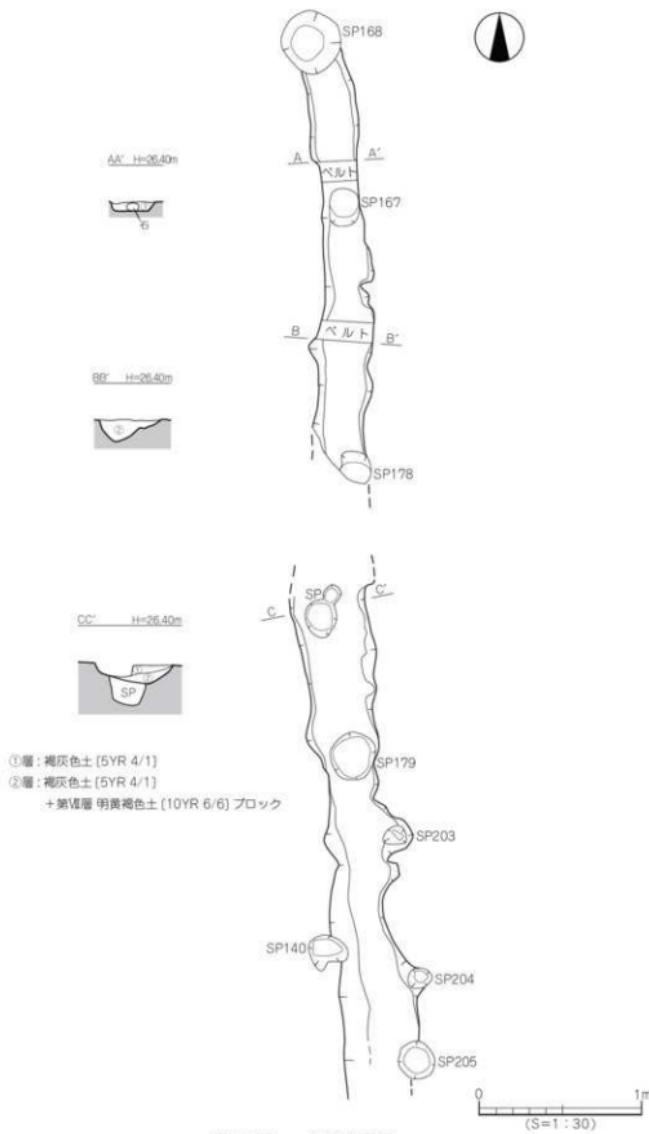


第 11 図 SD 1 出土遺物実測図 (2)

SD2 (第 12 図、図版 2・3)

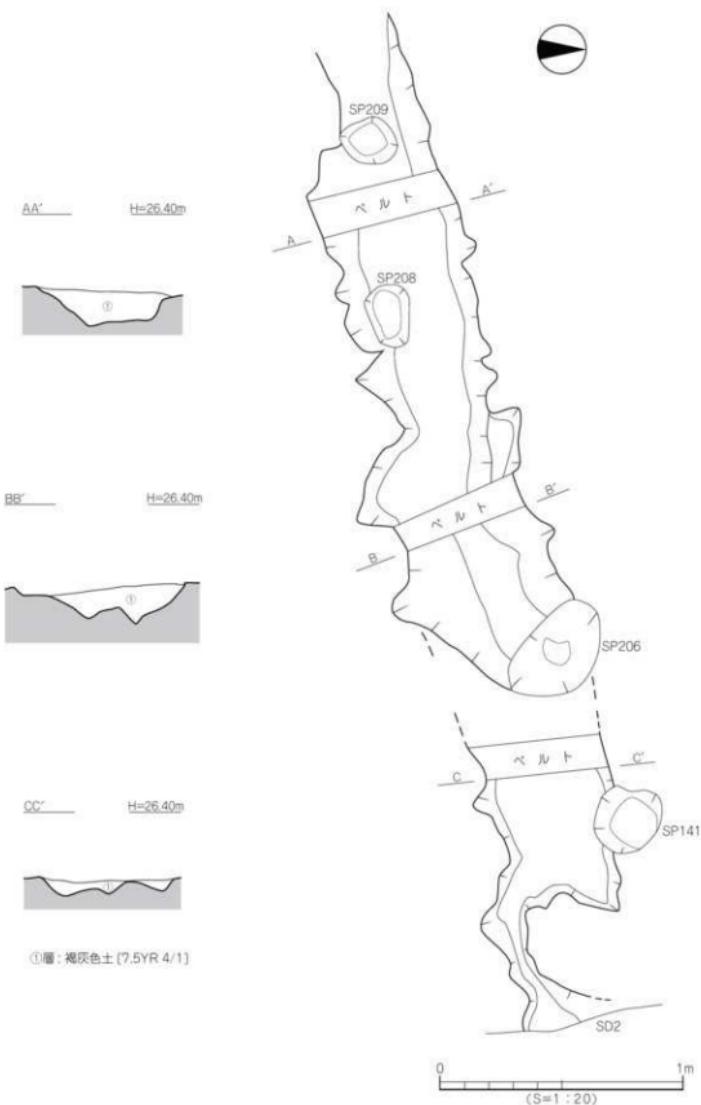
SD2 は西区 C5 ~ D5 区に位置し、SD3 を切る南北方向の溝である。規模は検出長 6.0m、幅 26 ~ 46cm、深さ 8cm を測る。断面形態はレンズ状である。埋土は①褐灰色土 (5YR 4/1)、②褐灰色土 (5YR 4/1) + 第Ⅷ層 明黄褐色土 (10YR 6/6) ブロックである。出土遺物は土師器がある。

時期：埋土と出土遺物から SD2 の廃棄・埋没時期は中世と考えられる。



第12図 SD2測量図

筋道 M 遺跡



第 13 図 SD3 測量図

**SD3（第13図、図版2・3）**

SD3は西区D3・4区に位置する東西方向の溝である。東側はSD2に切られる。規模は検出長4.35m、幅35～70cm、深さ5～15cmを測る。断面形態は不整形である。埋土は褐灰色土（7.5YR 4/1）である。出土遺物は土師器がある。

時期：埋土と出土遺物からSD3の廃棄・埋没時期は中世と考えられる。

**SD4（第14図、図版2・3）**

SD4は西区E4・5区に位置する東西方向の溝である。東側調査区外につづき、西側はSD10に切られる。規模は検出長3.95m、幅13～55cm、深さ4～10cmを測る。断面形態は不整形である。埋土は暗褐色土（7.5YR 3/4）である。出土遺物は土師器と弥生土器がある。

## 出土遺物（18・19）

18は弥生土器の甕形土器。外反する口縁部。19は土師器の三足釜の脚部。

時期：埋土と出土遺物の特徴からSD4の廃棄・埋没時期は中世と考えられる。

**SD5（第15図、図版2・3）**

SD5は西区C2・3区に位置する東西方向の溝である。東側と西側は調査区外につづく。規模は検出長3.15m、幅36～68cm、深さ10cmを測る。断面形態はレンズ状である。埋土は注記なし。出土遺物は土師器がある。

時期：出土遺物からSD5の廃棄・埋没時期は中世と考えられる。

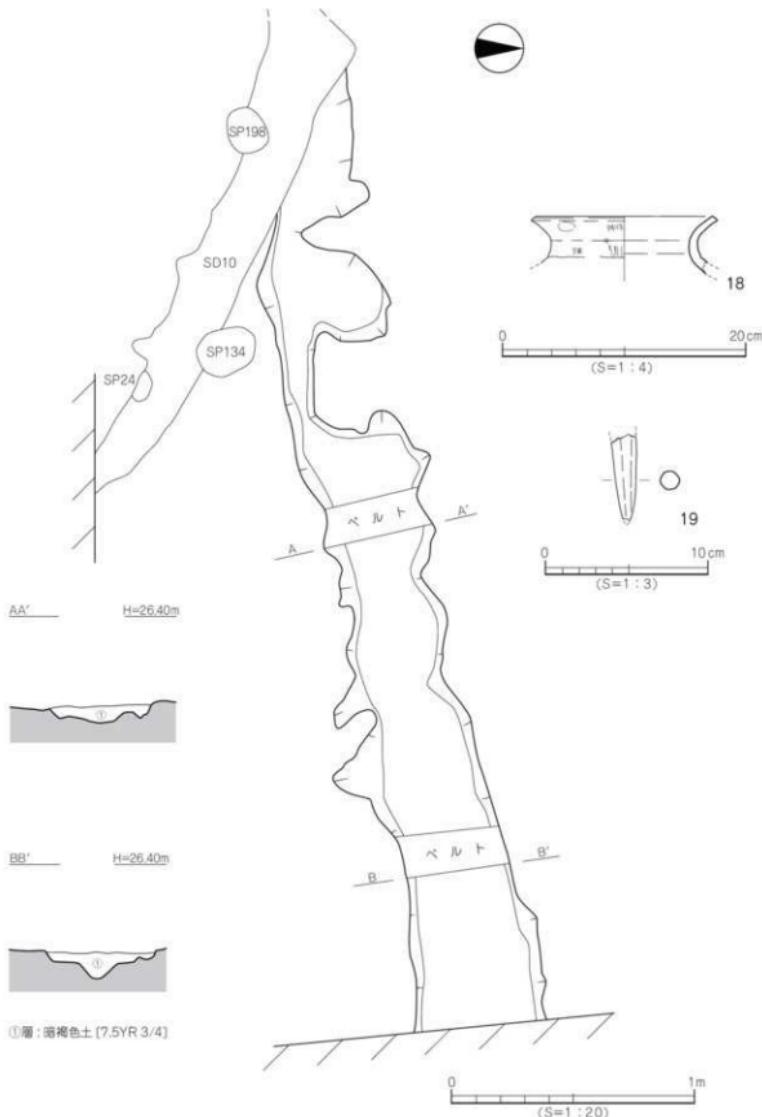
**SD6（第16～18図、図版1～3・6）**

SD6は東区B8～C6区に位置する東西方向の溝で、SX3と近・現代溝に切られ、西側と北側は調査区外につづく。東側は円形状に大きく膨らみ窪む。規模は検出長9.44m、幅1.74～2.15m、深さ41～62cmを測る。断面形態はレンズ状である。埋土は①褐灰色土（7.5YR 5/1）、②褐灰色土（7.5YR 5/1）+第Ⅷ層 明黄褐色土（10YR 6/6）ブロック、③褐灰色土（7.5YR 4/1）+第Ⅸ層 明黄褐色土（10YR 6/6）ブロック、④褐灰色土（7.5YR 4/1）、⑤褐灰色細砂（7.5YR 5/1）、⑥褐灰色粘質土（7.5YR 4/1）、⑦褐灰色砂質土（7.5YR 4/1）である。出土遺物は弥生土器、土師器、須恵器、磁器がある。

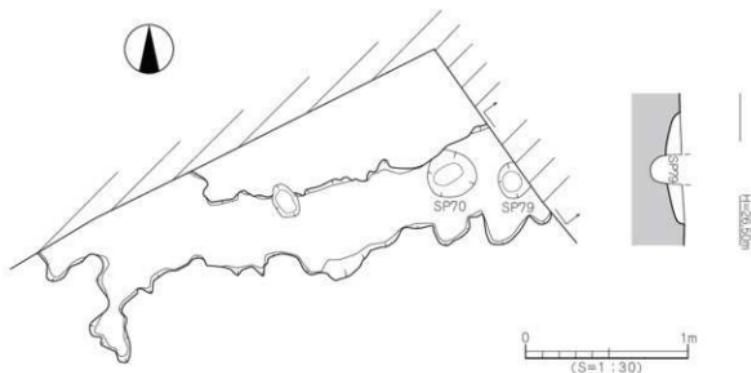
## 出土遺物（20～41）

20～23は弥生土器。20は甕形土器の平底。21は壺形土器。口縁端部は下方に垂下する。22・23は支脚形土器の柱部。24～28は須恵器。24は壺蓋。口縁部は屈曲して接地する。25・26は壺身。25のたちあがりは内傾し端部は尖り気味に丸い。受け部は短く水平に伸びる。26はたちあがりは内傾し端部は尖り気味に丸い。受け部は外上方に短く伸びる。27は高台付き壺。「ハ」の字状に開く高台部。28は壺。外反する口縁部。端部は「コ」字状。29～35は土師器。29～31は高壺。29は壺部。30・31は柱部。32は壺の把手。33は皿。底部に板状圧痕が残る。34・35は三足釜。34は底部と脚部。35は脚部。36～39は陶器。36・37は壺の平底。38・39は擂鉢。38は片口の口縁部で、内面に4条の櫛目が残る。39は底部内面に櫛目が見られる。40・41は磁器。40は中国龍泉窯系の青磁碗。見込みに花のスタンプ文。41は中国明代の染付皿。15世紀後半～16世紀前半。

時期：出土遺物の特徴からSD6の廃棄・埋没時期は中世と考えられる。



第 14 図 SD 4 測量図・出土遺物実測図



第15図 SD 5測量図

**SD7 (第19図、図版1~3)**

SD7は東区C7~E6区に位置し、北側は近・現代溝に切られ、南側は調査区外につづく。規模は検出長8.0m、幅0.77~1.60m、深さ16cmを測る。断面形態は逆台形状である。埋土は褐灰色土(7.5YR 4/1)である。出土遺物は土師器がある。

**出土遺物 (42~44)**

42~44は土師器。42は皿の口縁部。43・44は三足釜の脚部。

時期：出土遺物の特徴からSD7の廃棄・埋没時期は中世と考えられる。

**SD8 (第20図、図版1~3)**

SD8は東区C8~E6区に位置し、部分的に近・現代溝に切られ、東側と南側は調査区外につづく。規模は検出長9.52m、幅1.08m、深さ23cmを測る。断面形態はレンズ状である。埋土は暗褐色土(7.5YR 3/4) + 褐灰色土(5YR 4/1)である。出土遺物は弥生土器と土師器がある。

**出土遺物 (45~48)**

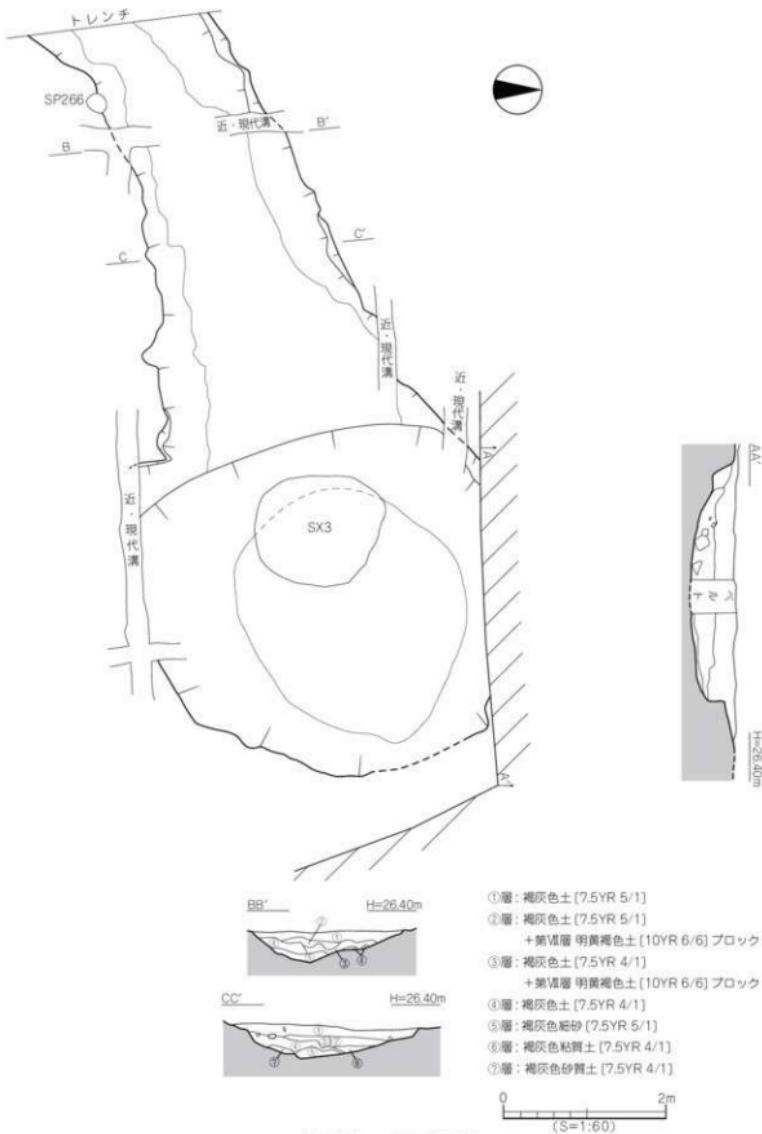
45~47は弥生土器。45は壺形土器。小さな平底の小片。46は壺形土器。平底。47は器種不明の土製品。中央部に径12cmの円孔がある。48は土師器の高坏。脚部から坏部の残存。脚裾部は短く水平に伸びる。

時期：埋土からSD8の廃棄・埋没時期は中世と考えられる。

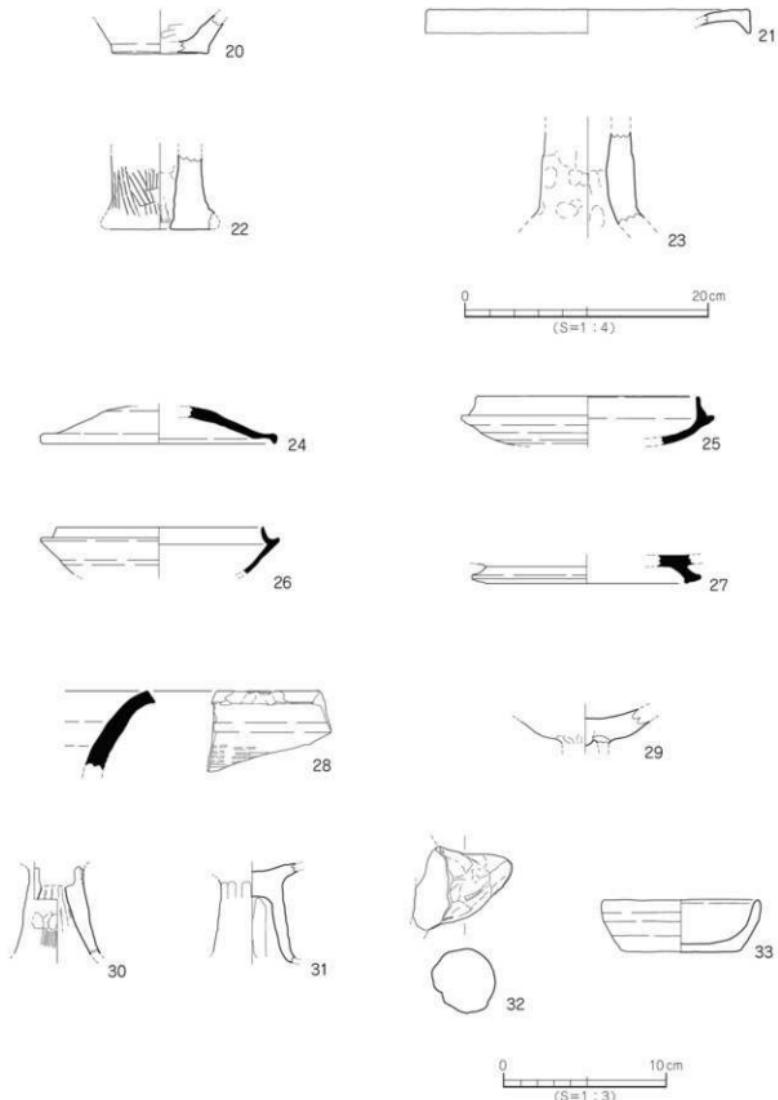
**SD9 (第21図、図版1~3)**

SD9は東区D8~E7区に位置し、近・現代溝に切られ、南側は調査区外につづく。規模は検出長4.37m、幅0.63m、深さ9cmを測る。断面形態はレンズ状である。埋土は褐灰色土(7.5YR 4/1)である。出土遺物は土師器がある。

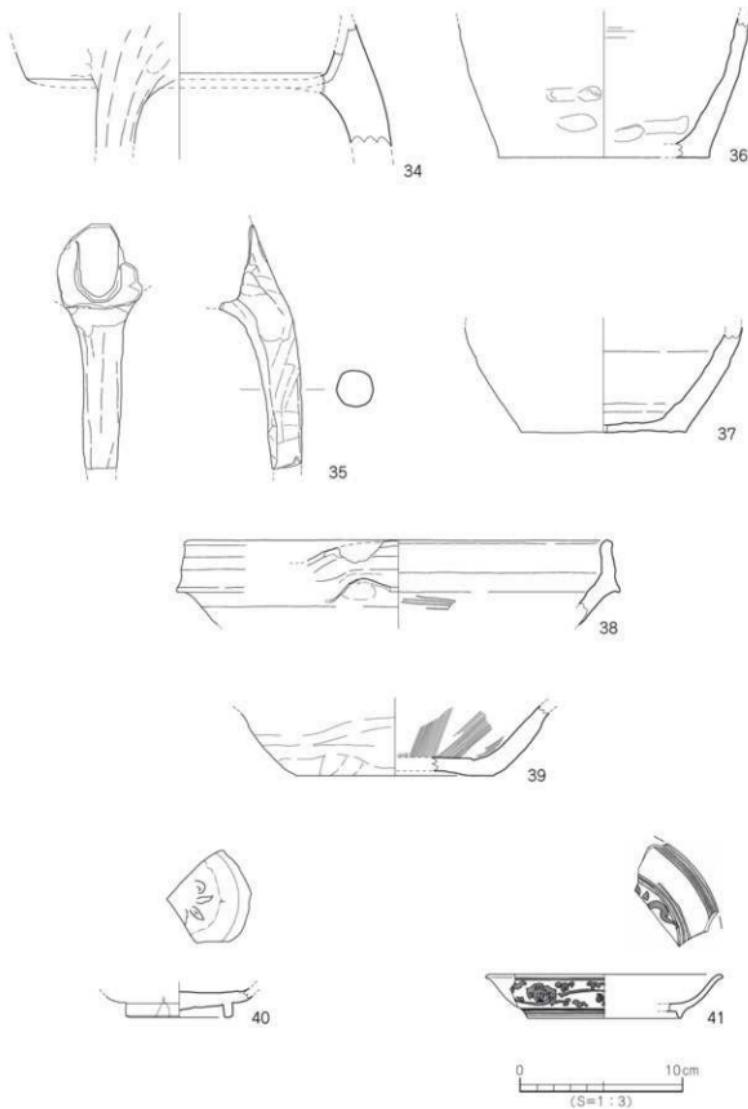
時期：出土遺物が小片のため時期決定は明確ではないが、埋土からSD9の廃棄・埋没時期は中世と考えられる。



第 16 図 SD 6 測量図

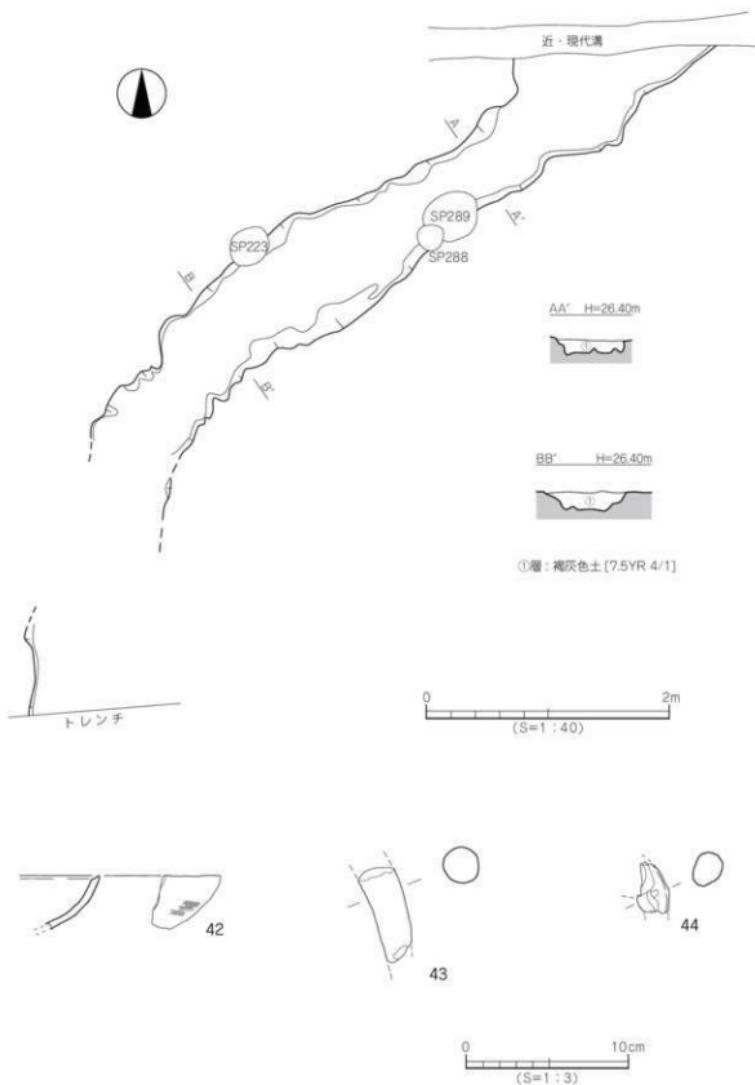


第 17 図 SD 6 出土遺物実測図 (1)

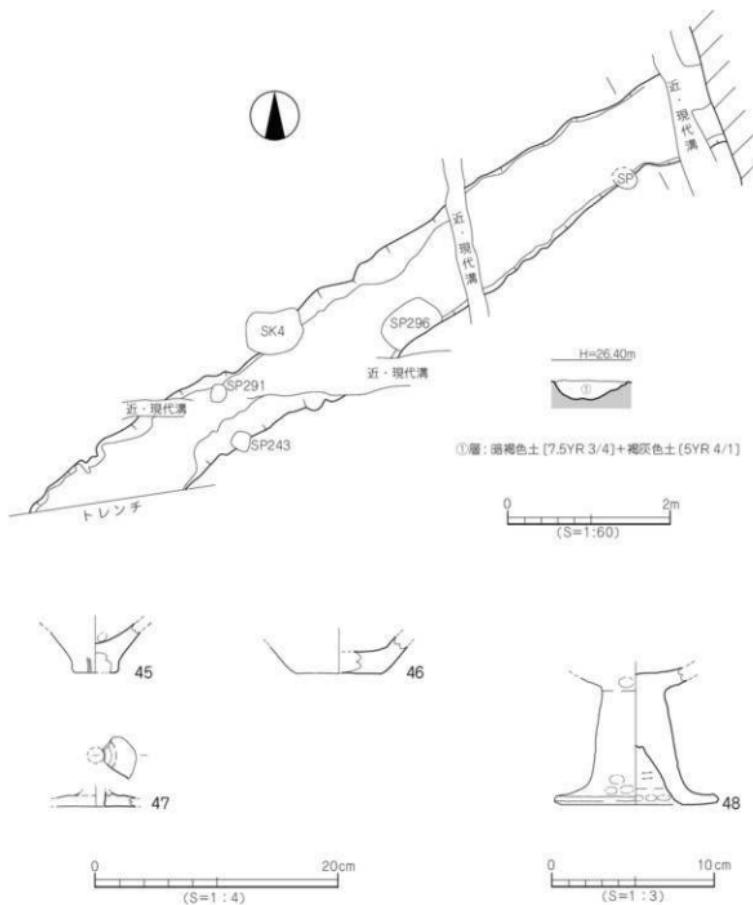


第 18 図 SD 6 出土遺物実測図 (2)

調査の成果



第 19 図 SD 7 測量図・出土遺物実測図

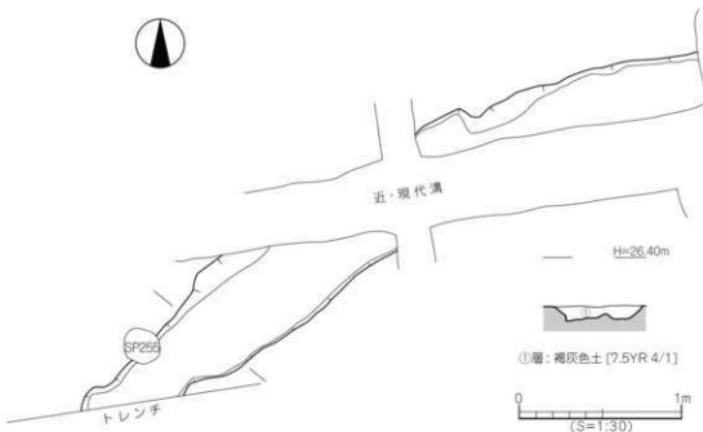


第 20 図 SD 8 測量図・出土遺物実測図

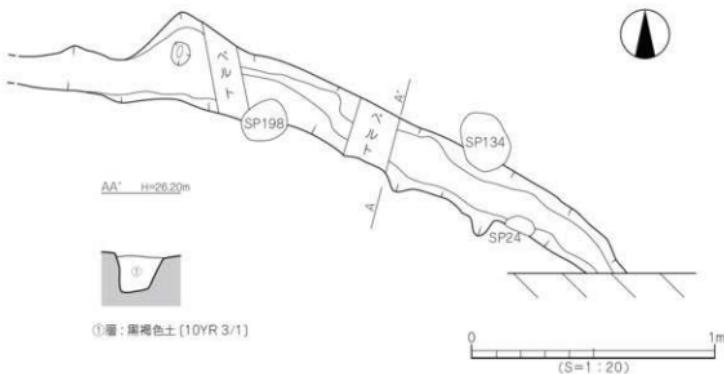
## SD10 (第 22 図、図版 2・3)

SD10 は西区 E4・5 区に位置する東西方向の溝である。SD4 を切り、東側は調査区外につづき、西側は近・現代溝に切られる。規模は検出長 3.15m、幅 30cm、深さ 17cm を測る。断面形態は「U」字状である。埋土は黒褐色土 (10YR 3/1) である。出土遺物は土師器と弥生土器がある。

時期：出土遺物が小片のため時期決定は明確ではないが、埋土から SD10 の廃棄・埋没時期は中世と考えられる。



第21図 SD9測量図



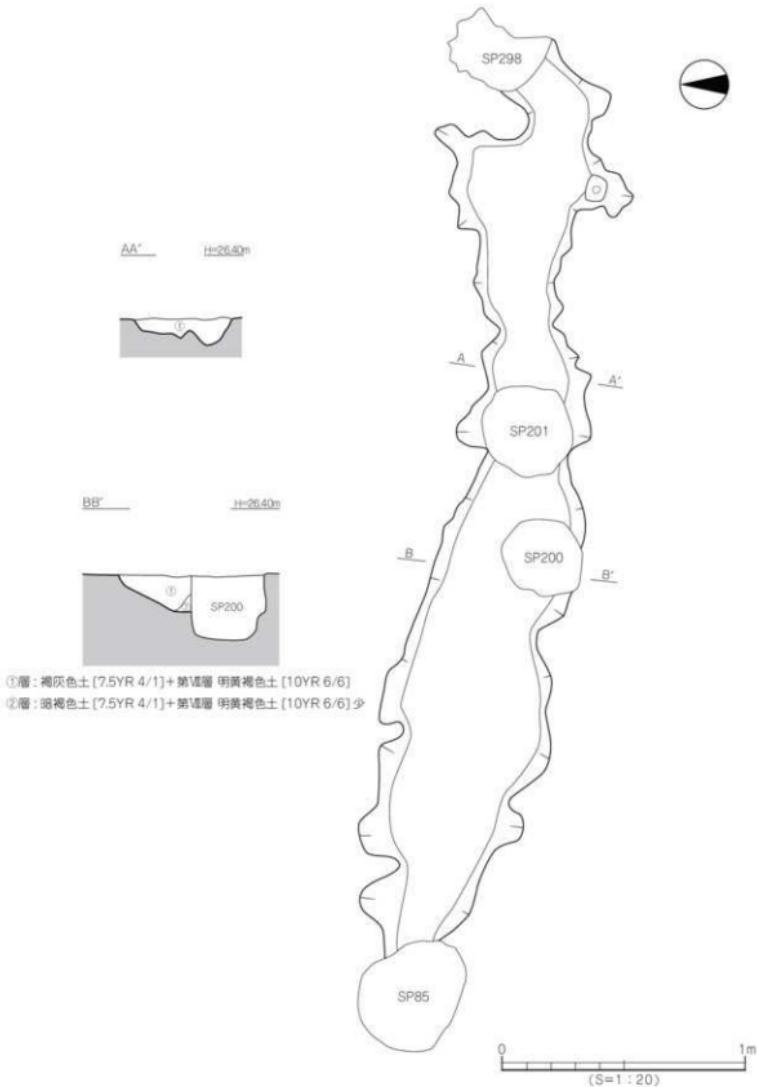
第22図 SD10測量図

### 3) 性格不明遺構

#### SX1 (第23図、図版2・3)

SX1は西区D3・4区に位置しSP85・200・201・298に切られる。平面形態と断面形態は不整形である。規模は長さ384m、幅25~71cm、深さ14cmを測る。埋土は①褐灰色土 (7.5YR 4/1)+第Ⅶ層 明黄褐色土 (10YR 6/6)、②暗褐色土 (7.5YR 4/1)+第Ⅶ層 明黄褐色土 (10YR 6/6) 少である。出土遺物は土師器である。

時期：出土遺物が小片のため時期決定は明確ではないが、埋土からSX1の廃棄・埋没時期は中世とする。



第 23 図 SX 1 測量図

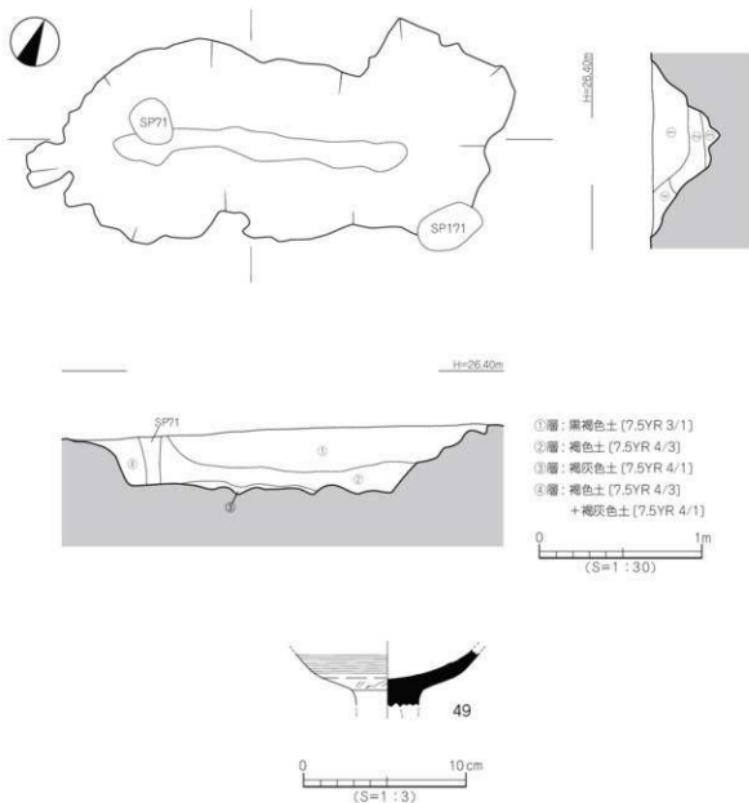
## SX2 (第24図、図版2・3)

SX2は西区D3～E2区に位置しSP71・171に切られる。平面形態は不整形である。規模は長さ3.05m、幅0.93～1.22m、深さ41cmを測る。断面形態は舟底状である。埋土は①黒褐色土(7.5YR 3/1)、②褐色土(7.5YR 4/3)、③褐灰色土(7.5YR 4/1)、④褐色土(7.5YR 4/3)+褐灰色土(7.5YR 4/1)である。出土遺物は須恵器と土師器がある。

## 出土遺物(49)

49は須恵器の高坏。基部から壞部にかけての残存。

時期：出土遺物が小片のため時期決定は明確ではないが、埋土からSX2の廃棄・埋没時期は中世とする。



第24図 SX2測量図・出土遺物実測図

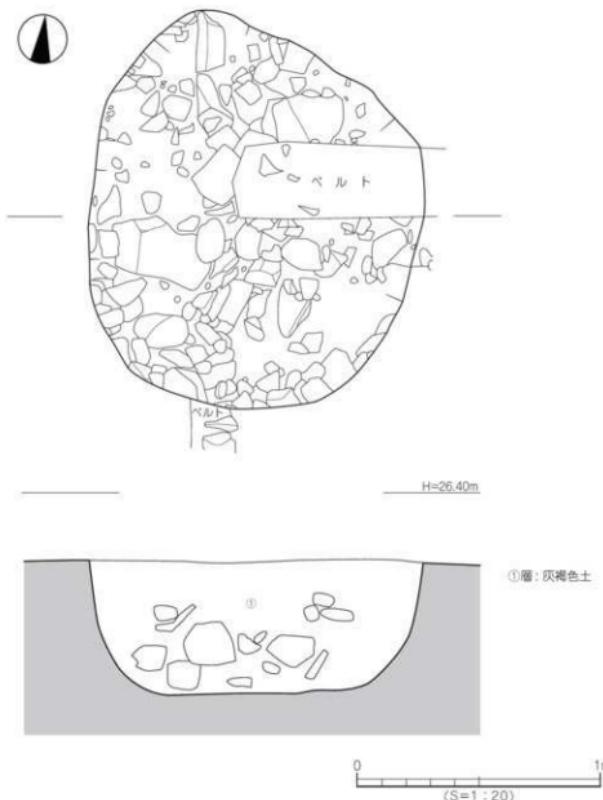
## SX3 (第 25・26 図、図版 1 ~ 3・5)

SX3 は東区 C7 区に位置し、SD6 を切る。平面形態は梢円形で規模は長 1.58 m、幅 1.34 m、深さ 53cm を測る。断面形態は逆台形状である。埋土は灰褐色土である。出土遺物は石が多数と須恵器、土師器、陶器がある。

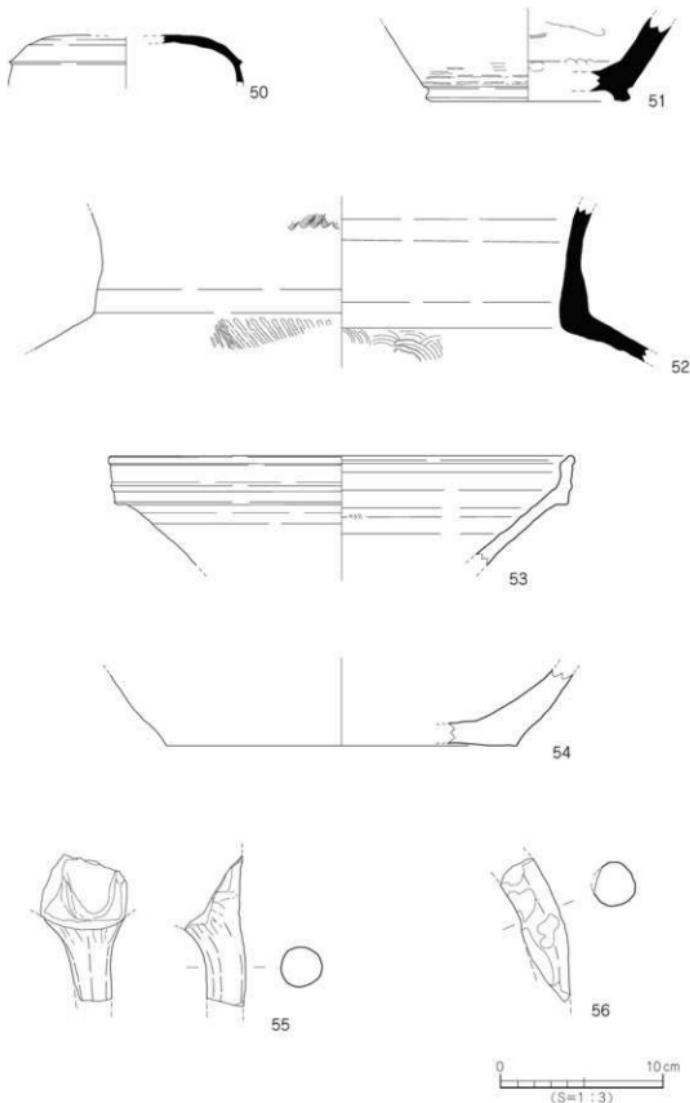
## 出土遺物 (50 ~ 56)

50 ~ 52 は須恵器。50 は坏蓋。扁平な天井部と口縁部を分ける稜は断面三角形状である。51 は壺底部。短く「ハ」の字状に開く高台部。52 は甕。頭部外面に波状文を施す。53・54 は陶器。53 は備前焼の擂鉢。54 は甕。厚みのある底部。55・56 は土師器。三足釜の脚部。

時期：出土遺物の形態と埋土から SX3 の廃棄・埋没時期は中世とする。



第 25 図 SX3 測量図



第 26 図 SX 3 出土遺物実測図

**SX4 (第 27 図、図版 1 ~ 3)**

SX4 は東区 D6 区に位置する。平面形態は不整形である。規模は長さ 0.81 m、幅 0.63 m、深さ 38 cm を測る。断面形態は舟底状である。埋土は①褐灰色土 (7.5YR 4/1)、②暗褐色土 (7.5YR 3/4) + 第Ⅶ層 明黄褐色土 (10YR 6/6) である。出土遺物は土師器がある。

**出土遺物 (57)**

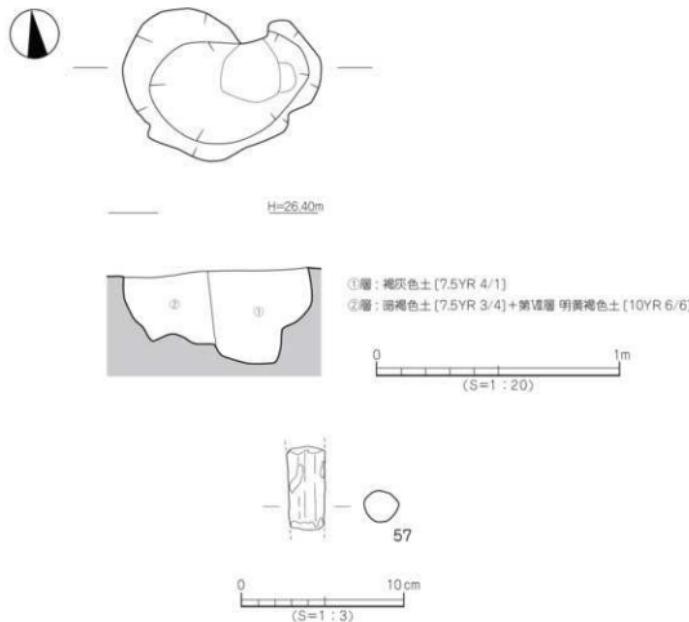
57 は土師器の三足釜の脚部。

時期：出土遺物が小片のため時期決定は明確ではないが、埋土から SX4 の廃棄・埋没時期は中世とする。

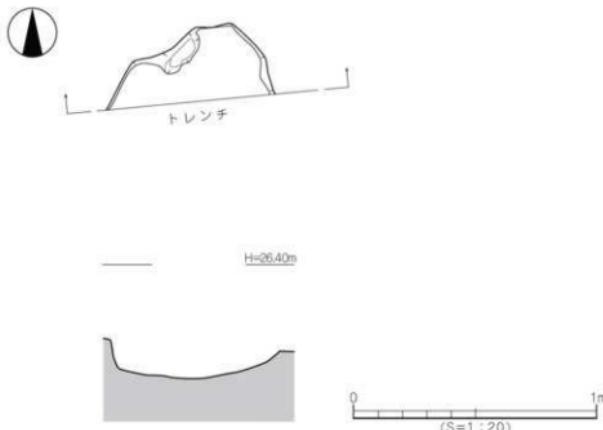
**SX5 (第 28 図、図版 1 ~ 3)**

SX5 は東区 D8 区に位置し、南側はトレンチに切られる。平面形態は不整形である。規模は長さ 0.68 m、検出幅 0.33 m、深さ 14cm を測る。断面形態はレンズ状である。埋土は注記なし。出土遺物は土師器がある。

時期：出土遺物が小片のため時期決定は明確ではないが、埋土から SX5 の廃棄・埋没時期は中世とする。



第 27 図 SX4 測量図・出土遺物実測図



第28図 SX5測量図

## 4) 柱穴 (第29図、図版1~3)

柱穴は調査区全域で検出し、平面形態には円形・椭円形・隅丸方形・不整形の287基がある。その内の土色が確認できたのは175基で、これらを埋土で分類すると以下の3種類に大分類できる。

I類：褐灰色土を基調とする。109基を検出した。色調の違いと混入土により、7つに細分される。

- ①褐灰色土 (5YR 4/1)
- ②褐灰色土 (5YR 4/1) + 第Ⅷ層 明黄褐色土 (10YR 6/6) ブロック
- ③褐灰色土 (7.5YR 4/1)
- ④褐灰色土 (7.5YR 4/1) + 暗褐色土 (7.5YR 3/4)
- ⑤褐灰色土 (7.5YR 4/1) + 第Ⅶ層 明黄褐色土 (10YR 6/6)
- ⑥褐灰色土 (10YR 4/1)
- ⑦褐灰色土 (10YR 4/1) + 第Ⅶ層 明黄褐色土 (10YR 6/6)

II類：黒褐色土を基調とする。7基を検出した。色調の違いと混入土により、3つに細分される。

- ①黒褐色土 (7.5YR 3/2) + 第Ⅶ層 明黄褐色土 (10YR 6/6)
- ②黒褐色土 (10YR 3/1)
- ③黒褐色土 (10YR 3/1) + 第Ⅶ層 明黄褐色土 (10YR 6/6)

III類：暗褐色土を基調とする。59基を検出した。色調の違いと混入土により、3つに細分される。

- ①暗褐色土 (7.5YR 3/4)
- ②暗褐色土 (7.5YR 3/4) + 褐灰色土 (5YR 4/1)
- ③暗褐色土 (7.5YR 3/4) + 第Ⅶ層 明黄褐色土 (10YR 6/6)

## 出土遺物（58～73）

58・59は弥生土器。58は器台形土器の小片（I類SP9出土）。円孔が2か所残る。59は器種不明土製品（III類SP141出土）。円孔がある。60～71は土師器。60は壺（I類SP109出土）。口縁部は屈曲し口端面は水平な面を持つ。61は高坏（SP303出土）。段を持ち外上方に開く坏部。62は皿（III類SP142出土）。底部に回転糸切り痕。63は坏（II類SP156出土）。体部から口縁部の残存。外面にナデによる段が残る。64～71は三足釜。64は口縁部（SP21出土）。口縁下部に断面三角形状の突帯を貼り付ける。外面に煤が付着している。65（III類SP223出土）・66（SP21出土）は口縁端部に断面三角形状の突帯を貼り付ける。67～71は脚部。67（SP112出土）・68（I類SP282出土）は体部との接合部。69（I類SP111出土）・70（SP278出土）・71（III類SP92出土）は端部に近い脚部小片。72は須恵器の壺（I類SP282出土）の頸部。73は備前焼の陶器の擂鉢（I類SP282出土）。内面に櫛目が残る。

## 5) 第VII層出土遺物（74～89）（第30図、図版6）

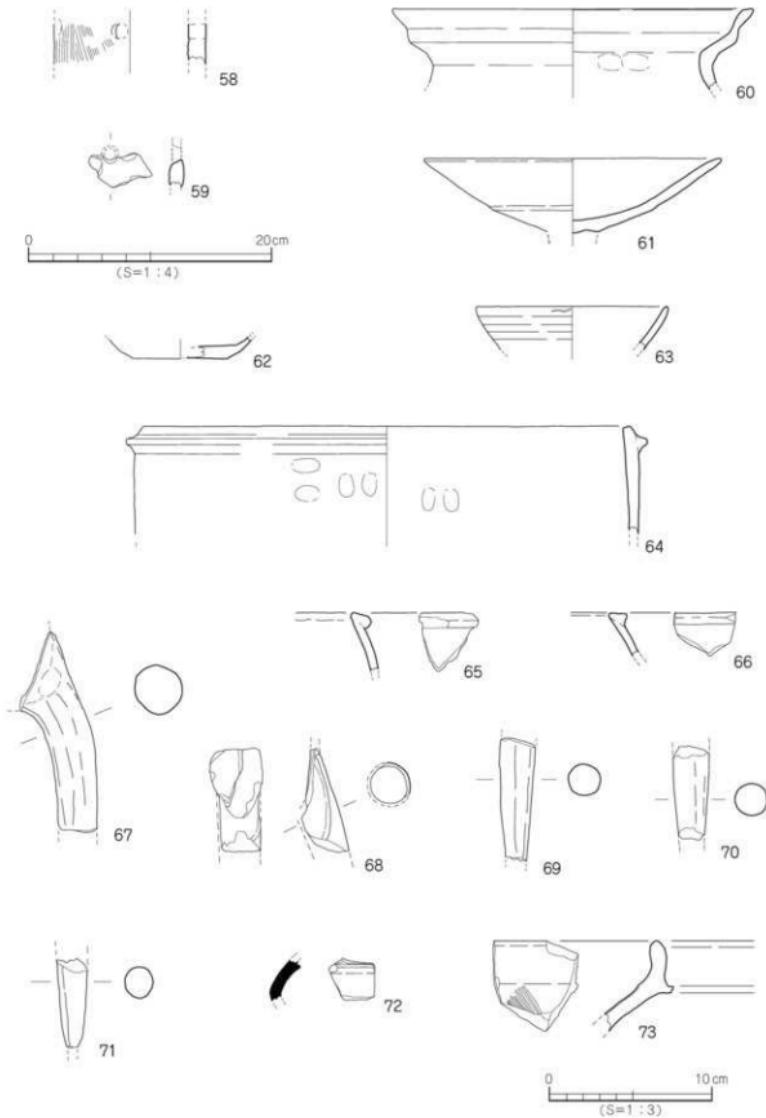
74～88は弥生土器。74～81は壺形土器。74・75・77は外反する口縁部。76は口縁部外面に扁平な粘土帯を貼り付ける。西南四国型か。78は口縁部端面はナデにより窪む。79は頭部から肩の張らない胴部。80はわずかに上げ底。81は平底。82～84は壺形土器。82は複合口縁壺。頭部に工具による刻み目を施す突帯文を巡らす。83は直立気味に長い頭部。84は厚みのある平底。85～88は高坏形土器。85は段を持ち外反する坏部。86は脚部に3条と8条の沈線文を巡らす。87は坏部と脚部との接合部。88はラッパ状に聞く脚部。89は須恵器の坏蓋。外面に自然釉が残る。

## 6) グリッド出土遺物（90～93）（第31図）

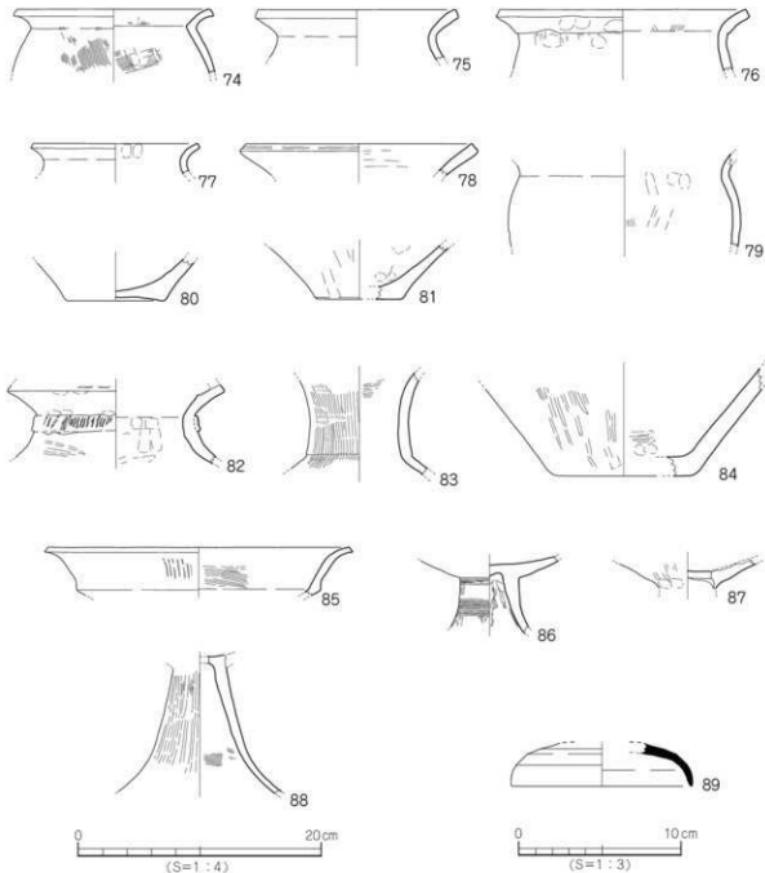
90・91は須恵器の坏蓋。90は口縁部と天井部の境の稜は断面三角形状で、口縁部は直立し端部は内傾する面を持ち窪む。D8区出土。91は丸みを持つ天井部。C8区出土。92・93は土師器。92は高坏。基部から緩やかに聞く脚部。D8区出土。93は皿。底部に回転糸切り痕と板状圧痕が残る。C8区出土。

## 7) 出土地点不明遺物（94～127）（第32・33図）

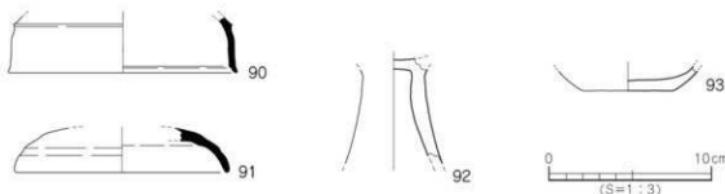
94～98は弥生土器。94は壺形土器。外反する口縁部。95は壺形土器の平底。96は高坏形土器の脚部。97は器台形土器。口縁端部を上下に拡張し凹線文2条を施す。98は支脚形土器。中空の脚部。99～101は土師器の瓶の把手部。99・100の断面は円形。101の断面は楕円形。102～112は須恵器。102は坏蓋。丸い天井部に宝珠形のつまみが付く。103は坏。丸みを持つ底部。口縁端部は丸みを持つ。104は平底の塊。105は脚部。端部は「コ」字状。106～109は高坏の脚部。106は外反する脚部。107は短い脚部が屈曲し接地する。108は脚端部が短く屈曲し接地する。109は「ハ」の字状に聞く脚部。110は壺の頭部。111は壺の底部。112は高坏形器台の坏部。口縁部外面に突帯文2条と波状文を施す。113～118は土師器。113は高台付坏。高台は「ハ」の字状に聞き端部は「コ」字状で内面で接地する。114は盤の小片。115～118は三足釜。115は脚部と胴部の接合部。116～118は脚部。断面円形状。119は瓦質土器の火鉢の底部。120は陶器の擂鉢。口縁部外面に2条の沈線文。内面に櫛目が残る。121は東播系須恵器の擂鉢。内面に櫛目が残る。122は瓦質土器の焰燒鍋。短く水平に伸びる口縁部。123は平底の陶器の鉢。124・125は中国製磁器碗。124は龍泉窯系青磁碗の体部小片。125は白磁碗皿類。低く厚みのある高台。見込みの釉は環状に搔き取られる。126は石斧。材質は緑色片岩。



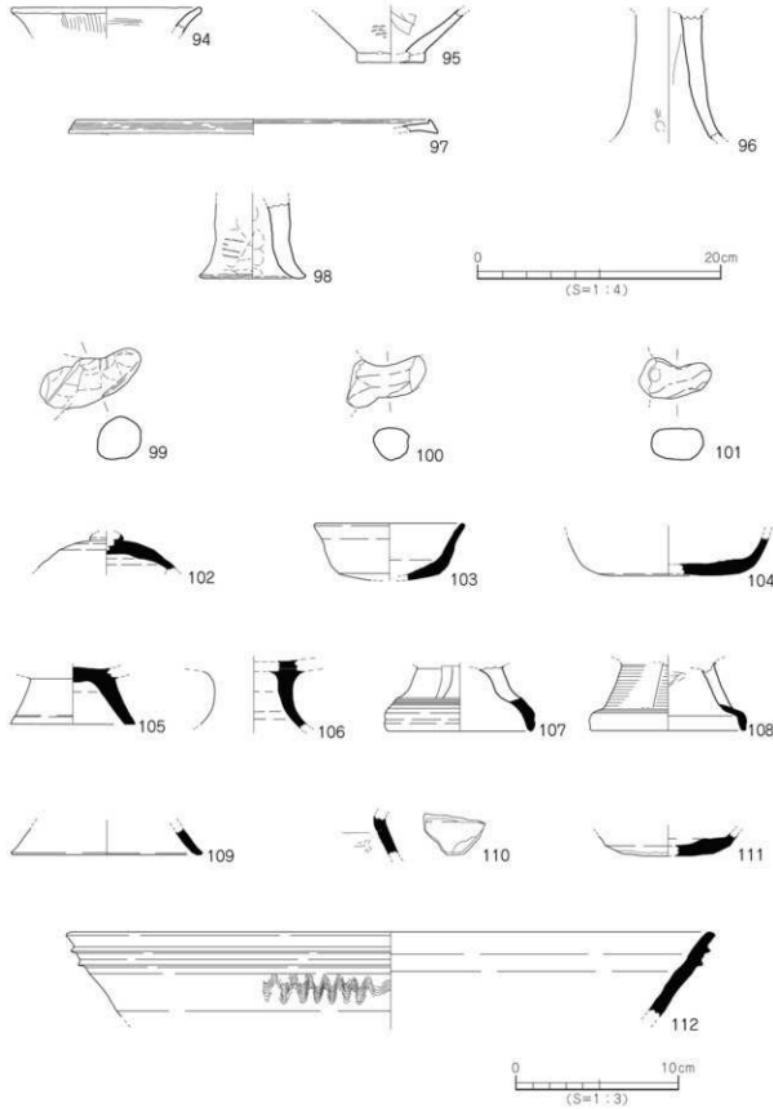
第29図 SP出土遺物実測図



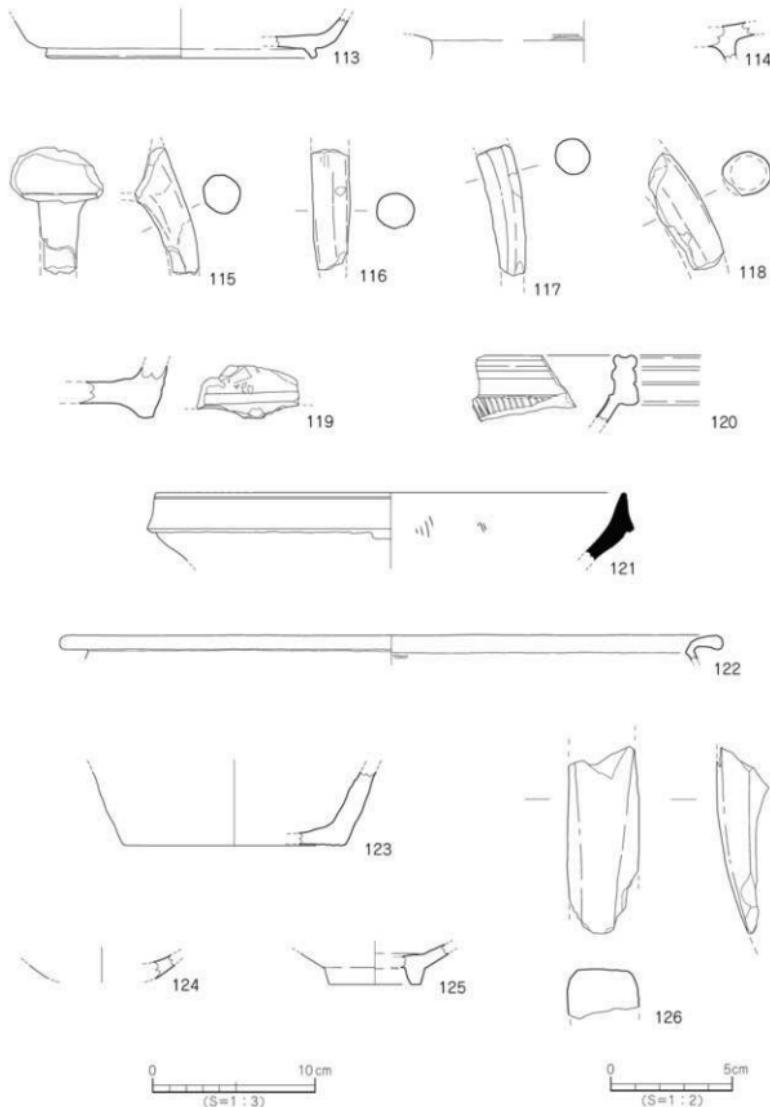
第30図 第VII層出土遺物実測図



第31図 グリッド出土遺物実測図



第32図 出土地点不明遺物実測図(1)



第33図 出土地点不明遺物実測図（2）

### 3. まとめ

今回の調査では、弥生時代から中世までの遺構と遺物を検出した。遺構は近現代まで行われた土地開発に伴い著しく改変されており、遺存状況が良好な状態でなく、まとまりを持たない不明な柱穴が数多く検出された。

**弥生時代** 弥生時代の遺物は出土したが遺構は検出されなかった。このような状況は、調査区北に位置する筋違E・J遺跡にも見られ、弥生土器は出土するが建物や土坑など、集落に関連する遺構が検出されていない。このことは、本調査地含め筋違遺跡の北西部は、弥生時代には集落域でなかったことが考えられる。

**古墳時代** 挖立柱建物を1棟検出した。西区で検出した掘立柱建物1は、5基の柱穴を確認し南北方向の柱穴3基は深さ40cmを測り、北側の2基は深さ10~15cmと浅い。これは北側2基の柱穴は支柱で、本来は西側と南側には側柱が存在すると考えられる。この掘立1と類似する建物には筋違C遺跡のSB6がある。周辺では、多くの調査が行われ筋違C~I遺跡、福音小学校構内遺跡からは、掘立柱建物や遺物が多數検出され、古墳時代後期の大きな集落の存在が明らかになっている。本調査地で検出した掘立1も、これらの集落の中の一部の建物と思われ南西域にも集落が展開することが判明した。

**中世** 土坑4基、溝10条、性格不明遺構5基を検出した。溝SD6は東西方向の溝で東側には大きな円形の土坑状の掘方がある。この土坑状の掘方は、水田や畑などに水を供給する配水施設のような性格を持つ遺構の可能性が考えられている。出土遺物には、中国製陶磁器の染付皿、青磁碗、備前焼の陶器の擂鉢などがあり、調査地の南に位置する筋違G遺跡では、掘立柱建物や井戸が検出されていることから、出土した遺物はこれらの建物との関連が考えられる。

今後は、筋違遺跡と福音小学校構内遺跡を含めた広い範囲で、弥生時代、古墳時代、中世の各時代の集落の範囲と変遷を確認していくことが必要である。

#### 【文献】

- 梅木謙一ほか 1996『福音寺地区の遺跡』「筋違C・D・E・F・G・H・I遺跡・川附遺跡」松山市文化財調査報告書52集
- 山本健一 1998『福音寺地区の遺跡II』「筋違」遺跡 松山市文化財調査報告書67集
- 河野史知 1998『福音寺地区の遺跡II』「筋違K遺跡」松山市文化財調査報告書67集
- 山之内志郎ほか 2001『福音寺地区の遺跡III』「筋違L・N遺跡」松山市文化財調査報告書84集
- 武正良浩 2003『福音小学校構内遺跡II—古墳時代以降編—』松山市文化財調査報告書91集
- 山本信夫ほか 2000『太宰府条坊跡 XV—陶磁器分類編—』太宰府市の文化財第40集

## 遺構・遺物一覧　－凡例－

(1) 以下の表は、本調査地検出の遺構と出土遺物の計測値及び観察一覧である。

(2) 遺物観察表の各掲載について

法量欄 ( ) : 推定復元値

胎土・焼成欄 胎土欄では混和剤を略記した。

例) 石→石英、長→長石、密→精製土、金→金ウンモ、赤→赤色酸化土粒。

( ) の中の数値は混和剤粒子の大きさを示す。

例) 石・長(1~4) → 「1mm ~ 4mm 大の石英・長石を含む」である。

焼成欄の略記について。

例) ○→良好、△→不良。

表2 挖立柱建物一覧

| 掘立 | 地区            | 規模(間)     | 桁行長(m) | 梁行長(m) | 方向 | 埋土            | 出土遺物 | 時期     | 備考   |
|----|---------------|-----------|--------|--------|----|---------------|------|--------|------|
| 1  | 西区<br>E1・2～F2 | (2) × (2) | (3.17) | (2.60) | 南北 | ①褐色土<br>②黒褐色土 | 須恵器  | 古墳時代後期 | 柱穴5基 |

表3 土坑一覧

| 土坑(SK) | 地区         | 平面形 | 断面形   | 規模<br>長径×短径×深さ(m)  | 埋土                   | 出土遺物       | 時期 | 備考 |
|--------|------------|-----|-------|--------------------|----------------------|------------|----|----|
| 1      | 西区<br>E3   | 椭円形 | 皿状    | 1.02 × 0.77 × 0.07 | 暗褐色土+明黃褐色土           | 土師器        | 中世 |    |
| 2      | 西区<br>E3・4 | 椭円形 | 「U」字状 | 0.66 × 0.40 × 0.22 | 暗褐色土                 | 土師器        | 中世 |    |
| 3      | 東区<br>D6   | 椭円形 | 「U」字状 | 0.80 × 0.51 × 0.26 | 江崎褐色土+明黃褐色土<br>江崎褐色土 | 土師器<br>石塗丁 | 中世 |    |
| 4      | 東区<br>D7   | 椭円形 | 皿状    | 0.71 × 0.52 × 0.14 | 褐灰色土+明黃褐色土<br>ブロック   | 土師器<br>須恵器 | 中世 |    |

表4 溝一覧

(1)

| 溝(SD) | 地区          | 方向 | 断面形  | 規模<br>長さ×幅×深さ(m)                   | 埋土                         | 出土遺物                     | 時期 | 備考                   |
|-------|-------------|----|------|------------------------------------|----------------------------|--------------------------|----|----------------------|
| 1     | 西区<br>B4～C5 | 東西 | レンズ状 | (2.58) × 1.00 ~ 1.17 × 0.24        | 褐灰色土                       | 土師器<br>須恵器               | 中世 | 一部、瓦・現代漆に<br>切られる。   |
| 2     | 西区<br>C5～D5 | 南北 | レンズ状 | (6.00) × 0.26 ~ 0.46 × 0.08        | ①褐色土<br>②褐色土+明黃褐色土         | 土師器                      | 中世 | SD3 を切る。             |
| 3     | 西区<br>D3・4  | 東西 | 不整形  | (4.35) × 0.35 ~ 0.70 × 0.05 ~ 0.15 | 褐灰色土                       | 土師器                      | 中世 | SD2 に<br>切られる。       |
| 4     | 西区<br>E4・5  | 東西 | 不整形  | (3.95) × 0.13 ~ 0.55 × 0.04 ~ 0.10 | 暗褐色土                       | 土師器<br>弦生土器              | 中世 | SD10 に<br>切られる。      |
| 5     | 西区<br>C2・3  | 東西 | レンズ状 | (3.15) × 0.36 ~ 0.68 × 0.10        | 不明                         | 土師器                      | 中世 |                      |
| 6     | 東区<br>B8～C6 | 東西 | レンズ状 | (9.44) × 1.74 ~ 2.15 × 0.41 ~ 0.62 | 褐灰色土を基調と<br>して7層に細分さ<br>れる | 弦生土器<br>須恵器<br>土師器<br>組合 | 中世 | SD3 と瓦・現代漆に<br>切られる。 |

(2)

| 満一覧   |               |    |       |                             |           |             |     |                 |
|-------|---------------|----|-------|-----------------------------|-----------|-------------|-----|-----------------|
| 満(SD) | 地区            | 方向 | 断面形   | 規 模<br>長さ×幅×深さ(m)           | 埋 土       | 出土遺物        | 時 期 | 備 考             |
| 7     | 東区<br>C7 ~ E6 | 東西 | 逆台形状  | (8.00) × 0.77 ~ 1.60 × 0.16 | 褐灰色土      | 土師器         | 中世  | 近・現代溝に<br>切られる。 |
| 8     | 東区<br>C8 ~ E6 | 東西 | レンズ状  | (9.52) × 1.08 × 0.23        | 暗褐色土+褐灰色土 | 弥生土器<br>土師器 | 中世  | 近・現代溝に<br>切られる。 |
| 9     | 東区<br>D8 ~ E7 | 東西 | レンズ状  | (4.37) × 0.63 × 0.09        | 褐灰色土      | 土師器         | 中世  | 近・現代溝に<br>切られる。 |
| 10    | 西区<br>E4 ~ 5  | 東西 | 「U」字状 | (3.15) × 0.30 × 0.17        | 黒褐色土      | 弥生土器<br>土師器 | 中世  | SD4を切る。         |

表5 性格不明遺構一覧

| 性格不明<br>遺構<br>(SX) | 地 区           | 平面形 | 断面形  | 規 模<br>長径×短径×深さ(m)        | 埋 土                | 出土遺物             | 時 期 | 備 考                        |
|--------------------|---------------|-----|------|---------------------------|--------------------|------------------|-----|----------------------------|
| 1                  | 西区<br>D3~4    | 不整形 | 不整形  | 3.84 × 0.25 ~ 0.71 × 0.14 | ①褐色土+黄褐色土<br>ほか1層  | 土師器              | 中世  | SP95・200・203・<br>288に切られる。 |
| 2                  | 西区<br>D3 ~ E2 | 不整形 | 舟底状  | 3.05 × 0.93 ~ 1.22 × 0.41 | ①黒褐色土<br>ほか3層      | 土師器<br>須恵器       | 中世  | SP71・171に<br>切られる。         |
| 3                  | 東区<br>C7      | 椭円形 | 逆台形状 | 1.58 × 1.34 × 0.53        | 灰褐色土               | 土師器<br>須恵器<br>陶瓦 | 中世  | SD6を切る。                    |
| 4                  | 東区<br>D6      | 不整形 | 舟底状  | 0.81 × 0.63 × 0.38        | ②褐色土<br>2階褐色土+黄褐色土 | 土師器              | 中世  |                            |
| 5                  | 東区<br>D8      | 不整形 | レンズ状 | (0.68) × (0.33) × 0.14    | 不明                 | 土師器              | 中世  | トレンチに<br>切られる。             |

表6 握立1出土遺物観察表(土製品)

| 番号 | 器種 | 法量(cm)             | 形態・施文                                       | 調 整         |                | 色 質(外面)<br>(内面) | 胎 土<br>焼 成        | 備 考  | 図版 |
|----|----|--------------------|---|-------------|----------------|-----------------|-------------------|------|----|
|    |    |                    |   | 外 面         | 内 面            |                 |                   |      |    |
| 1  | 环身 | 口径 (11.6)<br>残高 32 | 受け部はく水平に伸び端部は丸い。たちあがりは直立気味で端部は内傾する面を持ち込む。   | 回転ナデ        | 回転ナデ           | 灰色<br>灰色        | 密、石・長(1~2)<br>○   | SP16 |    |
| 2  | 环  | 底径 (9.4)<br>残高 15  | 平底の底部。                                      | 回転ヘラケゼリ     | 回転ナデ           | 灰黄色<br>灰黄色      | 密、石・長(1~2)<br>○   | SP13 |    |
| 3  | 壺  | 口径 (18.0)<br>残高 45 | 口縁部は外上方に開き、端部は下方に膨張され、口縁部中位には段を持ち、波状紋が施される。 | 回転ナデ        | 回転ナデ           | 青灰色             | 密、石・長<br>○        | SP16 | 6  |
| 4  | 壺  | 残高 7.4             | 肩の張る胴部。                                     | タタキ<br>回転ナデ | 同心円タタキ<br>回転ナデ | 灰色<br>灰色        | 密、石・長(1~2)、金<br>○ | SP16 |    |

表7 SK2出土遺物観察表(土製品)

| 番号 | 器種 | 法量(cm)             | 形態・施文               | 調 整 |     | 色 質(外面)<br>(内面)  | 胎 土<br>焼 成      | 備 考 | 図版 |
|----|----|--------------------|---------------------|-----|-----|------------------|-----------------|-----|----|
|    |    |                    |                     | 外 面 | 内 面 |                  |                 |     |    |
| 5  | 壺  | 口径 (18.2)<br>残高 32 | 外傾する口縁部、端部は水平な面を持つ。 | ナデ  | ナデ  | にぶい赤褐色<br>にぶい赤褐色 | 石・長(1~2)、金<br>○ |     |    |

表8 SK3出土遺物観察表(石製品)

| 番号 | 器種  | 残 存  | 材 質  | 法 量    |       |        |       | 備 考   | 図版 |
|----|-----|------|------|--------|-------|--------|-------|-------|----|
|    |     |      |      | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重さ(g) |       |    |
| 6  | 石庖丁 | 約1/3 | 緑色片岩 | (4.7)  | (4.3) | 0.45   | 18.5  | 穿孔2か所 |    |

表 9 SK4 出土遺物観察表（土製品）

| 番号 | 器種 | 法量 (cm) | 形態・施文         | 調整   |      | 色調<br>(外面)<br>(内面) | 胎 土<br>焼 成 | 備考 | 図版 |
|----|----|---------|---------------|------|------|--------------------|------------|----|----|
|    |    |         |               | 外面   | 内面   |                    |            |    |    |
| 7  | 环身 | 残高 2.4  | 内傾するたちあがりをもつ。 | 回転ナデ | 回転ナデ | 灰白色<br>灰赤色         | 密△         |    |    |

表 10 SD1 出土遺物観察表（土製品）

| 番号 | 器種  | 法量 (cm)             | 形態・施文                         | 調整                |      | 色調<br>(外面)<br>(内面) | 胎 土<br>焼 成    | 備考 | 図版 |
|----|-----|---------------------|-------------------------------|-------------------|------|--------------------|---------------|----|----|
|    |     |                     |                               | 外面                | 内面   |                    |               |    |    |
| 8  | 壺   | 底径 (6.2)<br>残高 1.3  | 丸みを持つ小さな底部。                   | 回転ナデ              | 回転ナデ | 灰白色<br>明オリーブ灰色     | 密○            |    |    |
| 9  | 壺   | 残高 4.0              | 外傾する口縁端部は、内傾する面を持つ。           | マメツ               | マメツ  | にぶい赤褐色<br>にぶい赤褐色   | 長・石(1~5)<br>○ |    |    |
| 10 | 皿   | 口径 (10.9)<br>残高 2.4 | 縁付着。                          | ヨコナデ              | ヨコナデ | 灰白色<br>灰白色         | 密○            |    |    |
| 11 | 三足釜 | 口径 (26.0)<br>残高 2.7 | 口縁端部に断面三角形状の突管を貼り付ける。小片。      | ナデ                | マメツ  | にぶい橙色<br>にぶい橙色     | 石・長(1~2)<br>○ |    |    |
| 12 | 三足釜 | 底部 (25.6)<br>残高 8.4 | 底部は平底である。                     | ナデ                | ナデハケ | にぶい橙色<br>にぶい橙色     | 石・長(1~3)、金○   |    |    |
| 13 | 三足釜 | 残高 6.5              | 脚部。断面は円形状で径 28cm を測る。<br>縁付着。 | ナデ                |      | にぶい赤褐色<br>暗赤褐色     | 石・長(1~2)<br>○ |    |    |
| 14 | 三足釜 | 残高 9.0              | 脚部。断面は円形状で径 21cm を測る。         | ナデ                |      | にぶい褐色              | 石・長(1~2)<br>○ |    |    |
| 15 | 三足釜 | 残高 7.1              | 脚部。断面は円形状で径 20cm を測る。         | ナデ                |      | 灰褐色                | 石・長(1~2)<br>○ |    |    |
| 16 | 擂鉢  | 残高 6.8              | 備前焼。片口部、内面に 4 条の御目。           | 回転ナデ→<br>ハラケナリ→ナデ | 回転ナデ | 灰色<br>灰色           | 石粒少<br>○      |    |    |
| 17 | 擂鉢  | 口径 (28.0)<br>残高 4.0 | 口縁端部が内消する。                    | 回転ナデ              | 回転ナデ | 褐灰色<br>灰黄褐色        | 密、長(1)<br>○   |    |    |

表 11 SD4 出土遺物観察表（土製品）

| 番号 | 器種  | 法量 (cm)             | 形態・施文                  | 調整 |    | 色調<br>(外面)<br>(内面) | 胎 土<br>焼 成      | 備考 | 図版 |
|----|-----|---------------------|------------------------|----|----|--------------------|-----------------|----|----|
|    |     |                     |                        | 外面 | 内面 |                    |                 |    |    |
| 18 | 壺   | 口径 (10.6)<br>残高 3.6 | 外反する口縁部。               | ナデ | ナデ | 浅黄褐色<br>にぶい橙色      | 密、石・長(1~3)<br>○ |    |    |
| 19 | 三足釜 | 残高 5.3              | 脚端部。断面は円形状で径 12cm を測る。 | ナデ |    | にぶい黄褐色             | 石・長(1~3)<br>○   |    |    |

表 12 SD6 出土遺物観察表（土製品）

| 番号 | 器種 | 法量 (cm)             | 形態・施文      | 調整          |           | 色調<br>(外面)<br>(内面) | 胎 土<br>焼 成    | 備考 | 図版 |
|----|----|---------------------|------------|-------------|-----------|--------------------|---------------|----|----|
|    |    |                     |            | 外面          | 内面        |                    |               |    |    |
| 20 | 甕  | 底径 (7.8)<br>残高 3.2  | 平底の底部。     | ナデ          | ナデ        | 橙色<br>橙色           | 長・石(1~3)<br>○ |    |    |
| 21 | 壺  | 口径 (26.4)<br>残高 1.9 | 口縁端部は垂下する。 | ナデ          | ナデ        | 橙色<br>橙色           | 石・長(1~3)<br>○ |    |    |
| 22 | 支脚 | 残高 6.2              | 中空。        | ハケ(3~4本/cm) | ナデ<br>指頭痕 | にぶい橙色<br>にぶい橙色     | 石・長(1~3)<br>○ |    |    |

## 出土遺物観察表

SD6 出土遺物観察表（土製品）

(2)

| 番号 | 器種        | 法量(cm)              | 形態・施文                            | 調整              |           | 色調(外面)<br>(内面)        | 胎土<br>焼成        | 備考 | 図版 |
|----|-----------|---------------------|----------------------------------|-----------------|-----------|-----------------------|-----------------|----|----|
|    |           |                     |                                  | 外面              | 内面        |                       |                 |    |    |
| 23 | 支脚        | 残高 7.6              | 中空。                              | ナデ<br>指頭痕       | ナデ<br>指頭痕 | 浅黄褐色<br>灰色            | 石・長(1~3)、多<br>○ |    |    |
| 24 | 坏身        | 口径 (14.4)<br>残高 2.3 | 口縁端部は屈曲し接地する。                    | 回転ナデ            | 回転ナデ      | 灰色<br>灰色              | 石・長(1~2)<br>○   |    |    |
| 25 | 坏身        | 口径 (13.6)<br>残高 3.0 | 受け部は近く水平に伸び、たちあがりは内側し端部は尖り気味に丸い。 | 回転ナデ<br>回転ヘラケズリ | 回転ナデ      | 灰色<br>灰色              | 長(1~2)、金<br>○   |    |    |
| 26 | 坏身        | 口径 (12.6)<br>残高 2.7 | 受け部は近く外上方に伸び、たちあがりは内傾する。         | 回転ナデ            | 回転ナデ      | 灰色<br>灰色              | 長(1~2)<br>○     |    |    |
| 27 | 高台付き<br>坏 | 底径 (12.4)<br>残高 1.8 | 高台は「ハ」の字状に開く。自然輪がかかる。            | 回転ナデ            | ナデ        | 灰白色<br>灰色             | 審<br>○          |    |    |
| 28 | 壺         | 残高 5.0              | 口縁端部は「コ」字状である。                   | タタキ<br>回転ナデ     | 回転ナデ      | 灰白色<br>灰色             | 石・長(1~2)<br>○   |    |    |
| 29 | 高坏        | 残高 2.3              | 柱部と坏部の接合は粘土充填である。                | マメツ             | マメツ       | 褐色<br>橙色              | 石・長(1)<br>○     |    |    |
| 30 | 高坏        | 残高 5.4              | 柱部。                              | ハケ<br>指頭痕       | しばり痕      | 褐色<br>橙色              | 石・長(1~3)<br>○   |    |    |
| 31 | 高坏        | 残高 6.1              | 柱部。                              | ヨコナデ<br>ナデ      | ヨコナデ      | 褐色<br>橙色              | 石・長(1~2)<br>○   |    |    |
| 32 | 瓶         | 残高 5.1              | 把手部。断面は円形状である。                   | ナデ              |           | 褐色                    | 石・長(1~3)<br>○   |    |    |
| 33 | 皿         | 口径 (9.4)<br>器高 3.2  | 底部に回転糸切り痕・板状圧痕が残る。               | ヨコナデ            | ヨコナデ      | 褐色<br>橙色              | 石・長(1~2)、赤<br>○ | 6  |    |
| 34 | 三足釜       | 底径 (18.8)<br>残高 7.5 | 脚部。                              | ナデ              | ナデ        | にぶい褐色                 | 石・長(1~2)<br>○   |    |    |
| 35 | 三足釜       | 残高 15.1             | 脚部。断面は円形状である。                    | ナデ              |           | 灰黃褐色                  | 石・長(1~2)<br>○   |    |    |
| 36 | 瓶         | 底径 (13.0)<br>残高 8.7 | 平底。                              | ナデ              | ナデ        | にぶい褐色<br>灰色           | 長(1~7)<br>○     | 6  |    |
| 37 | 瓶         | 底径 (10.0)<br>残高 6.5 | 平底。                              | 回転ナデ            | 回転ナデ      | 灰褐色<br>灰褐色            | 石(1~3)<br>○     |    |    |
| 38 | 壺鉢        | 口径 (25.6)<br>残高 4.2 | 片口の口縁部。内面に4条の擗目。                 | 回転ナデ            | 回転ナデ      | 灰色<br>明赤褐色            | 密<br>○          | 6  |    |
| 39 | 壺鉢        | 底径 (13.8)<br>残高 4.1 | 平底の底部内面に擗目。                      | ナデ              | マメツ       | 黄灰色<br>黄灰色            | 石・長(1~2)<br>○   | 6  |    |
| 40 | 瓶         | 底径 (6.5)<br>残高 1.7  | 龍泉窯系青磁碗。見込みに花のスタンプ文。             | 施釉の為、不明         | 施釉の為、不明   | 新灰白色<br>オリーブ灰色        | 審<br>○          | 6  |    |
| 41 | 皿         | 口径 (14.2)<br>残高 2.7 | 明代染付皿。15世紀後半～16世紀前半。             | 施釉の為、不明         | 施釉の為、不明   | 新灰白色<br>新暗青灰色<br>新灰白色 | 審<br>○          |    |    |

表 13 SD7 出土遺物観察表 (土製品)

| 番号 | 器種  | 法量 (cm) | 形態・施文          | 調整 |    | 色調 (外面)<br>(内面) | 胎土<br>焼成        | 備考 | 図版 |
|----|-----|---------|----------------|----|----|-----------------|-----------------|----|----|
|    |     |         |                | 外面 | 内面 |                 |                 |    |    |
| 42 | 皿   | 残高 3.2  | 口縁端面は内傾する面を持つ。 | ナデ | ナデ | 橙色<br>橙色        | ○               |    |    |
| 43 | 三足釜 | 残高 5.9  | 脚部。            | ナデ |    | 明褐色             | 密・石・長(1~2)<br>○ |    |    |
| 44 | 三足釜 | 残高 4.3  | 脚部。            | ナデ |    | にぶい・橙色          | 石・長(1~3)<br>○   |    |    |

表 14 SD8 出土遺物観察表 (土製品)

| 番号 | 器種 | 法量 (cm)            | 形態・施文          | 調整        |     | 色調 (外面)<br>(内面)  | 胎土<br>焼成          | 備考 | 図版 |
|----|----|--------------------|----------------|-----------|-----|------------------|-------------------|----|----|
|    |    |                    |                | 外面        | 内面  |                  |                   |    |    |
| 45 | 甕  | 底径 (29)<br>残高 26   | 平底の小さな底部。      | ナデ        | ナデ  | にぶい・橙色<br>浅褐色    | 密・石・長(1~3)、金<br>○ |    |    |
| 46 | 壺  | 底径 (7.0)<br>器高 3.0 | 平底。            | ナデ        | ナデ  | 暗灰色<br>暗灰色       | 密・石・長(1~3)、金<br>○ | 黒斑 |    |
| 47 | 不明 | 残高 1.4             | 中央部に径1.2cmの円孔。 | ナデ        | ナデ  | 橙色<br>橙色         | 石・長(1~2)<br>○     | 黒斑 |    |
| 48 | 高环 | 底径 10.1<br>残高 8.4  | 脚部は短く水平に伸びる。   | ナデ<br>ケズリ | マツツ | にぶい・橙色<br>にぶい・橙色 | 密・石・長(1~3)、金<br>○ |    |    |

表 15 SX2 出土遺物観察表 (土製品)

| 番号 | 器種 | 法量 (cm)             | 形態・施文          | 調整                  |      | 色調 (外面)<br>(内面) | 胎土<br>焼成 | 備考 | 図版 |
|----|----|---------------------|----------------|---------------------|------|-----------------|----------|----|----|
|    |    |                     |                | 外面                  | 内面   |                 |          |    |    |
| 49 | 高环 | 基部径 (4.4)<br>残高 3.5 | 基部から環部にかけての残存。 | 回転ナデ<br>カキ目 (6本/cm) | 回転ナデ | 灰色<br>灰色        | 密<br>○   |    |    |

表 16 SX3 出土遺物観察表 (土製品)

| 番号 | 器種  | 法量 (cm)             | 形態・施文                        | 調整              |                | 色調 (外面)<br>(内面) | 胎土<br>焼成        | 備考 | 図版 |
|----|-----|---------------------|------------------------------|-----------------|----------------|-----------------|-----------------|----|----|
|    |     |                     |                              | 外面              | 内面             |                 |                 |    |    |
| 50 | 环蓋  | 残高 3.0              | 扁平な井戸部と口縁部の境の棱は断面三角形状である。    | 回転ナデ<br>回転ヘラケズリ | 回転ナデ           | 灰色<br>灰色        | 密・石・長(1)<br>○   |    |    |
| 51 | 壺   | 底径 (10.9)<br>残高 5.2 | 短く「ハ」の字状に開く高台。               | タタキ→回転ナデ<br>工具痕 | 回転ナデ<br>工具痕    | 灰赤色<br>灰色       | 密・石・長(1~2)<br>○ |    |    |
| 52 | 甕   | 頭部 (30.4)<br>残高 9.7 | 直立気味の頭部外表面に8条以上の波状文を施す。      | 回転ナデ<br>タタキ     | 回転ナデ<br>同心円タタキ | 灰白色<br>暗灰色      | 石・長(1~2)<br>○   |    |    |
| 53 | 擂鉢  | 口径 (28.6)<br>残高 6.7 | 口縁部は直立し端部はナデにより内傾する面を持つ。擂前焼。 | 回転ナデ            | 回転ナデ           | 赤褐色<br>灰褐色      | 石・長(1~2)<br>○   |    |    |
| 54 | 甕   | 底径 (21.6)<br>残高 4.8 | 厚みのある平底。                     | 回転ナデ            | ナデ             | 褐色<br>暗褐色       | 石・長(1~6)<br>○   |    |    |
| 55 | 三足釜 | 残高 9.3              | 脚部。                          | ナデ              |                | にぶい・黄褐色         | 石・長(1~3)<br>○   |    |    |
| 56 | 三足釜 | 残高 8.8              | 脚部。                          | ナデ              |                | にぶい・黄橙色         | 密・石・長(1~2)<br>○ |    |    |

## 出土遺物観察表

表 17 SX4 出土遺物観察表（土製品）

| 番号 | 器種  | 法量 (cm) | 形態・施文 | 調整 |    | 色調 (外面)<br>内面 | 胎土<br>焼成        | 備考 | 図版 |
|----|-----|---------|-------|----|----|---------------|-----------------|----|----|
|    |     |         |       | 外面 | 内面 |               |                 |    |    |
| 57 | 三足釜 | 残高 46   | 脚部。   | ナデ |    | にぶい赤褐色        | 石・長(1~2)、金<br>○ |    |    |

表 18 SP 出土遺物観察表（土製品）

| 番号 | 器種  | 法量 (cm)           | 形態・施文                    | 調整               |            | 色調 (外面)<br>内面  | 胎土<br>焼成        | 備考           | 図版 |
|----|-----|-------------------|--------------------------|------------------|------------|----------------|-----------------|--------------|----|
|    |     |                   |                          | 外面               | 内面         |                |                 |              |    |
| 58 | 器台  | 残高 33             | 円孔が2か所残る。                | ハケ5~6本(cm)<br>ナデ | ナデ         | にぶい橙色<br>にぶい橙色 | 石・長(1~2)、金<br>○ | SP9          |    |
| 59 | 不明  | 残高 29             | 円孔あり。                    | ナデ               | ナデ         | 橙色<br>にぶい橙色    | 石・長(1~2)、金<br>○ | SP141        |    |
| 60 | 壺   | 口径 (220)<br>残高 50 | 口縁部は屈曲して開く。口縁端面は水平な面を持つ。 | ナデ               | ナデ         | 橙色<br>橙色       | 石・長(1~2)<br>○   | SP109        |    |
| 61 | 高壺  | 口径 (180)<br>残高 46 | 段を持ち外上方に開く口縁部。           | マメツ              | マメツ        | 明赤褐色<br>明赤褐色   | 石・長(1~3)<br>○   | SP303        |    |
| 62 | 皿   | 底径 (58)<br>器高 13  | 回転糸切り痕。                  | ヨコナデ<br>ナデ       | ヨコナデ<br>ナデ | 浅黄橙色<br>浅黄橙色   | 石・長(1~2)<br>○   | SP142        |    |
| 63 | 环   | 口径 (116)<br>残高 27 | 外側にナデによる棱が残る。            | ヨコナデ             | ヨコナデ<br>ナデ | 灰白色<br>灰白色     | 石・長(1~2)<br>○   | SP156        |    |
| 64 | 三足釜 | 口径 (300)<br>残高 67 | 口縁端部外面に断面三角形状の突帯を貼り付ける。  | ナデ               | ナデ         | にぶい褐色<br>にぶい褐色 | 石・長(1~3)、金<br>○ | SP21<br>蝶付青  |    |
| 65 | 三足釜 | 残高 36             | 口縁端部外面に断面三角形状の突帯を貼り付ける。  | ナデ               | ナデ         | 暗灰色<br>にぶい褐色   | 石・長(1~2)<br>○   | SP223<br>蝶付青 |    |
| 66 | 三足釜 | 残高 25             | 口縁端部外面に断面三角形状の突帯を貼り付ける。  | ナデ               | ナデ         | にぶい橙色<br>にぶい橙色 | 石・長(1)、金<br>○   | SP21         |    |
| 67 | 三星釜 | 残高 9.4            | 脚部。                      | ナデ               |            | 赤褐色            | 石・長(1~5)<br>○   | SP112        |    |
| 68 | 三星釜 | 残高 5.3            | 脚部。脚部内面が一部残る。            | ナデ               | ナデ         | 橙色<br>橙色       | 石・長(1)<br>○     | SP282        |    |
| 69 | 三星釜 | 残高 7.4            | 脚部。                      | ナデ               |            | にぶい褐色          | 石・長(1~2)、金<br>○ | SP111<br>黒斑  |    |
| 70 | 三星釜 | 残高 5.8            | 脚部。                      | マメツ              |            | にぶい褐色          | 石・長(1~2)<br>○   | SP278        |    |
| 71 | 三星釜 | 残高 5.5            | 脚部。                      | ナデ               |            | 浅黄色            | 石・長(1~3)<br>○   | SP92         |    |
| 72 | 壺   | 残高 2.6            | 頭部片。                     | 回転ナデ             | 回転ナデ       | 灰色<br>灰色       | 密<br>○          | SP282        |    |
| 73 | 墨鉢  | 残高 5.6            | 備前焼。内面に鷹目。               | 回転ナデ             | 回転ナデ       | 灰赤色<br>灰赤色     | 密<br>○          | SP282        |    |

表 19 第VI層出土遺物観察表（土製品）

| 番号 | 器種 | 法量 (cm)             | 形態・施文                          | 調整                |                   | 色調 (外面)<br>(内面) | 胎土<br>焼成         | 備考 | 図版 |
|----|----|---------------------|--------------------------------|-------------------|-------------------|-----------------|------------------|----|----|
|    |    |                     |                                | 外面                | 内面                |                 |                  |    |    |
| 74 | 甕  | 口径 (15.7)<br>残高 5.4 | 口縁部は外反する。                      | ハケ(8本/cm)<br>ナデ   | ハケ(8本/cm)<br>ナデ   | 褐色<br>褐色        | 石・長(1~2)<br>○    |    |    |
| 75 | 甕  | 口径 (16.2)<br>残高 4.1 | 口縁部は外反する。                      | ナデ                | ナデ                | 褐色<br>明赤褐色      | 石・長(1~3)<br>○    |    |    |
| 76 | 甕  | 口径 (20.0)<br>残高 5.1 | 口縁部外側に緩平な粘土帯を貼り付ける。西南四国(土佐)の甕。 | ハケ(5~6本/cm)<br>ナデ | ハケ(5~6本/cm)<br>ナデ | 褐色<br>褐色        | 石・長(1~2), 金<br>○ |    |    |
| 77 | 甕  | 口径 (13.4)<br>残高 2.5 | 口縁部は外反する。                      | ナデ                | ナデ                | 灰褐色<br>にぶい黄褐色   | 石・長(1~2)<br>○    |    |    |
| 78 | 甕  | 口径 (18.6)<br>残高 3.6 | 外反する口縁端部はナデにより窪む。              | マメツ               | マメツ               | 褐色<br>褐色        | 石・長(1~3)<br>○    |    |    |
| 79 | 甕  | 残高 7.6              | 頸部から肩の張らない頭部。                  | マメツ               | ハケ                | 黄灰色<br>黄灰色      | 石・長(1~3)<br>○    |    |    |
| 80 | 甕  | 底径 (11.1)<br>残高 3.1 | わずかに上げ底。                       | ナデ                | マメツ               | 褐色<br>灰色        | 石・長(1~3)<br>○    |    |    |
| 81 | 甕  | 底径 (7.0)<br>残高 4.4  | 平底。                            | 板状工具による<br>ナデ     | ナデ                | にぶい赤褐色<br>黒灰色   | 石・長(1~3), 金<br>○ |    |    |
| 82 | 甕  | 残高 6.5              | 複合口縁型。頸部に工具による刻み目を施す突変を巡らす。    | ナデ<br>ミガキ         | ナデ                | 赤色<br>赤色        | 石・長(1~3)<br>○    |    |    |
| 83 | 甕  | 残高 8.4              | 直立気味の長い頭部。                     | ハケ(4~5本/cm)       | ハケ(6~7本/cm)<br>ナデ | にぶい褐色<br>にぶい赤褐色 | 石・長(1~4)<br>○    |    |    |
| 84 | 甕  | 底径 (13.6)<br>残高 7.4 | 厚みのある平底。                       | ミガキ               | ミガキ               | にぶい褐色<br>褐色     | 石・長(1~2)<br>○    |    |    |
| 85 | 高坏 | 口径 (24.6)<br>残高 3.9 | 段を持ち外反する口縁部。                   | ハケ(3~4本/cm)<br>ナデ | ハケ(5~6本/cm)<br>ナデ | にぶい褐色<br>にぶい褐色  | 石・長(1~2)<br>○    |    |    |
| 86 | 高坏 | 残高 6.4              | 脚部に3条と8条の沈線が巡る。                | ミガキ               | マメツ               | 褐色<br>明赤褐色      | 石・長(1~3), 金<br>○ |    |    |
| 87 | 高坏 | 残高 1.6              | 基部。                            | ナデ<br>ミガキ         | マメツ               | 褐色              | 石・長(1~3)<br>○    |    |    |
| 88 | 高坏 | 残高 11.4             | ラッパ状に聞く脚部。                     | ハケ(8本/cm)<br>ミガキ  | ナデ                | にぶい褐色<br>にぶい黄褐色 | 石・長(1~2)<br>○    |    |    |
| 89 | 坏蓋 | 口径 (11.0)<br>残高 2.7 | 直立気味に接地する口縁部。外面に自然釉が残る。        | 回転ヘラケズリ<br>回転ナデ   | 回転ナデ              | 褐色<br>灰白色       | 密、石・長(1)<br>○    |    |    |

表 20 グリッド出土遺物観察表（土製品）

(1)

| 番号 | 器種 | 法量 (cm)             | 形態・施文  | 調整   |      | 色調 (外面)<br>(内面) | 胎土<br>焼成   | 備考   | 図版 |
|----|----|---------------------|--|------|------|-----------------|------------|------|----|
|    |    |                     |  | 外面   | 内面   |                 |            |      |    |
| 90 | 坏蓋 | 口径 (14.0)<br>残高 3.5 | 天井部と口縁部の境の様は断面三角形状。口縁部は直立して接地し端部は内傾する面を持ち併む。 | 回転ナデ | 回転ナデ | 灰色<br>灰色        | 密<br>○     | D8 区 |    |
| 91 | 坏蓋 | 口径 (13.0)<br>残高 2.7 | 丸みを持つ天井部。口縁端部は丸い。                            | 回転ナデ | 回転ナデ | 灰色<br>灰色        | 密、白色粒<br>○ | C8区  |    |

## 出土遺物観察表

グリッド出土遺物観察表（土製品）

(2)

| 番号 | 器種 | 法量(cm)         | 形態・施文        | 調整  |     | 色調(外面)<br>内面   | 胎土<br>焼成   | 備考   | 図版 |
|----|----|----------------|--------------|-----|-----|----------------|------------|------|----|
|    |    |                |              | 外面  | 内面  |                |            |      |    |
| 92 | 高坏 | 残高 64          | 基部から柱部の残存。   | マメツ | マメツ | にぶい橙色<br>にぶい橙色 | 褐色粒、少<br>○ | D8 区 |    |
| 93 | 皿  | 底径 55<br>残高 15 | 回転糸切り痕。板状压痕。 | マメツ | マメツ | 浅黄橙色<br>浅黄橙色   | 密<br>○     | C8 区 |    |

表 21 出土地点不明遺物観察表（土製品）

(1)

| 番号  | 器種 | 法量(cm)            | 形態・施文                             | 調整                 |           | 色調(外面)<br>内面   | 胎土<br>焼成        | 備考 | 図版 |
|-----|----|-------------------|-----------------------------------|--------------------|-----------|----------------|-----------------|----|----|
|     |    |                   |                                   | 外面                 | 内面        |                |                 |    |    |
| 94  | 甕  | 口径 (154)<br>残高 21 | 外反する口縁部。                          | ハケ→ナデ              | ハケ→ナデ     | にぶい橙色<br>にぶい橙色 | 石・長(1~3)<br>○   |    |    |
| 95  | 壺  | 底径 (54)<br>残高 43  | 平底。                               | タタキ→ナデ             | ナデ<br>ミガキ | にぶい橙色<br>灰色    | 石・長(1~3)、金<br>○ |    |    |
| 96  | 高坏 | 残高 102            | 柱部。                               | ナデ                 | ナデ        | にぶい橙色<br>橙色    | 石・長(1~2)、金<br>○ |    |    |
| 97  | 器台 | 口径 (288)<br>残高 11 | 口縁端部は上下に拡張され凹線文2<br>条が施される。       | ナデ                 | マメツ       | にぶい橙色<br>にぶい橙色 | 石・長(1)<br>○     | 表様 |    |
| 98  | 支脚 | 底径 (86)<br>残高 62  | 中空。                               | 平行タタキ              | 指頭痕       | 灰黄褐色<br>にぶい黄褐色 | 石・長(1~2)<br>○   |    |    |
| 99  | 瓶  | 残高 37             | 断面円形状の把手。                         | マメツ                |           | 橙色             | 石・長(1)<br>○     |    |    |
| 100 | 瓶  | 残高 40             | 断面円形状の把手。                         | ナデ                 |           | 浅黄橙色           | 石・長(1~3)<br>○   |    |    |
| 101 | 瓶  | 残高 26             | 断面格円形状の把手。                        | ナデ                 |           | 浅黄橙色           | 石・長(1~3)<br>○   |    |    |
| 102 | 壺蓋 | 残高 21             | 丸い大井部に宝珠形のつまみが付<br>く。             | 回転ナデ<br>回転ヘラケズリ    | 回転ナデ      | 灰色<br>灰色       | 密、白色粒<br>○      |    |    |
| 103 | 壺  | 口径 (90)<br>残高 35  | 丸みを持つ底部。へら切り痕。口縁端<br>部は丸い。        | 回転ナデ               | 回転ナデ      | 灰色<br>灰色       | 密、白色粒<br>○      |    |    |
| 104 | 塊  | 底径 (86)<br>残高 23  | 平底。                               | ナデ                 | 回転ナデ      | 灰色<br>赤灰色      | 密、白色粒<br>○      |    |    |
| 105 | 脚  | 底径 (76)<br>残高 35  | 脚部。                               | 回転ナデ               | 回転ナデ      | 青灰色<br>青灰色     | 密、石・長(1~3)<br>○ |    |    |
| 106 | 高坏 | 残高 45             | 脚部。                               | 回転ナデ               | 回転ナデ      | 灰白色<br>灰白色     | 密、石・長(1~2)<br>○ |    |    |
| 107 | 高坏 | 底径 (88)<br>残高 39  | 短い脚部は屈曲して接地する。長方<br>形の透かしを3方向に施す。 | 回転ナデ<br>カキ目7~8本/cm | 回転ナデ      | 灰色<br>灰色       | 密<br>○          |    |    |
| 108 | 高坏 | 底径 (96)<br>残高 42  | 脚端部は短く屈曲して接地する。                   | カキ目6本/cm<br>回転ナデ   | 回転ナデ      | 灰色<br>灰色       | 密、石・長(1~3)<br>○ |    |    |
| 109 | 高坏 | 底径 (116)<br>残高 17 | 「ハ」の字状に開いて接地する脚部。                 | 回転ナデ               | 回転ナデ      | 灰白色<br>灰白色     | 密、石・長(粒)<br>○   |    |    |

| 番号  | 器種       | 法量 (cm)             | 形態・施文                             | 調整              |         | 色調 (外面)<br>(内面) | 胎土<br>焼成         | 備考 | 図版 |
|-----|----------|---------------------|-----------------------------------|-----------------|---------|-----------------|------------------|----|----|
|     |          |                     |                                   | 外面              | 内面      |                 |                  |    |    |
| 110 | 壺        | 残高 2.5              | 壺部片。                              | 自然釉の為、不明        | タタキ     | 暗緑灰褐色<br>灰色     | 密<br>○           |    |    |
| 111 | 壺        | 底径 (5.6)<br>残高 1.4  | 小さな丸い底部。                          | 回転ナデ<br>回転ヘラケズリ | 回転ナデ    | 灰色<br>灰色        | 石・長(1~2)<br>○    |    |    |
| 112 | 器台       | 口径 (39.0)<br>残高 5.2 | 高環形器台。口縁部外面に突帯文 2 条と波状文 9~11 条施す。 | 回転ナデ            | 回転ナデ    | 灰色<br>灰色        | 密<br>○           |    |    |
| 113 | 高台付<br>壺 | 底径 (16.0)<br>残高 2.5 | 「ハ」の字状に開く高台。壺部は「コ」字状で内面が接地する。     | マメツ             | マメツ     | 橙色<br>橙色        | 石・長(1~2)<br>○    |    |    |
| 114 | 壺        | 残高 2.2              | 「ハ」の字状に開く高台。                      | ナデ→ミガキ          | ナデ      | にぶい褐色<br>にぶい褐色  | 密、石・長(1~2)<br>○  |    |    |
| 115 | 三足釜      | 残高 7.8              | 脚部。                               | ナデ              |         | にぶい褐色           | 石・長(1~2)<br>○    |    |    |
| 116 | 三足釜      | 残高 7.5              | 脚部。                               | ナデ              |         | にぶい黄褐色          | 石・長(1)<br>○      |    |    |
| 117 | 三足釜      | 残高 8.1              | 脚部。                               | ナデ              |         | 灰黃褐色            | 石・長(1~2)<br>○    |    |    |
| 118 | 三足釜      | 残高 7.2              | 脚部。                               | ナデ              |         | にぶい褐色           | 石・長(1~2)<br>○    |    |    |
| 119 | 火鉢       | 残高 3.2              | 底部。                               | ナデ              | ナデ      | 灰色<br>灰色        | 石・長(1~3), 金<br>○ |    |    |
| 120 | 縦鉢       | 残高 4.1              | 2 条の沈線文。脚目が残る。                    | 回転ナデ            | 回転ナデ    | 赤灰色<br>灰褐色      | 密<br>○           |    |    |
| 121 | 縦鉢       | 口径 (28.8)<br>残高 4.2 | 束縛系。内面に脚目が残る。                     | 回転ナデ            | 回転ナデ    | 灰色<br>灰色        | 石・長(1)<br>○      |    |    |
| 122 | 焰塔鍋      | 口径 (40.0)<br>残高 1.9 | 短く水平に伸びる口縁部。                      | ナデ              | ナデ      | 灰黄色<br>灰白色      | 石・長(1), 金<br>○   |    |    |
| 123 | 鉢        | 底径 (13.6)<br>残高 4.5 | 平底。                               | ナデ              | 回転ナデ    | 橙色<br>にぶい赤褐色    | 石・長(1~3), 石<br>○ |    |    |
| 124 | 碗        | 残高 1.5              | 龍泉窯系青磁。体部小片。                      | 施釉の為、不明         | 施釉の為、不明 | 赤白色<br>オリーブ色    | 密<br>○           |    |    |
| 125 | 碗        | 底径 5.4<br>残高 2.4    | 白磁純錐類。見込みの釉を環状に括き取る。厚く低い高台。       | 回転ナデ            | 回転ナデ    | 赤白色<br>灰白色      | ○                |    |    |

表22 出土地点不明遺物観察表 (石製品)

| 番号  | 器種 | 残存   | 材質   | 法量      |        |         |        | 備考 | 図版 |
|-----|----|------|------|---------|--------|---------|--------|----|----|
|     |    |      |      | 長さ (cm) | 幅 (cm) | 厚さ (cm) | 重さ (g) |    |    |
| 126 | 石斧 | 約1/4 | 緑色片岩 | 7.7     | 2.9    | (2.0)   | 61.33  |    |    |

## 第3章 筋違Q遺跡

### 第1節 調査の経過と組織

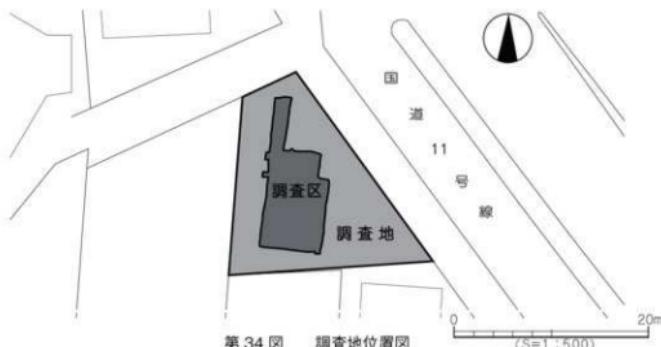
#### 1. 調査の経過

平成20年8月1日に調査区周囲に防護ネットを設置する。8月4日、調査区は調査スペースの関係から南北に分け、北を1区、南を2区と調査区を設定し、1区から重機を使用して掘削作業を開始する。8月7日に遺構検出作業、遺構配置図の作成と基準点杭の設置を行う。8月12日に遺構の検出状況の写真撮影を行った後に、遺構の掘削を開始する。8月22日に1区の遺構完掘状況の写真撮影を行う。8月26日に1区の埋め戻しと2区の掘削を開始する。9月1日から遺構の検出作業を開始する。9月3日に遺構配置図の作成を行い、2回目の基準点杭の設置を行う。9月4日に遺構の検出状況の写真撮影を行い掘削を開始する。9月12日に2区の遺構完掘状況の撮影を行う。9月20日には地域の住民を対象とした説明会を開催し30名の参加者があった。9月24日に重機を使用して埋め戻し作業を行う。9月30日に道具の片づけを行い調査を終了する。屋外調査期間は平成20年8月1日～9月30日である。

#### 2. 調査組織

平成20年度調査組織（平成20年4月1日時点）

|          |     |       |                         |
|----------|-----|-------|-------------------------|
| 松山市教育委員会 | 教育長 | 山内 泰  | 財団法人松山市生涯学習振興財団         |
| 事務局      | 局 長 | 藤田 仁  | 理事長 中村 時広               |
|          | 企画官 | 古鎌 靖  | 事務局 局長兼松山市考古館館長 松澤 史夫   |
|          | 企画官 | 青木 茂  | 埋蔵文化財センター 所長兼総務課長 白石 修一 |
|          | 企画官 | 佐々木乾二 | 次 長 折手 均                |
| 文化財課     | 課 長 | 家久 則雄 | 次 長 重松 佳久               |
|          | 主 幹 | 森 正経  | 担当 吉岡 和哉                |
|          | 副主幹 | 三好 博文 |                         |



第34図 調査位置図

## 第2節 調査の成果

### 1. 層位

調査では、基本土層は第I層～第X層に分層し、第II層は5層に、第IV層は2層に細分した。第I層は近現代の宅地造成土、第II層から第IX層は近現代の水田や畑耕作に伴う耕作土や造成土である。遺構は第X層（地山）上面で検出した。

**第I層** 灰白色～灰黄色粗砂（2.5YR 8/2～7/2）調査区全域で厚さ30～40cmを測る。（造成土）

**第II層** 5層に細分できる。調査区全域で厚さ10～30cmを測る。（旧水田）

①黄灰色（2.5YR 5/1～4/1）～褐灰色微粒土（10YR 4/1）。

②灰白色～褐灰色微粒土（10YR 4/1～6/1）よく縮まる。

③褐灰色微粒土（10YR 5/1～6/1）よく縮まる。

④灰白色～灰黄色微粒土（2.5YR 7/1～7/2）よく縮まる。

⑤黄灰色～灰黄色微粒土（2.5YR 6/1～6/2）に明黄褐色微粒土（10YR 6/6）が2～10cm大のブロックで多く含む。

**第III層** にぶい橙色～橙色粘土（7.5YR 6/4～6/6）+褐灰色粘質土（7.5YR 5/1～4/1）+5cm大の砂岩礫。調査区の中央西壁と東壁で厚さ20cmを測る。（旧床土）

**第IV層** 2層に細分できる。調査区北側で厚さ2～8cmを測る。（旧水田）

①灰白色微粒土（N 7/0）

②灰白色～灰黄色微粒土（2.5YR 7/1～7/2）よく縮まる。第II④層とほぼ同じ。

**第V層** 明黄褐色粘質土（10YR 6/6）調査区南から中央部で厚さ6～10cmを測る。（旧床土）

**第VI層** 灰白色～褐灰色微粒子（10YR 7/1～6/1）ににぶい黄橙色～にぶい黄褐色土（10YR 6/4～5/4）が混入。調査区南北から中央部で厚さ2～20cmを測る。（旧水田）

**第VII層** 褐灰色～黒褐色粘土（7.5YR 5/1）+褐灰色粘質微粒土（7.5YR 6/1～5/1）。調査区北部で厚さ2～10cmを測る。（旧床土）

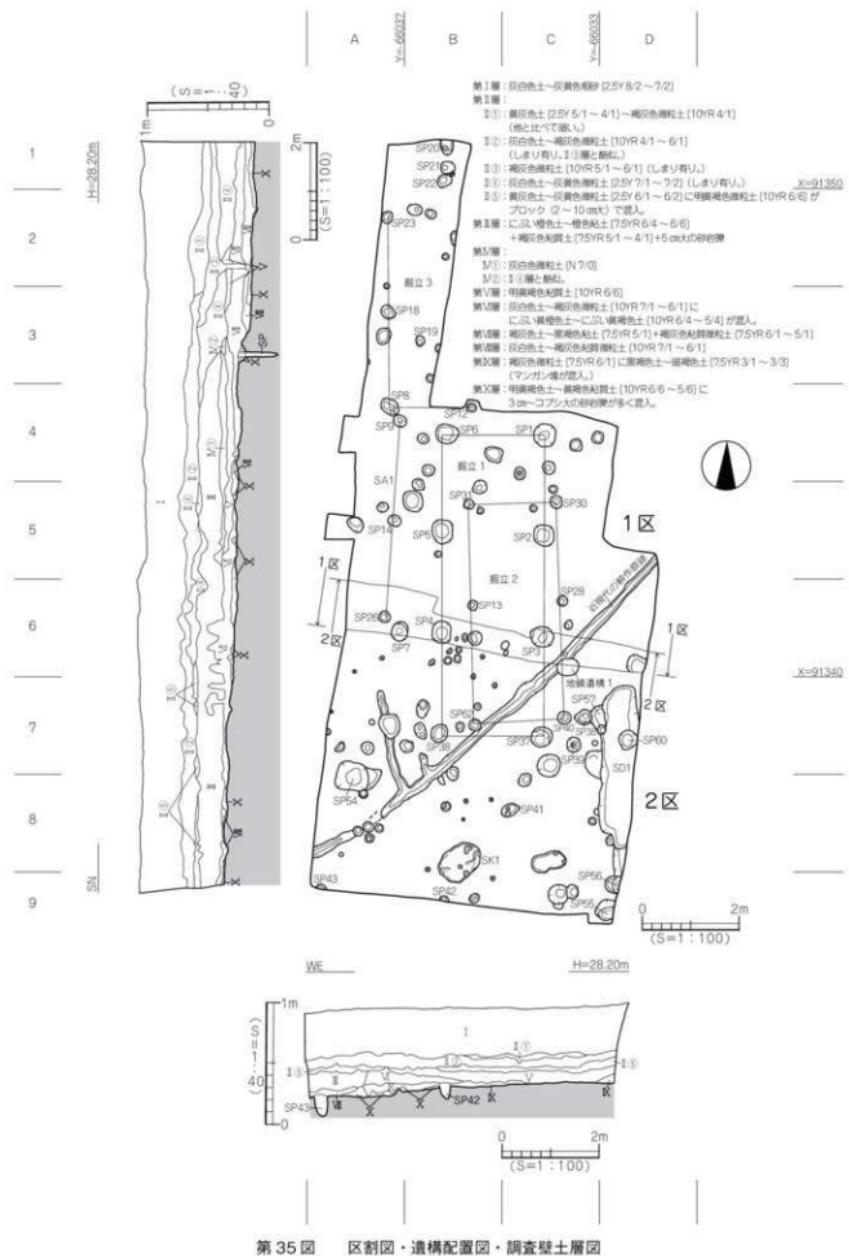
**第VIII層** 灰白色～褐灰色粘質微粒土（10YR 7/1～6/1）調査区の北西と南東部で厚さ4～10cmを測る。（旧水田）

**第IX層** 褐灰色微粒土（7.5YR 6/1）に黒褐色～暗褐色（7.5YR 3/1～3/3）マンガン塊を多く含む。調査区南東部で厚さ2～8cmを測る。

**第X層** 明黄褐色～黄褐色粘質土（10YR 6/6～5/6）に3cm～こぶし大の砂岩礫を多く含む。（遺構検出面・地山）。

なお、調査にあたり調査区内を2mグリッドに分けた。グリッド番号は西から東へA・B・C・D、北から南へ1・2・3・・・・7・8・9と番号を付した。

調査の成果



## 2. 遺構と遺物

本調査において中世の遺構と遺物を検出した。検出した遺構には掘立柱建物 3 棟、地鎮遺構 1 基、柵列 1 列、柱穴 120 基、土坑 1 基、溝 1 条がある。

遺物は土師器、瓦器、貿易陶磁器、壁体、鉄釘が出土した。

### (1) 中世

#### 1) 掘立柱建物

##### 掘立 1 (第 36・37 図、図版 7~9)

掘立 1 は、調査区中央の B4 ~ C7 区に位置する。主軸をほぼ座標北にとる 1 間 × 3 間の建物である。柱穴は 8 基あり、規模は梁行 21 m、桁行 6.1 m を測る。柱穴の平面形態は円形で、規模は径 35 ~ 51 cm、深さ 28 ~ 42 cm を測る。柱穴の規模は、他の掘立柱建物の柱穴と比較すると大きく、掘方もしっかりとしている。埋土は①褐灰色土 (7.5YR 4/1) + 黒褐色粘質土 (7.5YR 3/1) に炭化物・土器が多く混入する。②褐灰色土 (7.5YR 4/1) + 黑褐色粘質土 (7.5YR 3/1) に炭化物の小片が斑状に混入する。出土遺物は須恵器、土師器、瓦器の小片と、鉄釘、壁体（強い熱を受けた土塊）がある。

##### 出土遺物 (1 ~ 22・138)

1・2 は須恵器。1 は蓋。口縁端部は内傾する面を持つ。2 は高杯の脚部。端部は直立気味に接地し外側に凹線。透かしがある。3 ~ 13 は土師器。3 ~ 8 は壺の口縁部の小片。9・10 は壺の底部片。11 ~ 13 は皿。13 は底部に回転糸切り痕が残る。14 ~ 16 は瓦器塊。14 は断面三角形状の高台を貼り付ける。15・16 は口縁部の小片。17 は土師質土器の鉢。厚みのある口縁部。18 ~ 21 は壁体。熱を受け、色調はにぶい橙色で、植物が混入されている。22 は鉄釘。断面は四角形状。

時期：出土遺物から掘立 1 の廃棄・埋没時期は中世とする。

##### 掘立 2 (第 38 図、図版 7~9)

掘立 2 は、調査区中央の B5 ~ C7 区に位置する。掘立 1 及び地鎮遺構 1 と平面的な切り合い関係を有する。主軸は、ほぼ座標北にとる 1 間 × 2 間の建物である。柱穴は 6 基あり、規模は梁行 18 m、桁行 4.4 m を測る。柱穴の平面形態は円形で、規模は径 20 ~ 28 cm、深さ 15 ~ 26 cm を測る。埋土は褐灰色土 (7.5YR 4/1) + 黑褐色粘質土 (7.5YR 3/1) に炭化物の小片が斑状に混入する。出土遺物は土師器、陶磁器がある。

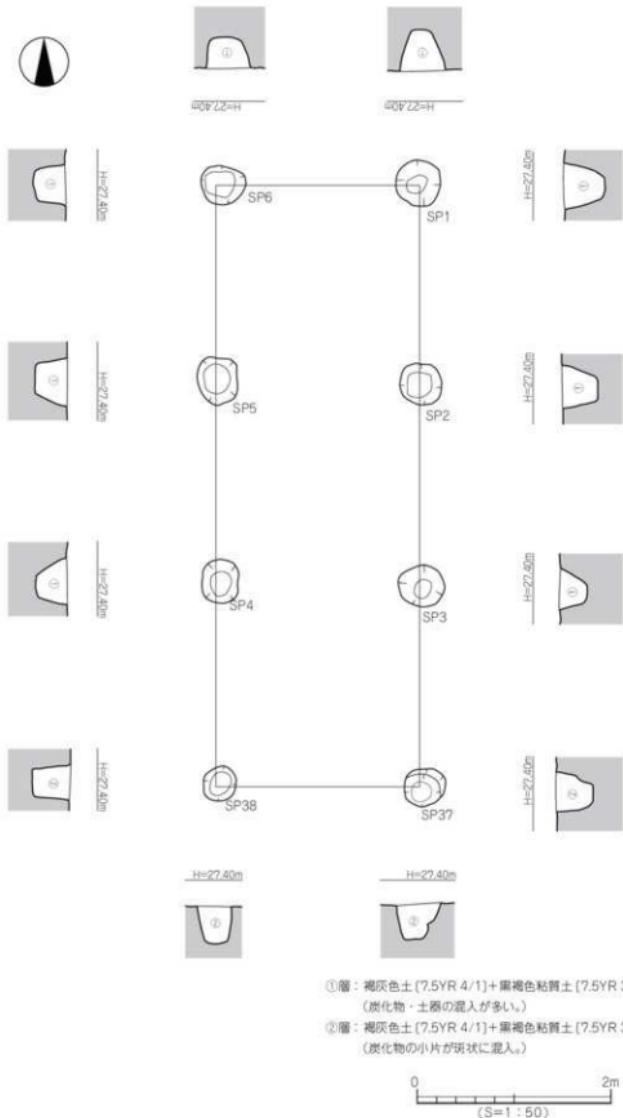
##### 出土遺物 (23・24)

23・24 は土師器。23 は壺の口縁部小片。24 は皿の底部小片。

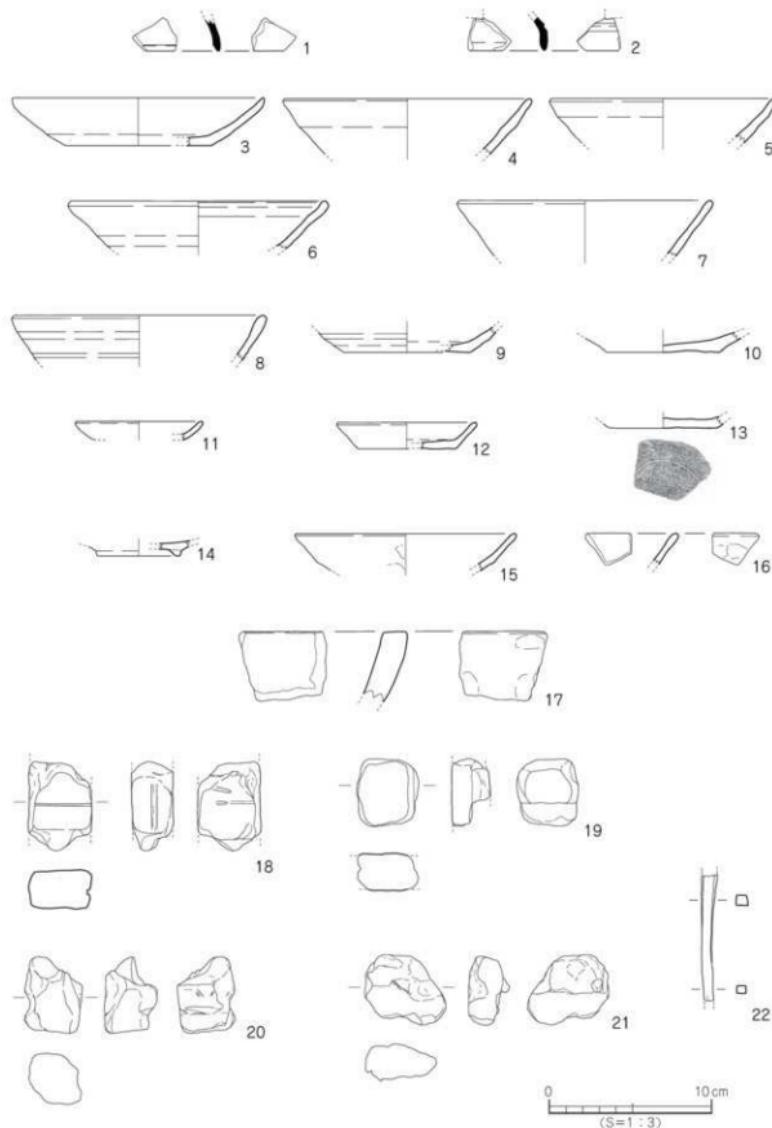
時期：出土遺物は少量で小片であるため明確ではないが、埋土が掘立 1 と同じことから掘立 1 と同じ中世の建物跡とする。

##### 掘立 3 (第 39 図、図版 7・8)

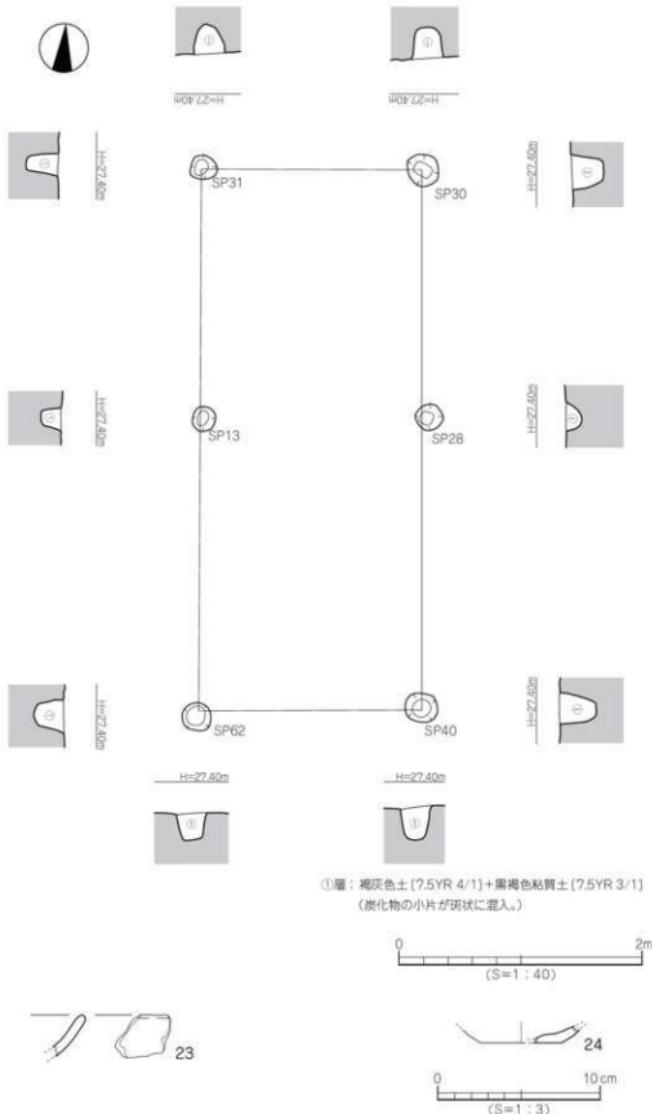
掘立 3 は調査区北部の A2 ~ B4 区に位置する。東側は調査区外につづく。主軸は、ほぼ座標北にとる 1 間以上 × 2 間以上の建物である。柱穴は 4 基を検出し、規模は梁行 1.7 m、桁行 3.9 m を測る。柱穴の平面形態は円形と稍円形で、規模は径 20 ~ 40 cm、深さ 20 ~ 40 cm を測る。埋土は褐灰色土 (7.5YR 4/1) + 黑褐色粘質土 (7.5YR 3/1) に炭化物・土器が多く混入する。出土遺物は土師器と瓦器の小片がある。



第36図 掘立1測量図

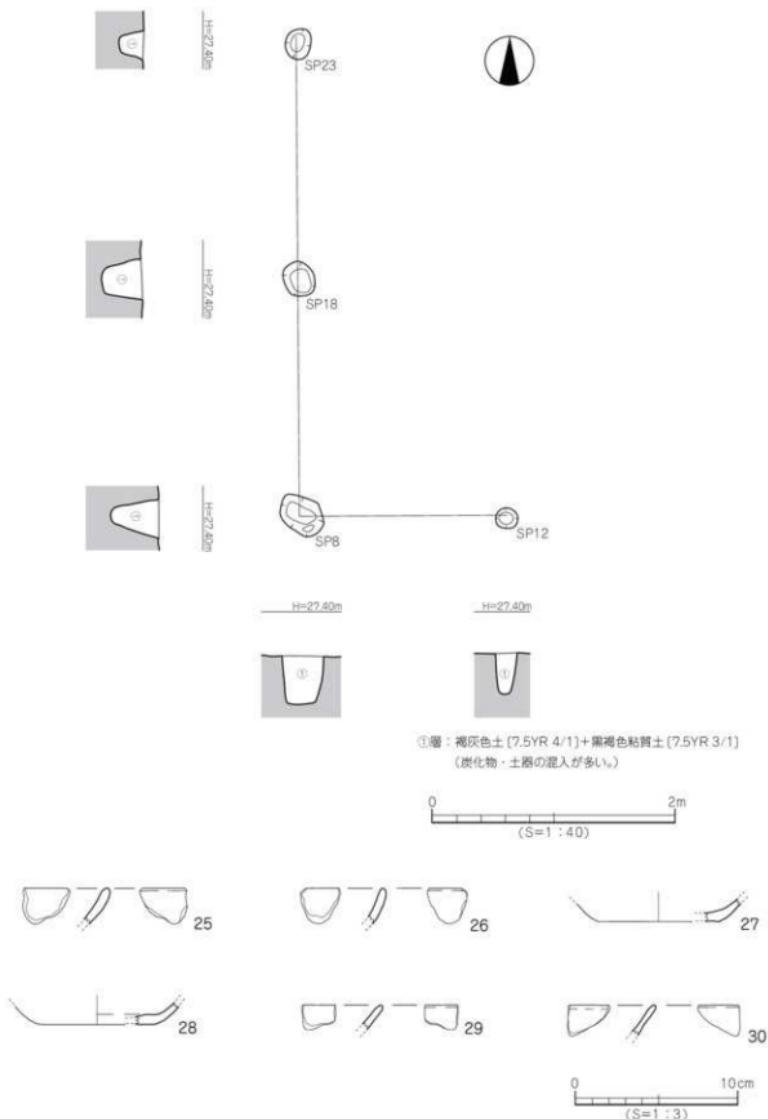


第37図 挖立1出土遺物実測図



第38図 掘立2測量図・出土遺物実測図

筋道 Q 遺跡



第39図 捜立3測量図・出土遺物実測図

## 出土遺物（25～30）

25～28は土師器の坏。25・26は口縁部の小片。27・28は底部の小片。29・30は瓦器塊。口縁部の小片。

時期：出土遺物が小片であるため明確ではないが、埋土から掘立1と掘立2と同じ中世の建物跡とする。

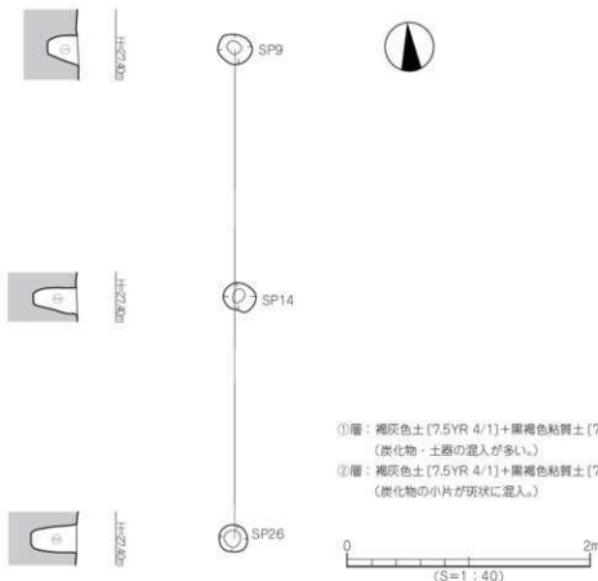
## 2) 檻列

## SA1（第40図、図版7・8）

SA1は調査区西部のA4～6区に位置する。柱穴は南北方向の3基で、規模は検出長4.0mを測る。柱穴の平面形態は円形で、規模は22～26cm、深さ26～37cmを測る。埋土は①褐灰色土（7.5YR 4/1）+黒褐色粘質土（7.5YR 3/1）に炭化物・土器が多く混入する。②褐灰色土（7.5YR 4/1）+黒褐色粘質土（7.5YR 3/1）に炭化物の小片が斑状に混入する。出土遺物は土師器と瓦器があるが、小片のため図化できる遺物はない。

SA1は、柱穴3基が南北方向に直線的に並び、柱穴間の長さが掘立柱建物の柱穴と同じであることより、柱穴が調査区外の西側に展開し掘立柱建物になる可能性が考えられる。

時期：柱穴埋土が掘立1と同じことから中世の檻列とする。



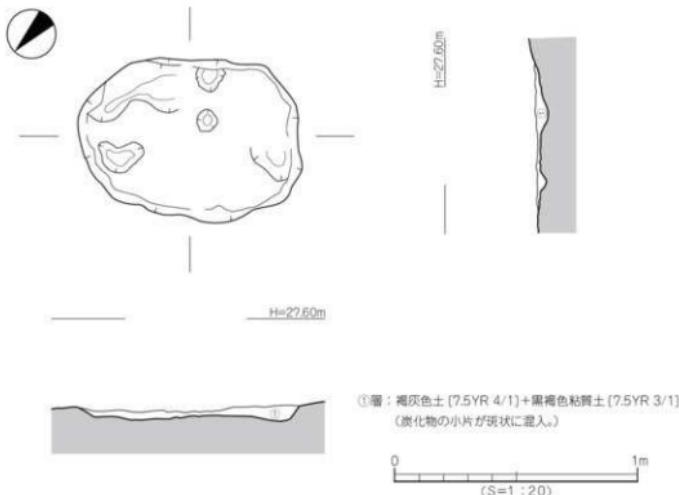
第40図 SA1測量図

### 3) 土坑

#### SK1 (第41図、図版9)

SK1は調査区南のB8・9区に位置する。平面形態は楕円形で、規模は長さ0.90m、幅0.60m、深さ5cmを測る。断面形態は皿状である。埋土は褐灰色土(7.5YR 4/1)+黒褐色粘質土(7.5YR 3/1)に炭化物の小片が斑状に混入する。出土遺物は土師器があるが小片のため図化できる遺物はない。

時期：出土遺物と埋土からSK1の廃棄埋没時期は中世とする。



第41図 SK1測量図

### 4) 溝

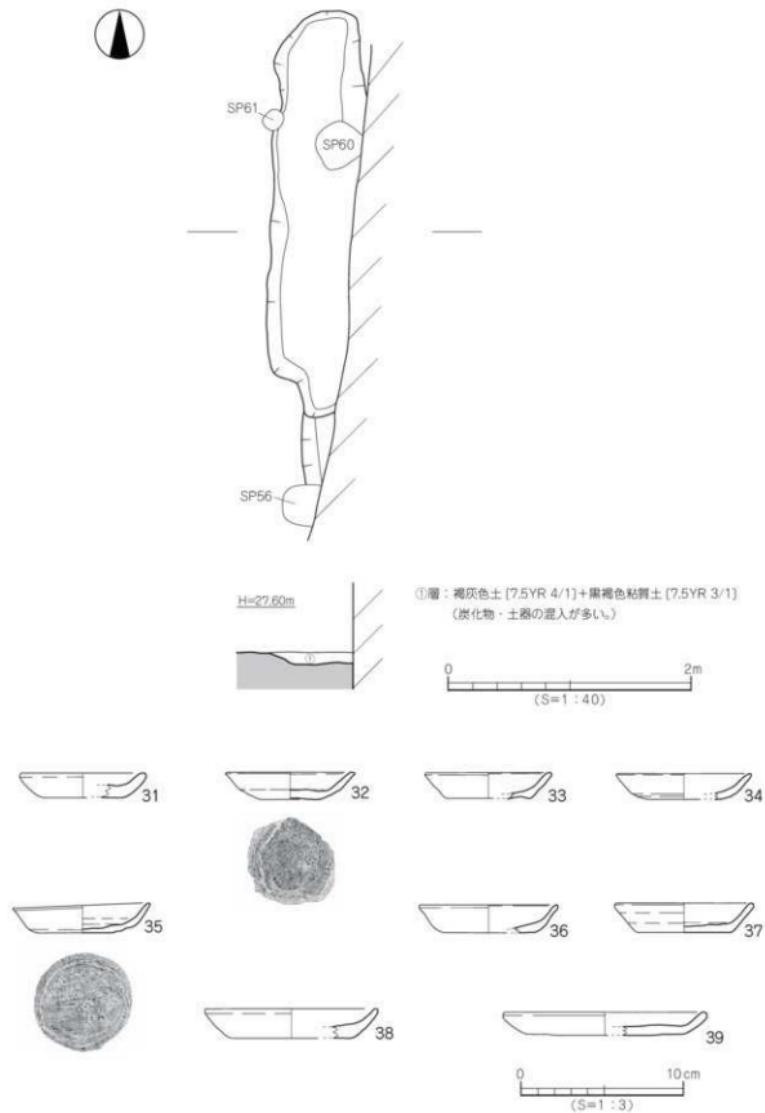
#### SD1 (第42～45図、図版9・10・12)

SD1は調査区東のD7～9区に位置する南北方向の溝である。東側と南側は調査区外につづく。規模は検出長3.5m、幅0.72m、深さ10cmを測る。断面形態は皿状である。褐灰色土(7.5YR 4/1)+黒褐色粘質土(7.5YR 3/1)に炭化物・土器が多く混入する。出土遺物は土師器、瓦器、磁器、壁体(強い熱を受けた土塊)がある。

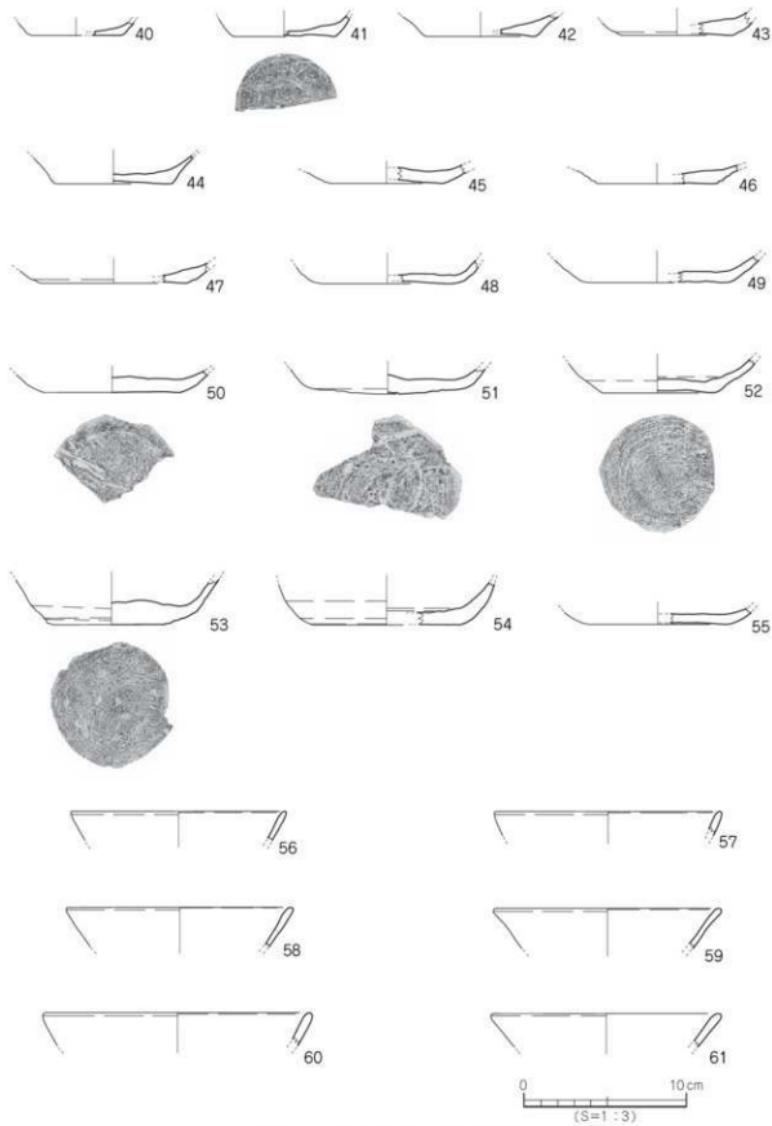
#### 出土遺物 (31～91)

31～55は土師器の皿。32・35・41・50～53・55の底部には回転糸切り痕が残る。56～71は土師器の壊。56～62は口縁部片。63～67は体部から口縁部の残存。66の外面には粘土巻き上げ痕が顕著に残る。68は底部から口縁部の残存。底部には回転糸切り痕が残る。69～71は底部から体部の残存。70・71の底部には回転糸切り痕が残る。72～80は土師器の壊。81～83は瓦器壊。84は中国製の白磁皿。内面に沈線文を施す。85～90は壁体。91は石器素材。

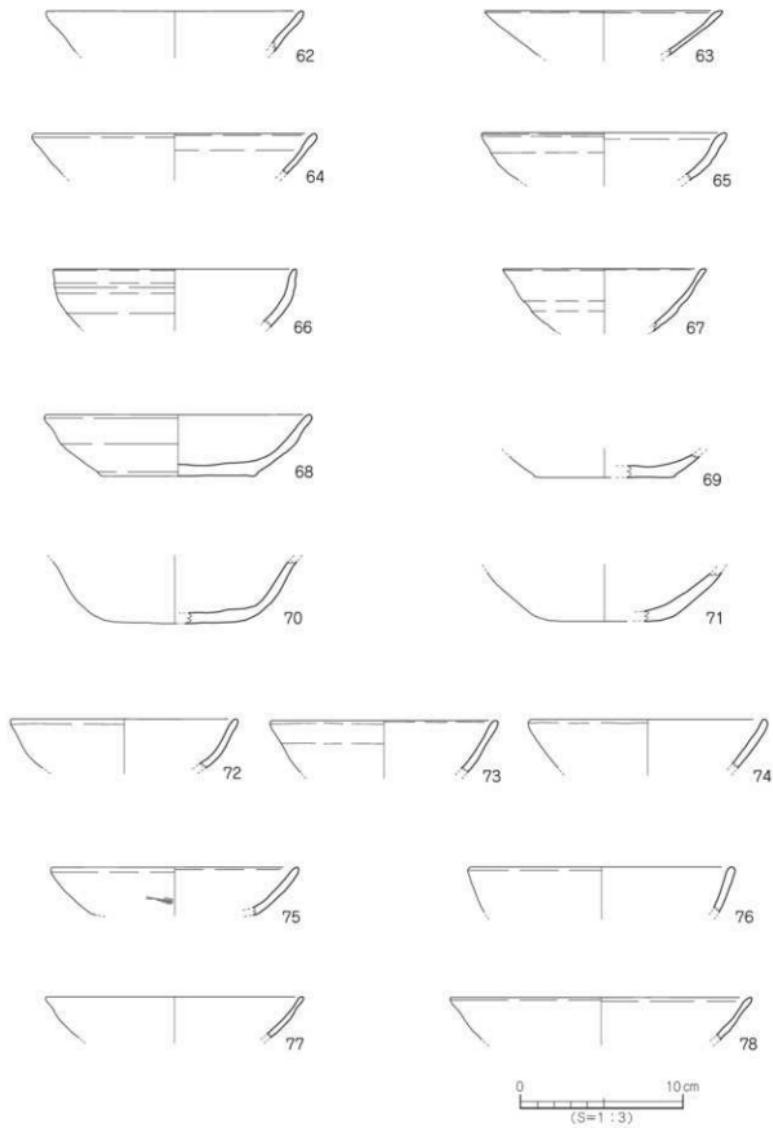
時期：出土遺物の土師器の皿の形態より中世とする。



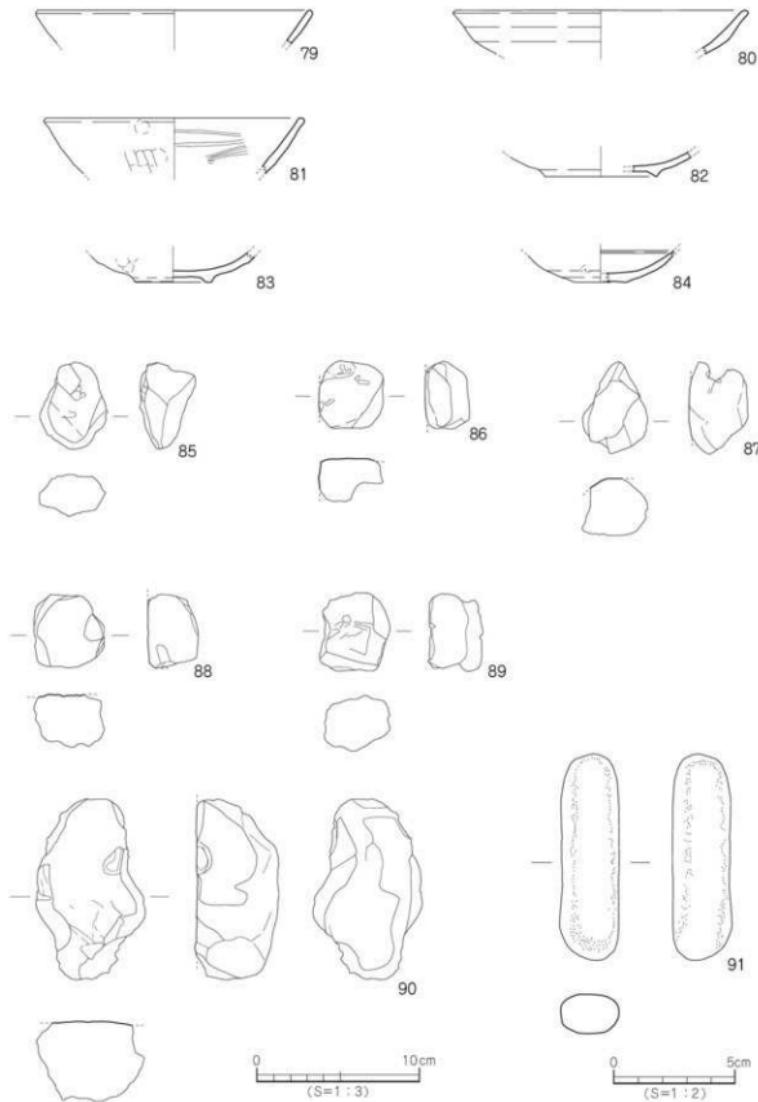
第42図 SD1測量図・出土遺物実測図(1)



第 43 図 SD 1 出土遺物実測図 (2)



第44図 SD 1 出土遺物実測図 (3)

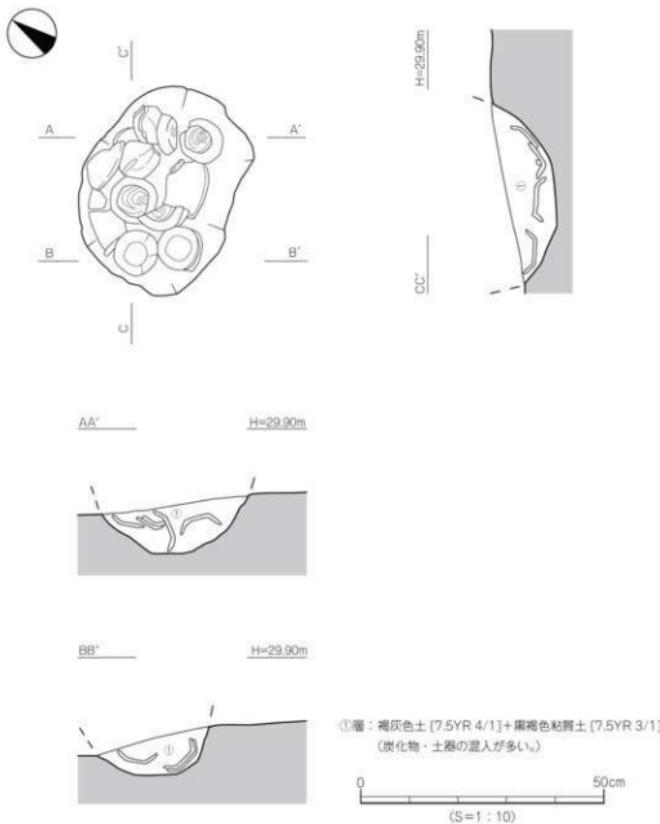


第 45 図 SD 1 出土遺物実測図 (4)

## 5) 地鎮遺構

## 地鎮遺構 1 (第 46・47 図、図版 8 ~ 12)

地鎮遺構 1 は調査区中央東 C6 区に位置する。平面形態は楕円形で、規模は長さ 0.42 m、幅 0.31 m、深さ 14cm を測る。断面形態はレンズ状である。埋土は褐灰色土 (7.5YR 4/1) + 黒褐色粘質土 (7.5YR 3/1) に炭化物・土器が多く混入する。出土遺物には土師器の皿、壺、壁体がある。遺物の出土状況は、完形品と完形品に近い土師器の皿及び壺が重なり合った状態で出土した。遺構の上部は近現代の耕作にともなって削られており、その際に破損、消失した個体も多いと考えられる。

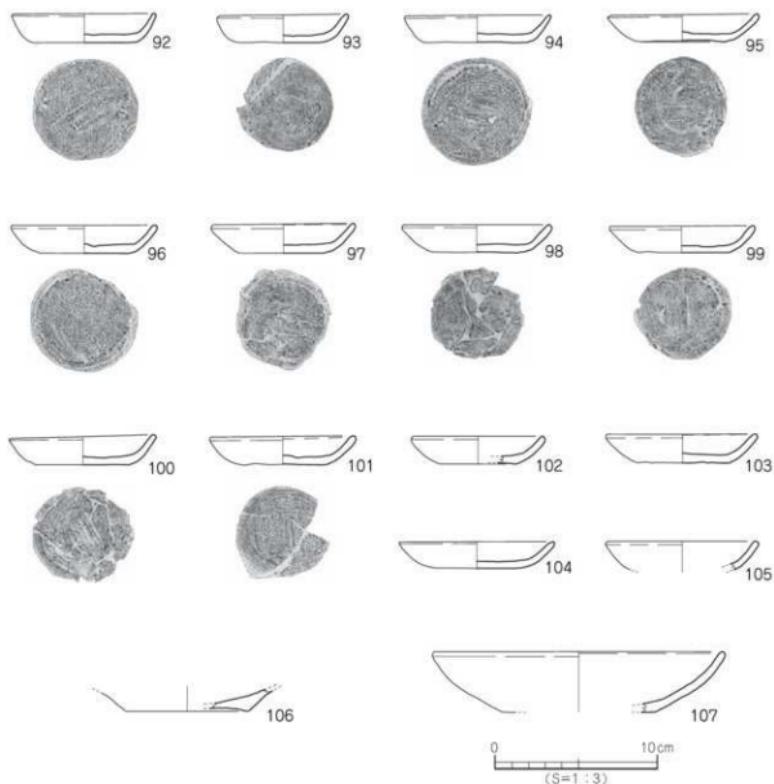


第 46 図 地鎮遺構 1 測量図

## 出土遺物 (92 ~ 107)

92 ~ 105 は土師器の皿。92 ~ 104 は完形品あるいはほぼ完形品である。法量は口径 8.7 ~ 9.2cm、器高 1.6 ~ 1.8cm を測る。底部切り離し技法は回転糸切りである。105 は口縁部片。106・107 は土師器の壊。

時期：出土した遺物の形態より地鎮遺構 1 の廃棄・埋没時期は中世とする。



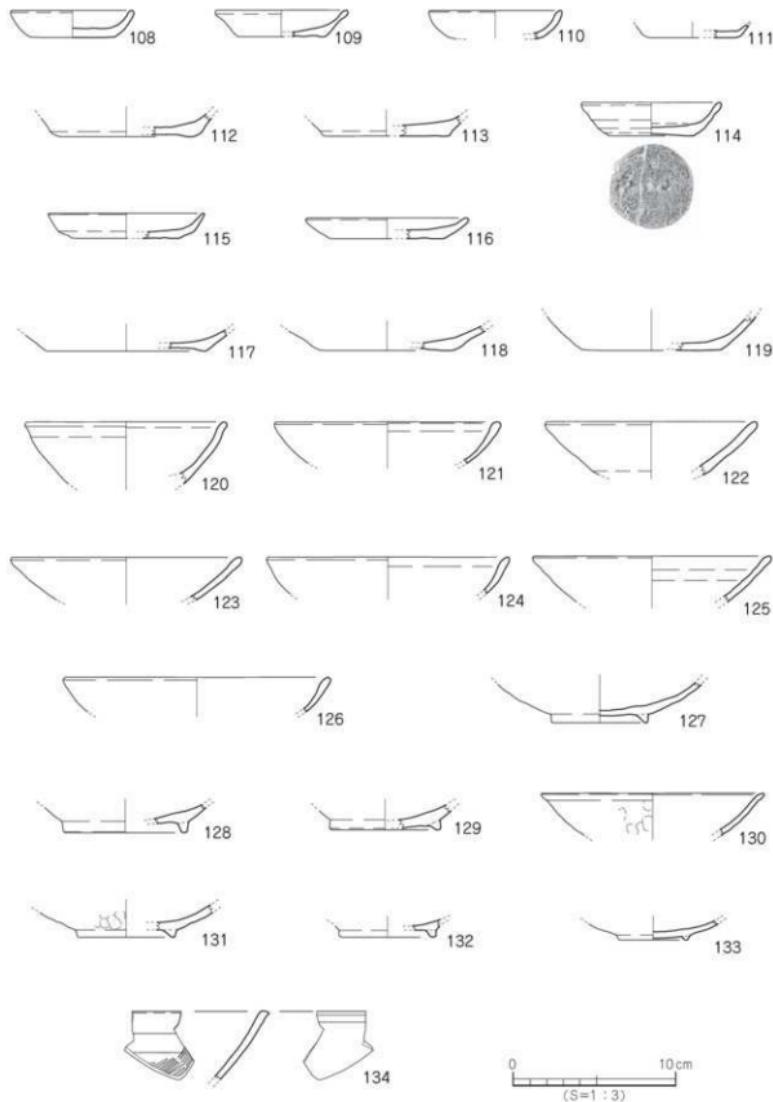
第 47 図 地鎮遺構 1 出土遺物実測図

## 6) 柱穴 (第 48・49 図、図版 7 ~ 10)

柱穴は 120 基検出し、埋土により 3 種類に分類できる。

① 暗褐色土～黒褐色粘質土 (7.5YR 4/1 ~ 3/1) に褐色土～暗褐色土 (7.5YR 4/3 ~ 3/3) と炭化物、にぶい黄褐色～黄褐色粘土が多く混じる。27 基を検出した。(SP39・55)

② 暗褐色土～黒褐色粘質土 (7.5YR 4/1 ~ 3/1) に褐色土～暗褐色土 (7.5YR 4/3 ~ 3/3) と炭化物



第 48 図 SP 出土遺物実測図 (1)

が少量混じる。21 基を検出した。(SP7・19・20・21・22・54)

③褐灰色粘質微粒土 (10YR 6/1 ~ 5/1) 1 基を検出した。

ほか 71 基は埋土の注記なしである。

#### 出土遺物 (108 ~ 138)

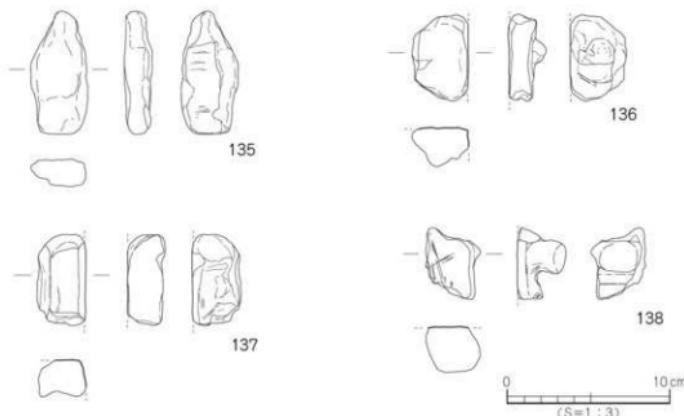
108 ~ 116 は土師器の皿。108・111 ~ 114 の底部切り離し技法は回転糸切り。117 ~ 119 は土師器の壺で、底部切り離し技法は回転糸切りである。120 ~ 129 は土師器の塊。123 の外面には黒斑が見られる。129 の底部には断面三角形状の高台が付く。130 ~ 133 は瓦器塊。130 は口縁部片。131 ~ 133 は断面三角形状の高台を貼り付ける。134 は中国同安窯系青磁碗。135 ~ 138 は壁体。植物が混入している。

#### 7) 出土地点不明遺物 (第 50 図)

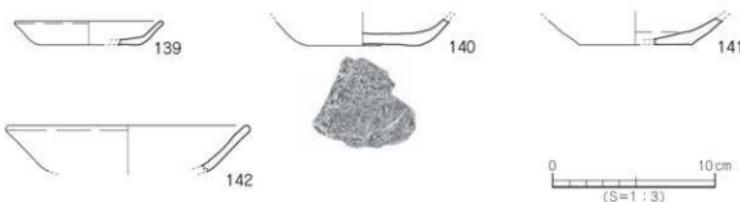
2 区検出時に出土した遺物。

#### 出土遺物 (139 ~ 142)

139・140 は土師器の皿。139 は底部から口縁部の残存。140 の底部切り離し技法は回転糸切り。141・142 は土師器の壺。141 の底部切り離し技法は回転糸切り。142 は口縁部片。



第 49 図 SP 出土遺物実測図 (2)



第 50 図 出土地点不明遺物実測図

### 3. まとめ

本調査からは、遺構では掘立柱建物、地鎮遺構、土坑、溝、柵列、柱穴を検出し、遺物では土師器、須恵器、瓦器、壁体などが出土した。

遺構：掘立柱建物と溝は、出土遺物から、概ね12世紀終わりから13世紀頃の鎌倉時代と考えられる。12世紀から13世紀頃の集落跡は、筋違A～C遺跡、筋違G・K・L遺跡、北久米遺跡2次調査などで確認されている。その中でもとくに、筋違B遺跡や筋違L遺跡、北久米遺跡2次調査では、屋敷を取り囲んでいた方形の区画（溝）が検出されている。この区画溝は、集落内の権力者が住んでいた主要な建物を囲む溝と考えられている。今回、検出したSD1も上記の遺跡同様に、掘立1の外部あるいは内部を区画する溝である可能性が高いことから、掘立1も鎌倉時代の集落を形成していた主要な建物の一つであると考えられ、新たな事例を追加することができた。

遺物：掘立1とSD1から出土した遺物の中には、土器片とともに熱を受けた砂混じりの土塊（18～21、85～90）が多く混入していた。強い熱を受けた土塊の中には、平らな面をもち、胎内には細長い空洞部分が見られることより、本来は建物の壁面等に塗られた薫混じりの壁土のようなものであったと考えられる。これは、建物が焼失して熱を受け土塊が形成され、建物を解体した際に建物や溝の遺構内部に混入した可能性が考えられる。掘立1は上屋が何らかの原因で焼失し、燃え残った建物を取り壊して柱材を抜き取った後に、熱を受けた土が遺構内部に混入した可能性が考えられる。

地鎮遺構1では、浅い掘り込みの内部に皿を主体としてほぼ完全な形の土師皿や壺が10個体以上も埋納されていた。

松山市内において3個体以上の土器が埋納された中世期の遺跡は、船ヶ谷遺跡3次調査、古照遺跡7次調査及び8次調査、梅味四反地遺跡19次調査、筋違G遺跡の5遺跡が報告されている。船ヶ谷遺跡3次調査では、柱穴内から土師器の壺と皿が重なり合って出土している。古照遺跡7次調査では掘立柱建物の柱穴から土師器の壺・皿、瓦器塊が7点出土している。古照遺跡8次調査では掘立柱建物の柱穴から土師器の皿が5点出土している。梅味四反地遺跡19次調査では、土坑内から土師器の壺5点が出土している。筋違G遺跡では、柱穴内から土師器の皿3点と瓦器皿1点が重なって出土している。地鎮は古くから現在まで行われている。古くは、古墳時代中期の掘立柱建物の柱穴内に土師器の高壺を埋納した事例が報告されている。現在では、建物を新築する際に地神に、工事の安全を祈願する地鎮祭が広く行われている。今回、検出された地鎮遺構は、建物の地鎮の「マツリ」を行った痕跡を示すものであり、地鎮遺構と集落との関係を考える一資料である。

#### 【文献】

- 栗田正芳 1994『古照遺跡7次調査』松山市文化財調査報告書38集
- 栗田正芳 1996『古照遺跡8次調査』松山市文化財調査報告書53集
- 加島次郎 1999『船ヶ谷遺跡3次調査』松山市文化財調査報告書73集
- 梅木謙一 1996『福音寺地区の遺跡』『筋違C・D・E・F・G・H・I遺跡・川附遺跡』松山市文化財調査報告書52集
- 山之内史郎はか 2001『福音寺地区の遺跡Ⅲ』『筋違L・N遺跡』松山市文化財調査報告書84集
- 武正良浩 2003『福音小学校構内遺跡Ⅱ』－古墳時代以降編－松山市文化財調査報告書91集
- 小笠原善治 2011『梅味四反地遺跡19次調査』松山市文化財調査報告書151集
- 小池寛はか 1997・1999・2000・2001『京都市遺跡調査概報』「森垣外遺跡」第77・86・91・96冊

## 遺構・遺物一覧　－凡例－

(1) 以下の表は、本調査地検出の遺構と出土遺物の計測値及び観察一覧である。

(2) 遺物観察表の各掲載について

法量欄 ( ) : 推定復元値

胎土・焼成欄 胎土欄では混和剤を略記した。

例) 石→石英、長→長石、密→精製土、赤→赤色酸化土粒、雲→ウンモ、  
金→金ウンモ

( ) の中の数値は混和剤粒子の大きさを示す。

例) 石・長(1~4) → 「1mm ~ 4mm 大の石英・長石を含む」である。

焼成欄の略記について。

◎→良好

表 23 振立柱建物一覧

| 振立 | 地区      | 規模(間)     | 桁行長(m) | 梁行長(m) | 方向 | 埋土  | 出土遺物                  | 時期 | 備考 |
|----|---------|-----------|--------|--------|----|---|-----------------------|----|----|
| 1  | B4 ~ C7 | 1 × 3     | 6.1    | 21     | 南北 | 褐灰土(7SYR 4/1) + 黒褐色粘土<br>(7SYR 3/1)<br>直底物・土器が多く混入する。<br>柱頭部の柱頭部は焼成していない。 | 陶器<br>土器<br>瓦器<br>陶磁器 | 中世 |    |
| 2  | B5 ~ C7 | 1 × 2     | 4.4    | 18     | 南北 | 褐灰土(7SYR 4/1) + 黒褐色粘土<br>(7SYR 3/1)                                       | 土器<br>陶磁器             | 中世 |    |
| 3  | A2 ~ B4 | (1) × (2) | 3.9    | 17     | 南北 | 褐灰土(7SYR 4/1) + 黒褐色粘土<br>(7SYR 3/1)<br>酸化物・土器が多く混入する。                     | 土器<br>瓦器              | 中世 |    |

表 24 横列一覧

| 横列(SA) | 地区     | 規模(間) | 長さ(m) | 方向 | 埋土   | 出土遺物     | 時期 | 備考 |
|--------|--------|-------|-------|----|--|----------|----|----|
| 1      | A4 ~ 6 | (2)   | 4.0   | 南北 | 褐灰土(7SYR 4/1) + 黒褐色粘土<br>黄土(7SYR 3/1)<br>直底物・土器が多く混入する。<br>柱底物の小片が焼成に混入する。 | 土器<br>瓦器 | 中世 |    |

表 25 土坑一覧

| 土坑(SK) | 地区   | 平面形 | 断面形 | 規模<br>長径×短径×深さ(m)  | 埋土   | 出土遺物     | 時期 | 備考 |
|--------|------|-----|-----|--------------------|--|----------|----|----|
| 1      | B8-9 | 椭円形 | 皿状  | 0.90 × 0.60 × 0.05 | 褐灰土(7SYR 4/1) +<br>黒褐色粘土(7SYR 3/1)<br>酸化物・土器が小片状に混入する。 | 土器<br>瓦器 | 中世 |    |

表 26 清一覧

| 清(SD) | 地区     | 方向 | 断面形 | 規模<br>長さ×幅×深さ(m)    | 埋土   | 出土遺物                 | 時期 | 備考 |
|-------|--------|----|-----|---------------------|--|----------------------|----|----|
| 1     | D7 ~ 9 | 南北 | 皿状  | (3.5) × 0.72 × 0.10 | 褐灰土(7SYR 4/1) +<br>黒褐色粘土(7SYR 3/1)<br>酸化物・土器が多く混入する。 | 土器<br>瓦器<br>磁器<br>壁体 | 中世 |    |

表 27 地錠遺構一覧

| 地錠遺構 | 地区 | 平面形 | 断面形  | 規模<br>長径×短径×深さ(m)  | 埋土   | 出土遺物     | 時期 | 備考 |
|------|----|-----|------|--------------------|--|----------|----|----|
| 1    | C6 | 椭円形 | レンズ状 | 0.42 × 0.31 × 0.14 | 褐灰土(7SYR 4/1) +<br>黒褐色粘土(7SYR 3/1)<br>酸化物・土器が多く混入する。 | 土器<br>壁体 | 中世 |    |

## 出土遺物観察表

表 28 振立1出土遺物観察表(土製品)

(1)

| 番号 | 器種 | 法量(cm)                          | 形態・施文                       | 調査          |      | 色調<br>(外面)<br>(内面) | 胎土<br>焼成        | 備考   | 図版 |
|----|----|---------------------------------|-----------------------------|-------------|------|--------------------|-----------------|------|----|
|    |    |                                 |                             | 外面          | 内面   |                    |                 |      |    |
| 1  | 蓋  | 残高 1.9                          | 口縁端部は内傾する面を持ちむ。             | 回転ナデ        | 回転ナデ | 灰色<br>灰色           | 細砂粒<br>○        | SP6  |    |
| 2  | 高壺 | 残高 2.0                          | 脚端部は直立気味に接地し外面上に段を持つ。透かしあり。 | 回転ナデ        | 回転ナデ | 灰色<br>灰色           | 細砂粒<br>○        | SP37 |    |
| 3  | 壺  | 口径 (15.4)<br>底径 (9.0)<br>器高 2.9 | 口縁端部は丸い。小片。                 | ヨコナデ        | ヨコナデ | 灰白色<br>灰白色         | 細砂粒<br>○        | SP38 |    |
| 4  | 壺  | 口径 (15.0)<br>残高 3.4             | 外傾する口縁端部は丸い。                | マメツ         | マメツ  | 灰白色<br>灰白色         | 石・長(1)<br>○     | SP5  |    |
| 5  | 壺  | 口径 (13.8)<br>残高 2.7             | 口縁端部は丸い。小片。                 | マメツ         | マメツ  | 灰白色<br>灰白色         | 長(1~3)<br>○     | SP6  |    |
| 6  | 壺  | 口径 (14.8)<br>残高 3.0             | 口縁端部は丸い。小片。                 | ヨコナデ        | ヨコナデ | 浅黄色<br>浅黄色         | 細砂粒<br>○        | SP6  |    |
| 7  | 壺  | 口径 (15.4)<br>残高 3.4             | 口縁端部は丸い。小片。                 | マメツ         | マメツ  | 灰白色<br>灰白色         | 細砂粒<br>○        | SP4  |    |
| 8  | 壺  | 口径 (15.4)<br>残高 2.8             | 口縁端部は丸い。小片。                 | ヨコナデ        | ヨコナデ | 灰白色<br>灰白色         | 細砂粒<br>○        | SP4  |    |
| 9  | 壺  | 底径 (7.8)<br>残高 1.6              | 回転糸切り痕。                     | ナデ          | マメツ  | 灰白色<br>灰白色         | 細砂粒、赤<br>○      | SP4  |    |
| 10 | 壺  | 底径 (7.0)<br>残高 1.2              | 小片。                         | マメツ         | マメツ  | 灰白色<br>暗灰色         | 長(1)<br>○       | SP6  |    |
| 11 | 皿  | 口径 (7.8)<br>残高 1.1              | 小片。                         | ヨコナデ        | マメツ  | 灰褐色<br>灰褐色         | 細砂粒、雲<br>○      | SP1  |    |
| 12 | 皿  | 口径 (8.6)<br>底径 (6.0)<br>器高 1.6  | 底部に縦割か?                     | マメツ         | マメツ  | 灰白色<br>灰白色         | 細砂粒<br>○        | SP3  |    |
| 13 | 皿  | 底径 (6.6)<br>残高 0.7              | 回転糸切り痕。                     | マメツ         | ヨコナデ | 灰白色<br>灰白色         | 長(1)<br>○       | SP2  |    |
| 14 | 塊  | 底径 (5.0)<br>残高 0.9              | 貼り付け輪高台。                    | ヨコナデ        | マメツ  | 褐色<br>褐色           | 細砂粒<br>○        | SP2  |    |
| 15 | 塊  | 口径 (13.6)<br>残高 2.3             | 口縁端部は丸い。小片。                 | 指頭痕         | マメツ  | 暗灰色<br>暗灰色         | 石(1)<br>○       | SP2  |    |
| 16 | 塊  | 残高 1.9                          | 口縁部小片。                      | マメツ         | マメツ  | 暗灰色<br>暗灰色         | 石(1)<br>○       | SP2  |    |
| 17 | 鉢  | 残高 4.3                          | 厚みのある口縁部。                   | 指頭痕<br>ヨコナデ | ヨコナデ | 褐色<br>にぶい黄橙色       | 石(1~2)、赤<br>○   | SP6  |    |
| 18 | 壁体 | 長さ 5.5<br>幅 3.9<br>厚み 2.4       | 外面と裏面に溝状の植物の混入痕あり。          |             |      | にぶい橙色              | 細砂粒、赤<br>○      | SP1  |    |
| 19 | 壁体 | 長さ 4.1<br>幅 3.8<br>厚み 2.3       | 植物の混入痕あり。小片。                |             |      | 褐色                 | 石・長(1)、赤<br>○   | SP1  |    |
| 20 | 壁体 | 長さ 4.7<br>幅 3.6<br>厚み 3.2       | 植物の混入痕あり。小片。                |             |      | にぶい橙色              | 石・長(1~5)、赤<br>○ | SP4  |    |

表 28 挖立 1 出土遺物観察表（土製品）

(2)

| 番号 | 器種 | 法量 (cm)                | 形態・施文        | 調整 |    | 色調 (外面)<br>(内面) | 胎 土<br>焼 成      | 備考  | 図版 |
|----|----|------------------------|--------------|----|----|-----------------|-----------------|-----|----|
|    |    |                        |              | 外面 | 内面 |                 |                 |     |    |
| 21 | 壺体 | 長さ 43<br>幅 56<br>厚み 22 | 植物の混入痕あり。小片。 |    |    | にぼい・橙色          | 石・長(1~7)、赤<br>○ | SP4 |    |

表 29 挖立 1 出土遺物観察表（金属製品）

| 番号 | 器種 | 残 存  | 材 質 | 法 量     |          |          | 備考    | 図版  |
|----|----|------|-----|---------|----------|----------|-------|-----|
|    |    |      |     | 長さ (cm) | 幅 (cm)   | 厚さ (cm)  |       |     |
| 22 | 釘  | 先端欠損 | 鉄   | 78      | 0.55~0.9 | 0.45~0.6 | 8.268 | SP1 |

表 30 挖立 2 出土遺物観察表（土製品）

| 番号 | 器種 | 法量 (cm)            | 形態・施文 | 調整   |      | 色調 (外面)<br>(内面) | 胎 土<br>焼 成 | 備考   | 図版 |
|----|----|--------------------|-------|------|------|-----------------|------------|------|----|
|    |    |                    |       | 外面   | 内面   |                 |            |      |    |
| 23 | 壺  | 残高 26              | 小片。   | ヨコナデ | ヨコナデ | 灰白色<br>灰白色      | 細砂粒<br>○   | SP28 |    |
| 24 | 皿  | 底径 (5.0)<br>残高 1.0 | 小片。   | マメフ  | マメフ  | 灰白色<br>灰白色      | 細砂粒<br>○   | SP30 |    |

表 31 挖立 3 出土遺物観察表（土製品）

| 番号 | 器種 | 法量 (cm)            | 形態・施文   | 調整   |      | 色調 (外面)<br>(内面) | 胎 土<br>焼 成  | 備考   | 図版 |
|----|----|--------------------|---------|------|------|-----------------|-------------|------|----|
|    |    |                    |         | 外面   | 内面   |                 |             |      |    |
| 25 | 壺  | 残高 22              | 口縁部小片。  | ヨコナデ | ヨコナデ | 灰白色<br>灰白色      | 細砂粒<br>○    | SP23 |    |
| 26 | 壺  | 残高 22              | 口縁部小片。  | ヨコナデ | ヨコナデ | 灰白色<br>灰白色      | 細砂粒<br>○    | SP23 |    |
| 27 | 壺  | 底径 (7.4)<br>残高 1.4 | 回転糸切り痕。 | マメフ  | マメフ  | 灰白色<br>灰白色      | 細砂粒<br>○    | SP8  |    |
| 28 | 壺  | 底径 (7.2)<br>残高 1.4 | 底部小片。   | マメフ  | マメフ  | 灰白色<br>灰白色      | 石・長(1)<br>○ | SP8  |    |
| 29 | 壺  | 残高 1.5             | 口縁部小片。  | ナデ   | ナデ   | 暗灰色<br>暗灰色      | 石(1)<br>○   | SP12 |    |
| 30 | 壺  | 残高 1.9             | 口縁部小片。  | マメフ  | マメフ  | 暗灰色<br>暗灰色      | 細砂粒<br>○    | SP23 |    |

表 32 SD1 出土遺物観察表（土製品）

(1)

| 番号 | 器種 | 法量 (cm)                        | 形態・施文   | 調整   |      | 色調 (外面)<br>(内面) | 胎 土<br>焼 成  | 備考 | 図版 |
|----|----|--------------------------------|---------|------|------|-----------------|-------------|----|----|
|    |    |                                |         | 外面   | 内面   |                 |             |    |    |
| 31 | 皿  | 口径 (7.6)<br>底径 (5.0)<br>器高 1.5 | 小片。     | マメフ  | マメフ  | 灰白色<br>灰白色      | 砂粒<br>○     |    |    |
| 32 | 皿  | 口径 (7.9)<br>底径 (4.0)<br>器高 1.7 | 回転糸切り痕。 | ヨコナデ | ヨコナデ | 浅黄褐色<br>浅黄褐色    | 長・石(1)<br>○ |    |    |
| 33 | 皿  | 口径 (7.8)<br>底径 (5.2)<br>器高 1.7 | 回転糸切り痕。 | マメフ  | マメフ  | 褐色<br>褐色        | 長(1)・雲<br>○ |    |    |
| 34 | 皿  | 口径 (8.2)<br>底径 (6.8)<br>器高 1.6 | 小片。     | マメフ  | マメフ  | 浅黄褐色<br>灰白色     | 長(1~2)<br>○ |    |    |

## 出土遺物観察表

SD1 出土遺物観察表(土製品)

(2)

| 番号 | 器種 | 法量(cm)                          | 形態・施文                 | 調査   |            | 色調(外面<br>内面)  | 胎土<br>焼成        | 備考 | 図版 |
|----|----|---------------------------------|-----------------------|------|------------|---------------|-----------------|----|----|
|    |    |                                 |                       | 外面   | 内面         |               |                 |    |    |
| 35 | 皿  | 口径 (8.5)<br>底径 (6.1)<br>器高 1.8  | 完形品。回転糸切り痕。           | ヨコナデ | ヨコナデ       | 浅黄橙色<br>浅黄橙色  | 石・長(1~2)、赤<br>○ |    |    |
| 36 | 皿  | 口径 (8.4)<br>底径 (6.0)<br>残高 1.8  | 回転糸切り痕。               | マメツ  | ナデ         | 灰白色<br>灰白色    | 長(1)、雲<br>○     |    |    |
| 37 | 皿  | 口径 (8.5)<br>底径 (5.8)<br>器高 1.8  | 回転糸切り痕。               | ヨコナデ | ヨコナデ       | 浅黄橙色<br>灰白色   | 長(1)<br>○       |    |    |
| 38 | 皿  | 口径 (10.6)<br>底径 (5.6)<br>器高 1.8 | 短く外側する口縁端部は丸い。小片。     | マメツ  | マメツ        | 灰白色<br>灰白色    | 砂粒<br>○         |    |    |
| 39 | 皿  | 口径 (12.0)<br>底径 (9.4)<br>器高 1.4 | 短く外側する口縁端部は丸い。回転糸切り痕。 | マメツ  | ヨコナデ<br>ナデ | にぶい橙色<br>浅黄橙色 | 砂粒<br>○         |    |    |
| 40 | 皿  | 底径 (5.4)<br>残高 0.8              | 回転糸切り痕。               | マメツ  | ナデ         | 灰白色<br>灰色     | 砂粒<br>○         |    |    |
| 41 | 皿  | 底径 (6.2)<br>残高 1.3              | 回転糸切り痕。               | ナデ   | ナデ         | 灰白色<br>灰白色    | 細砂粒<br>○        |    |    |
| 42 | 皿  | 底径 (6.8)<br>残高 1.2              | 回転糸切り痕。               | マメツ  | マメツ        | 灰白色<br>灰白色    | 細砂粒<br>○        |    |    |
| 43 | 皿  | 底径 (6.8)<br>残高 1.4              | 回転糸切り痕。               | ナデ   | ヨコナデ       | 浅黄橙色<br>灰色    | 長(1)、赤<br>○     |    |    |
| 44 | 皿  | 底径 (7.2)<br>残高 1.7              | 回転糸切り痕。               | マメツ  | マメツ        | 灰白色<br>浅黄橙色   | 長(1)、赤<br>○     |    |    |
| 45 | 皿  | 底径 (7.0)<br>残高 1.2              | 回転糸切り痕。               | マメツ  | マメツ        | 灰白色<br>淡黄色    | 石・長(1~2)、赤<br>○ |    |    |
| 46 | 皿  | 底径 (7.4)<br>残高 1.1              | 回転糸切り痕。               | マメツ  | マメツ        | 淡黄色<br>灰白色    | 長(1)、雲<br>○     |    |    |
| 47 | 皿  | 底径 (9.2)<br>残高 1.2              | 小片。                   | マメツ  | マメツ        | 灰白色<br>浅黄橙色   | 石・長(1~2)、赤<br>○ |    |    |
| 48 | 皿  | 底径 (8.6)<br>残高 1.5              | 回転糸切り痕。               | マメツ  | ヨコナデ       | 浅黄橙色<br>浅黄橙色  | 石・長(1)、赤<br>○   |    |    |
| 49 | 皿  | 底径 (8.0)<br>残高 1.6              | 小片。                   | マメツ  | マメツ        | 灰白色<br>浅黄橙色   | 長(2)<br>○       |    |    |
| 50 | 皿  | 底径 (8.8)<br>残高 1.3              | 回転糸切り痕。               | マメツ  | マメツ        | 橙色<br>浅黄橙色    | 長(2)<br>○       |    |    |
| 51 | 皿  | 底径 (9.2)<br>残高 1.5              | 回転糸切り痕。               | マメツ  | マメツ        | 橙色<br>橙色      | 石・長(3~8)<br>○   |    |    |
| 52 | 皿  | 底径 (7.0)<br>残高 2.1              | 回転糸切り痕。               | ヨコナデ | ヨコナデ       | 浅黄橙色<br>灰白色   | 長(1)<br>○       |    |    |
| 53 | 皿  | 底径 (7.5)<br>残高 2.8              | 厚みのある底部。回転糸切り痕。       | ヨコナデ | ヨコナデ       | 浅黄橙色<br>灰白色   | 石・長(1~3)<br>○   |    |    |
| 54 | 皿  | 底径 (9.0)<br>残高 2.6              | 回転糸切り痕。               | マメツ  | ヨコナデ       | 浅黄橙色<br>橙色    | 石・長(2)、赤<br>○   |    |    |

SD1 出土遺物観察表（土製品）

(3)

| 番号 | 器種 | 法量 (cm)                        | 形態・施文                       | 調整   |      | 色調<br>(外面)<br>(内面) | 胎 土<br>焼 成      | 備考 | 図版 |
|----|----|--------------------------------|-----------------------------|------|------|--------------------|-----------------|----|----|
|    |    |                                |                             | 外面   | 内面   |                    |                 |    |    |
| 55 | 皿  | 底径 (8.6)<br>残高 10              | 回転条切り痕。                     | マメツ  | マメツ  | 淡褐色<br>淡橙色         | 石・長(1)<br>○     |    |    |
| 56 | 坏  | 口径 (13.2)<br>残高 18             | 口縁部の小片。                     | ナデ   | ナデ   | 灰白色<br>灰白色         | 密、赤<br>○        |    |    |
| 57 | 坏  | 口径 (13.8)<br>残高 15             | 口縁部の小片。                     | ナデ   | ナデ   | 灰白色<br>灰白色         | 密<br>○          |    |    |
| 58 | 坏  | 口径 (13.6)<br>残高 24             | 口縁部の小片。                     | マメツ  | ヨコナデ | 灰白色<br>灰白色         | 長(1)<br>○       |    |    |
| 59 | 坏  | 口径 (13.8)<br>残高 25             | 口縁部の小片。                     | マメツ  | マメツ  | 灰白色<br>浅黄褐色        | 長(1)、赤<br>○     |    |    |
| 60 | 坏  | 口径 (16.4)<br>残高 20             | 口縁部の小片。端部は丸い。               | マメツ  | マメツ  | 浅黄褐色<br>黄褐色        | 長(2)<br>○       |    |    |
| 61 | 坏  | 口径 (14.0)<br>残高 20             | 口縁部の小片。端部は丸い。               | ナデ   | ナデ   | 灰白色<br>灰白色         | 石(1)、砂粒<br>○    |    |    |
| 62 | 坏  | 口径 (15.8)<br>残高 25             | 口縁部の小片。端部は丸い。               | マメツ  | マメツ  | 淡褐色<br>淡褐色         | 石・長(1)<br>○     |    |    |
| 63 | 坏  | 口径 (14.6)<br>残高 27             | 口縁部の小片。                     | マメツ  | マメツ  | 灰白色<br>灰白色         | 長(1)、雲<br>○     |    |    |
| 64 | 坏  | 口径 (17.2)<br>残高 25             | 口縁部の小片。                     | マメツ  | ヨコナデ | 灰白色<br>淡黄色         | 石・長(1)、雲<br>○   |    |    |
| 65 | 坏  | 口径 (14.8)<br>残高 29             | 口縁部の小片。                     | ヨコナデ | ヨコナデ | 浅黄褐色<br>明褐灰色       | 長(1)金、赤<br>○    |    |    |
| 66 | 坏  | 口径 (14.8)<br>残高 36             | 体部外側には粘土巻き上げ痕が隠<br>著に残る。    | ヨコナデ | ナデ   | 褐色<br>浅黄褐色         | 石・長(1)、雲<br>○   |    |    |
| 67 | 坏  | 口径 (12.4)<br>残高 38             | 外傾する体部の外側はナデによる凹<br>凸がある。   | ヨコナデ | ナデ   | 灰白色<br>暗黄色         | 石・長(1~2)<br>○   |    |    |
| 68 | 坏  | 口径 (16.2)<br>底径 (9.2)<br>器高 38 | 口縁部は外傾し端部は丸い。底部に<br>回転条切り痕。 | マメツ  | マメツ  | 浅黄褐色<br>淡褐色        | 石・長(1~4)、赤<br>○ |    |    |
| 69 | 坏  | 底径 (8.6)<br>残高 14              | 静止条切り痕。                     | マメツ  | ナデ   | 灰白色<br>灰白色         | 砂粒<br>○         |    |    |
| 70 | 坏  | 底径 (8.8)<br>残高 38              | 回転条切り痕。                     | ナデ   | ヨコナデ | 浅黄褐色<br>灰白色        | 長(1)<br>○       |    |    |
| 71 | 坏  | 底径 (7.8)<br>残高 31              | 底部に条切り痕。                    | マメツ  | ナデ   | にぶい褐色<br>褐色        | 石(1)金、赤<br>○    |    |    |
| 72 | 塊  | 口径 (13.5)<br>残高 39             | 内湾する体部。口縁部は丸い。              | ナデ   | ナデ   | 灰白色<br>灰白色         | 粗砂粒<br>○        |    |    |
| 73 | 塊  | 口径 (13.8)<br>残高 32             | 内湾する体部。口縁部は丸い。              | ナデ   | ナデ   | にぶい褐色<br>にぶい褐色     | 砂粒<br>○         |    |    |
| 74 | 塊  | 口径 (14.4)<br>残高 30             | 口縁部の小片。端部は丸い。               | ナデ   | ナデ   | 褐灰色<br>明褐灰色        | 砂粒、金<br>○       |    |    |

## 出土遺物観察表

| 番号 | 器種 | 法量(cm)                     | 形態・施文                  | 調査              |            | 色調(外面<br>(内面)) | 胎土<br>焼成        | 備考 | 図版 |
|----|----|----------------------------|------------------------|-----------------|------------|----------------|-----------------|----|----|
|    |    |                            |                        | 外面              | 内面         |                |                 |    |    |
| 75 | 塊  | 口径 (15.0)<br>残高 2.9        | 内湾する体部から口縁部の小片。        | ハケ              | マメツ        | 浅黄色<br>浅黄色     | 砂粒              |    |    |
| 76 | 塊  | 口径 (16.0)<br>残高 2.8        | 口縁部の小片。端部は丸い。          | マメツ             | マメツ        | 灰白色<br>灰白色     | 石(1)<br>○       |    |    |
| 77 | 塊  | 口径 (15.8)<br>残高 2.5        | 口縁部の小片。                | マメツ             | マメツ        | 浅黄色<br>灰白色     | 砂粒<br>○         |    |    |
| 78 | 塊  | 口径 (18.4)<br>残高 2.6        | 口縁部の小片。                | ヨコナデ<br>ナデ      | ヨコナデ<br>ナデ | 灰白色<br>灰白色     | 砂粒<br>○         |    |    |
| 79 | 塊  | 口径 (16.8)<br>残高 2.0        | 口縁部の小片。端部は丸い。          | ナデ              | マメツ        | 灰白色<br>灰白色     | 砂粒<br>○         |    |    |
| 80 | 塊  | 口径 (19.0)<br>残高 2.6        | 口縁部の小片。                | ヨコナデ            | ヨコナデ       | 淡黄褐色           | 石(4)、砂粒<br>○    |    |    |
| 81 | 塊  | 口径 (15.4)<br>残高 3.4        | 口縁部の小片。                | ナデ<br>指頭痕       | ミガキ<br>ナデ  | 灰色・暗灰色<br>暗灰色  | 砂粒<br>○         |    |    |
| 82 | 塊  | 底径 (6.8)<br>残高 1.2         | 断面三角形状の高台。             | マメツ             | マメツ        | 暗灰色<br>暗灰色     | 石(1)<br>○       |    |    |
| 83 | 塊  | 底径 (4.8)<br>残高 4.8         | 底部小片。                  | ナデ              | ナデ         | 灰色<br>灰白色      | 石・長(1)、赤<br>○   |    |    |
| 84 | 皿  | 底径 (3.2)<br>残高 2.0         | 中国製白磁。やや上げ底。内面に沈<br>文。 | 回転ナデ<br>回転ヘラケズリ | 施釉の為、不明    | 新(1)灰色<br>淡黄色  | 密<br>○          |    |    |
| 85 | 盤体 | 長さ 5.3<br>幅 4.0<br>厚み 2.6  | 小片。                    | /               | /          | 暗灰色            | 石粒(2~3)、赤<br>○  | 12 |    |
| 86 | 盤体 | 長さ 4.2<br>幅 4.0<br>厚み 2.6  | 小片。                    | /               | /          | にぶい橙色          | 石(1)赤<br>○      | 12 |    |
| 87 | 盤体 | 長さ 5.6<br>幅 3.5<br>厚み 3.5  | 小片。                    | /               | /          | にぶい橙色          | 砂粒<br>○         | 12 |    |
| 88 | 盤体 | 長さ 4.5<br>幅 4.3<br>厚み 3.1  | 小片。                    | /               | /          | にぶい橙色          | 石粒(2~5)、赤<br>○  | 12 |    |
| 89 | 盤体 | 長さ 4.8<br>幅 4.0<br>厚み 3.2  | 植物混入。                  | /               | /          | にぶい橙色          | 石・長(1~2)、赤<br>○ | 12 |    |
| 90 | 盤体 | 長さ 11.0<br>幅 6.6<br>厚み 5.0 | 植物混入。                  | /               | /          | 橙色             | 石(1~3)、赤<br>○   | 12 |    |

表 33 SD1 出土遺物観察表 (石製品)

| 番号 | 器種 | 残存 | 材質 | 法量     |       |        |       | 備考 | 図版 |
|----|----|----|----|--------|-------|--------|-------|----|----|
|    |    |    |    | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重さ(g) |    |    |
| 91 | 素材 | 完形 |    | 8.45   | 2.40  | 1.60   | 49.70 |    |    |

表 34 地蔵造構 1 出土遺物観察表（土製品）

| 番号  | 器種 | 法量 (cm)                         | 形態・施文         | 調整         |            | 色調 (外面)<br>(内面) | 胎土<br>焼成    | 備考 | 図版 |
|-----|----|---------------------------------|---------------|------------|------------|-----------------|-------------|----|----|
|     |    |                                 |               | 外面         | 内面         |                 |             |    |    |
| 92  | 皿  | 口径 8.7<br>底径 6.4<br>器高 1.8      | 完形品。回転糸切り瓶。   | ヨコナデ       | ヨコナデ<br>ナデ | 淡黄褐色<br>淡黄褐色    | 砂粒<br>○     |    | 11 |
| 93  | 皿  | 口径 7.8<br>底径 5.2<br>器高 1.7      | 回転糸切り瓶。1/4欠損。 | ヨコナデ       | ヨコナデ       | 灰白色<br>灰白色      | 長(1)<br>○   |    | 11 |
| 94  | 皿  | 口径 8.8<br>底径 6.3<br>器高 1.7      | 完形品。回転糸切り瓶。   | ヨコナデ       | ヨコナデ<br>ナデ | 淡黄褐色<br>淡黄褐色    | 長(1)<br>○   |    | 11 |
| 95  | 皿  | 口径 9.0<br>底径 5.4<br>器高 1.7      | 完形品。回転糸切り瓶。   | ヨコナデ       | ヨコナデ<br>ナデ | 灰白色<br>灰白色      | 石(1)<br>○   |    | 11 |
| 96  | 皿  | 口径 8.8<br>底径 5.7<br>器高 1.7      | ほぼ完形品。回転糸切り瓶。 | ヨコナデ       | ヨコナデ       | 灰白色<br>灰白色      | 砂粒、雲<br>○   |    | 11 |
| 97  | 皿  | 口径 8.7<br>底径 5.7<br>器高 1.6      | 回転糸切り瓶。1/3欠損。 | ヨコナデ       | ヨコナデ<br>ナデ | 灰白色<br>灰白色      | 砂粒<br>○     |    | 11 |
| 98  | 皿  | 口径 9.0<br>底径 5.8<br>器高 1.7      | 回転糸切り瓶。       | ヨコナデ       | ヨコナデ<br>ナデ | 灰白色<br>灰白色      | 細砂粒<br>○    |    | 11 |
| 99  | 皿  | 口径 8.8<br>底径 6.1<br>器高 1.6      | ほぼ完形。回転糸切り瓶。  | ヨコナデ       | ヨコナデ<br>ナデ | 灰白色<br>灰白色      | 細砂粒<br>○    |    | 11 |
| 100 | 皿  | 口径 8.9<br>底径 5.7<br>器高 1.7      | ほぼ完形。回転糸切り瓶。  | ヨコナデ       | ヨコナデ<br>ナデ | 灰白色<br>灰白色      | 砂粒<br>○     |    | 12 |
| 101 | 皿  | 口径 8.8<br>底径 5.2<br>器高 1.7      | 回転糸切り瓶。       | ヨコナデ       | ヨコナデ       | 灰白色<br>灰白色      | 砂粒<br>○     |    | 12 |
| 102 | 皿  | 口径 (8.0)<br>底径 (4.8)<br>器高 1.7  | 回転糸切り瓶。小片。    | ヨコナデ       | ヨコナデ       | 灰白色<br>灰白色      | 砂粒<br>○     |    |    |
| 103 | 皿  | 口径 9.2<br>底径 5.6<br>器高 1.8      | ほぼ完形品。回転糸切り瓶。 | ヨコナデ       | ヨコナデ<br>ナデ | 灰白色<br>灰白色      | 細砂粒<br>○    |    |    |
| 104 | 皿  | 口径 9.2<br>底径 5.2<br>器高 1.6      | 回転糸切り瓶。       | ヨコナデ       | ヨコナデ       | 灰白色<br>灰白色      | 細砂粒<br>○    |    |    |
| 105 | 皿  | 口径 9.0<br>残高 1.7                | 口縁部の小片。       | ヨコナデ<br>ナデ | ナデ         | 灰白色<br>灰白色      | 砂粒<br>○     |    |    |
| 106 | 坏  | 底径 (7.4)<br>12                  | 底部の小片。        | マメフ        | マメフ        | 灰白色<br>灰白色      | 石・長(1)<br>○ |    |    |
| 107 | 坏  | 口径 (17.8)<br>底径 (9.4)<br>器高 3.7 | 内溝する体部。       | ナデ         | ナデ         | 灰白色<br>灰白色      | 細砂粒<br>○    |    |    |

表 35 SP 出土遺物観察表（土製品）

(1)

| 番号  | 器種 | 法量 (cm)                     | 形態・施文       | 調整  |     | 色調 (外面)<br>(内面) | 胎土<br>焼成      | 備考   | 図版 |
|-----|----|-----------------------------|-------------|-----|-----|-----------------|---------------|------|----|
|     |    |                             |             | 外面  | 内面  |                 |               |      |    |
| 108 | 皿  | 口径 (7.5)<br>(5.2)<br>底径 1.7 | 回転糸切り。      | マメフ | マメフ | 灰白色<br>灰白色      | 石・長(1)<br>○   | SP22 |    |
| 109 | 皿  | 口径 (8.1)<br>(3.4)<br>底径 1.6 | 小片。         | マメフ | マメフ | 灰白色<br>灰白色      | 石・長(1)、赤<br>○ | SP60 |    |
| 110 | 皿  | 口径 (8.1)<br>残高 1.7          | 体部から口縁部の小片。 | マメフ | マメフ | 灰白色<br>灰白色      | 長(1)<br>○     | SP55 |    |

## 出土遺物観察表

SP 出土遺物観察表（土製品）

(2)

| 番号  | 器種 | 法量 (cm)                                 | 形態・施文           | 調査   |      | 色調<br>(外面)<br>(内面) | 胎<br>土<br>焼<br>成 | 備考   | 図版 |
|-----|----|---|-----------------|------|------|--------------------|------------------|------|----|
|     |    |   |                 | 外面   | 内面   |                    |                  |      |    |
| 111 | 皿  | 底径<br>(5.6)<br>残高<br>0.8                | 回転糸切り痕。底部1/4残存。 | ヨコナデ | マメツ  | 灰白色<br>灰白色         | 長(1)<br>○        | SP60 |    |
| 112 | 皿  | 底径<br>(8.4)<br>1.4                      | 回転糸切り痕。底部1/4残存。 | ヨコナデ | ヨコナデ | 灰白色<br>灰白色         | 石・長(1~2)<br>○    | SP60 |    |
| 113 | 皿  | 底径<br>(7.8)<br>残高<br>1.2                | 回転糸切り痕。底部の小片。   | マメツ  | マメツ  | 赤灰色<br>赤灰色         | 石・長(1)<br>○      | SP21 |    |
| 114 | 皿  | 口径<br>(8.4)<br>底径<br>(5.0)<br>器高<br>2.1 | 回転糸切り痕。2/3の残存。  | ヨコナデ | ヨコナデ | にぶい橙色<br>にぶい橙色     | 石・長(1)、赤<br>○    | SP58 |    |
| 115 | 皿  | 口径<br>(9.5)<br>底径<br>(6.5)<br>器高<br>1.5 | 小片。             | マメツ  | マメツ  | 灰白色<br>灰白色         | 細砂粒<br>○         | SP54 |    |
| 116 | 皿  | 口径<br>(9.7)<br>底径<br>(3.8)<br>器高<br>1.3 | 小片。             | マメツ  | マメツ  | 灰白色<br>灰白色         | 石(1)、赤<br>○      | SP21 |    |
| 117 | 环  | 底径<br>(9.8)<br>残高<br>1.3                | 回転糸切り痕。         | マメツ  | マメツ  | 灰白色<br>灰白色         | 細砂粒<br>○         | SP60 |    |
| 118 | 环  | 底径<br>(8.2)<br>残高<br>1.5                | 回転糸切り痕。         | マメツ  | マメツ  | 灰白色<br>灰白色         | 細砂粒<br>○         | SP60 |    |
| 119 | 环  | 底径<br>(8.4)<br>残高<br>2.1                | 回転糸切り痕。         | マメツ  | マメツ  | 灰白色<br>灰白色         | 石(1)<br>○        | SP20 |    |
| 120 | 塊  | 口径<br>(12.2)<br>残高<br>3.8               | 小片。             | ヨコナデ | ヨコナデ | 闇灰色<br>にぶい黄橙色      | 細砂粒<br>○         | SP22 |    |
| 121 | 塊  | 口径<br>(13.8)<br>残高<br>2.6               | 小片。             | マメツ  | マメツ  | 灰白色<br>灰白色         | 細砂粒<br>○         | SP57 |    |
| 122 | 塊  | 口径<br>(12.8)<br>残高<br>3.3               | 小片。             | マメツ  | マメツ  | 灰白色<br>灰白色         | 細砂粒<br>○         | SP21 |    |
| 123 | 塊  | 口径<br>(14.4)<br>残高<br>2.8               | 小片。             | マメツ  | マメツ  | 灰白色<br>灰白色         | 石・長(1)<br>○      | SP39 |    |
| 124 | 塊  | 口径<br>(14.8)<br>残高<br>2.3               | 小片。             | ヨコナデ | マメツ  | 灰白色<br>灰白色         | 細砂粒<br>○         | SP57 |    |
| 125 | 塊  | 口径<br>(14.4)<br>残高<br>2.8               | 小片。             | ヨコナデ | ヨコナデ | 灰白色<br>灰白色         | 長(1)<br>○        | SP39 |    |
| 126 | 塊  | 口径<br>(16.2)<br>残高<br>2.1               | 小片。             | マメツ  | マメツ  | 灰白色<br>灰白色         | 長(1)<br>○        | SP22 |    |
| 127 | 塊  | 底径<br>(5.8)<br>残高<br>2.5                | 断面三角形状の高台。      | マメツ  | マメツ  | 灰白色<br>灰白色         | 細砂粒<br>○         | SP54 |    |
| 128 | 塊  | 底径<br>(7.2)<br>残高<br>1.5                | 断面三角形状の高台。      | マメツ  | マメツ  | 浅黄色<br>浅黄色         | 細砂粒<br>○         | SP60 |    |
| 129 | 塊  | 底径<br>(7.2)<br>残高<br>1.5                | 断面三角形状の高台。      | マメツ  | マメツ  | 浅黄色<br>浅黄色         | 細砂粒<br>○         | SP60 |    |
| 130 | 塊  | 口径<br>(13.6)<br>残高<br>2.6               | 小片。             | 指痕痕  | 回転ナデ | 褐色<br>暗灰色          | 細砂粒<br>○         | SP57 |    |

(3)

| 番号  | 器種 | 法量 (cm)                  | 形態・施文      | 調整          |           | 色調 (外面)<br>(内面)    | 胎 土<br>焼 成  | 備考   | 図版 |
|-----|----|--------------------------|------------|-------------|-----------|--------------------|-------------|------|----|
|     |    |                          |            | 外面          | 内面        |                    |             |      |    |
| 131 | 塊  | 底径 (6.0)<br>残高 20        | 断面三角形状の高台。 | 指頭痕<br>ヨコナデ | 指頭痕<br>ナデ | 暗灰色<br>暗灰色         | 細砂粒<br>○    | SP54 |    |
| 132 | 塊  | 底径 (5.8)<br>残高 11        | 高台。        | マメフ         | マメフ       | にぶい褐色<br>にぶい褐色     | 長(1~2)<br>○ | SP56 |    |
| 133 | 塊  | 底径 (4.2)<br>残高 12        | 輪高台を貼り付ける。 | マメフ         | マメフ       | 灰黄色<br>灰黄色         | 細砂粒<br>○    | SP56 |    |
| 134 | 網  | 残高 4.2                   | 同安窯系青磁の小片。 | 施釉の為、不明     | 施釉の為、不明   | 灰白色<br><br>灰オーライプ色 | 細砂粒<br>○    | SP7  |    |
| 135 | 壁体 | 長さ 7.6<br>幅 3.5<br>厚み 17 | 植物混入。      |             |           | 橙色                 | 細砂粒、赤<br>○  | SP60 |    |
| 136 | 壁体 | 長さ 5.3<br>幅 3.5<br>厚み 24 | 植物混入。      |             |           | 橙色                 | 細砂粒、赤<br>○  | SP60 |    |
| 137 | 壁体 | 長さ 5.1<br>幅 2.2<br>厚み 21 | 植物混入。      |             |           | 橙色                 | 細砂粒、赤<br>○  | SP60 |    |
| 138 | 壁体 | 長さ 4.4<br>幅 3.4<br>厚み 28 | 植物混入。      |             |           | 橙色                 | 細砂粒、赤<br>○  | SP60 |    |

表 36 出土地点不明遺物観察表 (土製品)

| 番号  | 器種 | 法量 (cm)                   | 形態・施文       | 調整   |      | 色調 (外面)<br>(内面) | 胎 土<br>焼 成 | 備考 | 図版 |
|-----|----|---------------------------|-------------|------|------|-----------------|------------|----|----|
|     |    |                           |             | 外面   | 内面   |                 |            |    |    |
| 139 | 皿  | 口径 8.8<br>底径 6.0<br>器高 14 | 口縁部の小片。     | マメフ  | マメフ  | 灰白色<br>灰白色      | 砂粒<br>○    | 2区 |    |
| 140 | 皿  | 底径 (6.8)<br>残高 16         | 静止糸切り痕。     | ナデ   | ナデ   | 灰白色<br>灰白色      | 細砂粒<br>○   | 2区 |    |
| 141 | 坏  | 底径 (7.0)<br>残高 16         | 回転糸切り痕。     | ヨコナデ | ヨコナデ | 浅黄色<br>浅黄色      | 細砂粒<br>○   | 2区 |    |
| 142 | 坏  | 口径 (14.4)<br>残高 28        | 体部から口縁部の小片。 | マメフ  | マメフ  | 灰白色<br>灰白色      | 砂粒、赤<br>○  | 2区 |    |

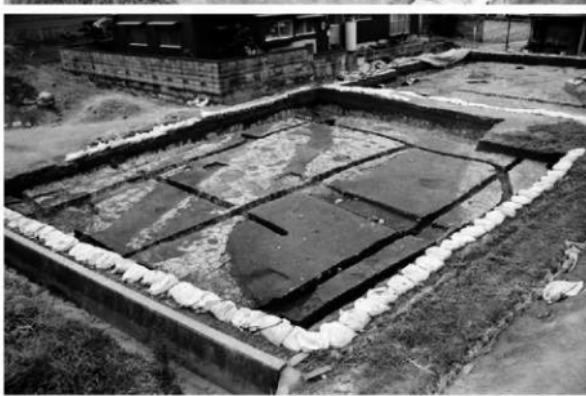
## 写真図版

写真図版 1 ~ 6 : 筋違 M 遺跡  
写真図版 7 ~ 12 : 筋違 Q 遺跡





1. 東区  
遺構検出状況①  
(北西より)



2. 東区  
遺構検出状況②  
(北東より)



3. 東区  
遺構検出状況③  
(東より)

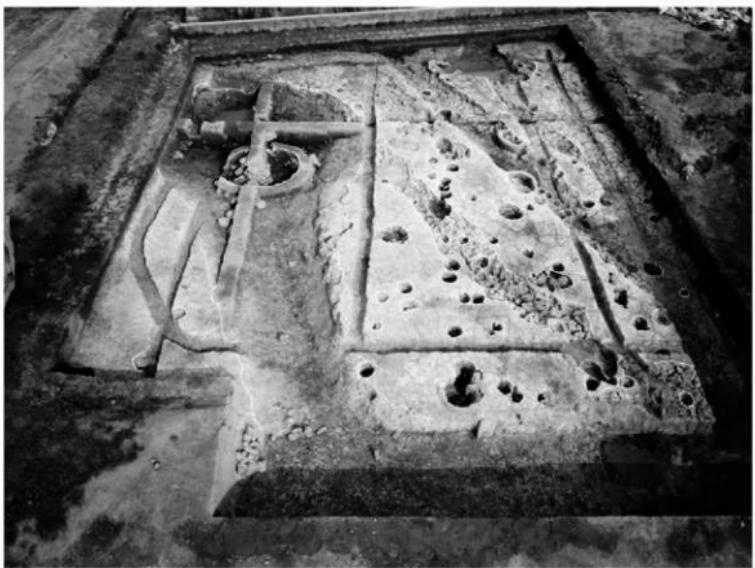
図版  
2



1. 遺構完掘状況（東より）



1. 西区遺構完掘状況（東より）



2. 東区遺構完掘状況（西より）

図版  
4

1. 堀立 1 完掘状況①  
(東より)



2. 堀立 1 完掘状況②  
(南より)





1. SX3  
検出状況  
(南より)



2. SX3  
遺物出土状況①  
(南より)



3. SX3  
遺物出土状況②  
(西より)

図版  
6



3



12



33



36



38



39



82



86



40

1. 出土遺物（掘立 1：3、SD1：12、SD6：33・36・38～40、第VII層：82・86）



1. 調査地近景  
(北東より)



2. 1区  
重機による掘削状況  
(北より)



3. 1区  
遺構検出状況  
(南より)

図  
版  
8



1. 1 区地鎮遺構 1  
遺物出土状況  
(北東より)



2. 1 区  
遺構完掘状況  
(北西より)



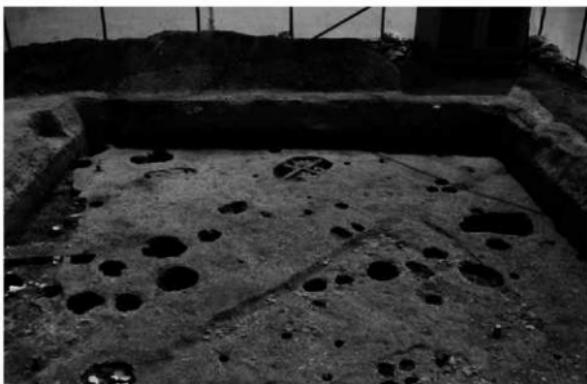
3. 1 区掘立 1  
完掘状況  
(南より)



1. 1区  
埋め戻し状況  
(北より)



2. 2区  
遺構検出状況  
(北より)



3. 2区  
遺構完掘状況  
(北より)

図版  
10



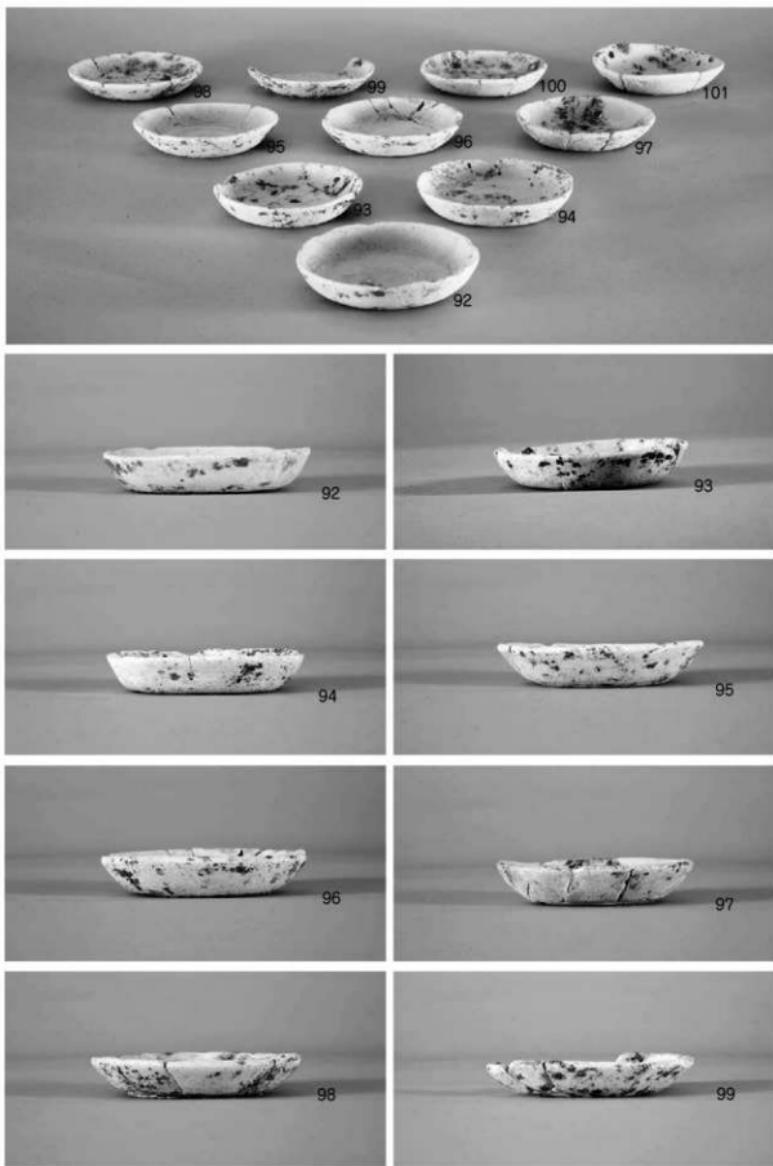
1. 2区地鎮遺構 1  
遺物出土状況  
(北西より)



2. 2区 SD1  
完掘状況  
(南より)



3. 2区柱穴内  
壁体出土状況  
(北より)



1. 地鎮造構 1 出土遺物①

図  
版  
12



100



101



85



86



87



88



89



90

1. 出土遺物（地鎮造構 1 ②：100・101、SD1：85～90）

## 報 告 書 抄 錄

|        |  |
|--------|--|
| ふりがな   | すじかいいえむいせき・すじかいきゅういせき                      |
| 書名     | 筋違 M 遺跡・筋違 Q 遺跡                            |
| 副書名    | 国庫補助市内遺跡発掘調査報告書                            |
| 卷次     |  |
| シリーズ名  | 松山市文化財調査報告書                                |
| シリーズ番号 | 第193集                                      |
| 編著者名   | 高尾 和長                                      |
| 編集機関   | 公益財団法人 松山市文化・スポーツ振興財団 埋蔵文化財センター            |
| 所在地    | 〒791-8032 愛媛県松山市南斎院町乙67番地6 TEL089-923-6363 |
| 発行年月日  | 西暦2018(平成30)年3月20日                         |

松山市文化財調査報告書 第193集

## 筋違 M 遺跡・筋違 Q 遺跡

国庫補助市内遺跡発掘調査報告書

---

平成30年3月20日 発行

編 集 公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団

埋 藏 文 化 財 セ ン タ ー

〒791-8032 松山市南斎院町乙67番地6

TEL (089) 923-6363

発 行 松山市教育委員会

〒790-0003 松山市三番町六丁目6番地1

TEL (089) 948-6605

印 刷 岡田印刷株式会社

〒790-0012 松山市湊町7丁目1-8

TEL (089) 941-9111

---

---



